HOLMES登録済
登録番号:DT700872

伊島宿舎修繕工事
工事報告書 (1／2)

平成21年10月

本州四国連絡高速道路株式会社

請負者　東和防水工業株式会社

伊島宿舎修繕工事
工事報告書　目次

内　　容	頁
1.工事概要及び変更事項	4
2.工事報告書（総合編）	17
2-1.工事概要	19
2-2.実施工程表	20
2-3.現場組織表	23
2-4.安全管理	25
2-5.主要機械	27
2-6.主要資材	28
2-7.施工方法	28
2-8.施工管理	28
2-9.緊急時の体制及び対応	29
2-10.交通管理	30
2-11.環境対策	30
2-12.現場作業環境の整備	31
2-13.仕様書に定められた事項	31
3.用地使用	32
4.下地処理工事	38
4-1.施工概要	40
4-2.施工要領	42
5.シーリング工事	48
5-1.施工概要	50
5-2.施工に際しての留意事項	53
5-3.安全管理	54
6.ウレタン塗膜防水工事	55
6-1.施工仕様	57
6-2.安全対策	62
7.塗装工事	63
7-1.施工要領	65
7-2.塗装仕様	66
8.建設副産物・産業廃棄物	76
9.外構工事	80
9-1.工事内容	82
9-2.主要機械	93
9-3.主要資材	94

伊島宿舎修繕工事
工事報告書　目次

内　　容	頁
10.クレーン作業計画書	95
11.消防設備設置届	103
12.外壁調査報告書	110
13.打合議事録･工事打合簿･工事変更指示書	136
13-1.打合議事録	137
13-2.工事打合簿	159
13-3.工事変更指示書	224
14.使用材料	×
14-1.下地処理材	×
14-2.防水材	×
14-3.外壁･軒裏･鉄部･塗装材料	×
14-4.塩ビシート	×
14-5.雑改修資材	×
14-6.電気設備	×
14-7.機械設備	×
14-8.屋外付帯	×
14-9.ＣＢ補修	×
15.完成図	×
16.保証書	×
1号棟2号棟　屋上防水保証書	×
1号棟2号棟　バルコニー･2号棟庇　防水保証書	×
1号棟2号棟　階段室防水保証書	×
1号棟2号棟　シングル防水保証書	×
1号棟2号棟　鉄部及び庇裏　塗装品質保証書	×
1号棟2号棟　外壁塗装品質保証書	×
1号棟2号棟　シーリング防水保証書	×

1. 工事概要及び変更事項

1. 工事概要及び変更事項

工事名　　伊島宿舎修繕工事

工事場所　岡山市北区伊島町2-10-25

請負金額　当初　　[redacted]円（税込み）

　　変更増額　[redacted]円（税込み）

工事期間　当初　　平成21年3月31日～平成21年9月30日

　　変更　　平成21年3月31日～平成21年10月9日

1-1. 工事概要

(1)基本方針

本工事は伊島宿舎の経年劣化に於ける修繕工事として平成21年3月11日に入札が行われ、請負金[redacted]円で調査基準価格を下回る低入札工事として契約となりました。これにより材料から出来形まで全ての項目及び工程に於いて、全数立会検査を経て工事を進めていく監督強化工事となりました。

入居者を有する建物の修繕工事となりますので、南北面のベランダの一方を入居者が使用できる状態で工事を進めることとなり、1号棟2号棟共に東西北面の工事を先行し南面を残すことで工事を進めました。東西北面の工事が完了し、北面ベランダの機能使用検査を受けた後、南面の工事に着手し、南面工事完了後に足場解体に伴う検査を受けました。

(2)現場管理体制(元方による管理)

現場管理体制として現場代理人、真野鉄男が常駐管理しました。
現場事務所とし2号棟1階の104号室を、職方詰所兼資材置き場として2号棟1階の103号室を借用しました。

(3)現場管理体制(協力業者による管理)

専門工事協力業者については、各職種共に職長を選定し、打合せの内容が職方全員に周知できるよう徹底しました。また朝礼後に作業内容確認をするだけでなく、午後のミーティングにより店社と意志の疎通が密になるよう努め、変更や指摘事項にも即座に対応できる様に体制を整えました。

(4)安全衛生

安全衛生に関しては、新規入場者教育時に安全教育を実施し、現場内でのルール説明を徹底しました。また自社だけでなく協力業者にも送り出し教育の励行を呼びかけ、現場に初めて入る職方さんの安全に対する認識が高まるよう努めました。

朝礼ではそれぞれの職長が本日の作業内容と範囲を発表することで、他業種の作業員にも危険ヶ所の周知徹底をするとともに、一連の作業工程が円滑に流れるように努めました。また、朝礼後は職種別にKYミーティングを実施することで、現場作業に携わる全員が安全に作業することができ、無事故・無災害で竣工を迎えることができました。

(4)本工事の主な追加及び変更

別紙内訳明細書による

伊島宿舎修繕工事 設計額内訳書

※上段：当初設計額
下段：変更設計額

工　種	細　目	単位	数量	単価	金額(※)	増減額
純工事費					[redacted]	
	１号棟修繕工事	式	1 1			
	２号棟修繕工事	式	1 1			
	共通･屋外付帯工事	式	1 1			
間接工事費						
	共通仮設費	式	1 1			
	現場管理費	式	1 1			
	一般管理費等	式	1 1			
小　計						
	消費税等相当額	式	1 1			
合　計						

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
1号棟修繕工事										
外壁改修工事										
直接仮設工事										
外部足場	枠組本足場/昇降階段共	㎡	659	[redacted]						
シート養生	メッシュシート貼	㎡	659							
落下防止養生	外部足場隙間シート張	m	133							
出入り口養生	朝顔 1箇所 計4m	箇所	1							
安全手摺	枠組み本足場用	m	69							
資材運搬費	場内小運搬	式	1							
進入防止金網	1階 H1800 L65.6m	式	1							
下地処理工事										
亀裂注入処理1.0㎜以上	Uカット/ウレタンシール/ポキシ樹脂仕上	m	3							
亀裂処理0.5㎜以上1㎜未満	エポキシ樹脂注入工法	m	40							
亀裂フィラー処理 0.5㎜未満	微弾性フィラー擦り込み	m	140							
爆裂押出補修(大)	錆止後エポキシ樹脂成形L=500～1000	箇所	1							
爆裂押出補修(中)	錆止後エポキシ樹脂モルタル成形L=150～500	箇所	1							
爆裂押出補修(小)	錆止後エポキシ樹脂モルタル成形L=150未満	箇所	5							
手摺下笠木天端浮き注入補修	浮き部エポキシ樹脂注入W150程度ピンニング共	m	3							
手摺下笠木天端割れ補修	割れ部撤去樹脂モルタル塗W150程度	m	2							
躯体欠損部補修	劣化部撤去後樹脂モルタル整形 WL100程度	箇所	15							
躯体浮き部補修	劣化部撤去後樹脂モルタル整形	㎡	2							
躯体浮き部補修		㎡								
手摺支持部浮き注入補修	エポキシ樹脂注入	箇所	5							
手摺支持部浮き補修	劣化部撤去後樹脂モルタル整形	箇所	2							
露筋処理	露筋鉄筋ケレン錆止目の上樹脂モルタル塗り	箇所	3							
床 浮き部補修	エポキシ樹脂注入	㎡	7							
巾木・溝 浮き部補修	エポキシ樹脂注入	m	4							
高圧水洗浄	外壁面既設塗膜浮き部剥がし	㎡	910							
既存塗膜浮部剥がし	ケレンパターン処理共しごき補修の浮も含む	㎡	5							

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A) 数量	当初設計(A) 単価	当初設計(A) 金額	最終設計(B) 数量	最終設計(B) 単価	最終設計(B) 金額	増減額 (B-A)	摘要
防水改修工事										
屋上ウレタン樹脂防水改修	ウレタン樹脂防水通気緩衝工法	式	1							
庇ウレタン樹脂防水改修	ウレタン樹脂防水密着工法	式	1							
庇シングル防水	シングル葺き+ウレタン樹脂防水	式								
建具廻りシール打ち替え	15×10程度ポリウレタン 撤去処分共	m	285							
バルコニー巾木取合いシール	15×10程度ポリウレタン 目地内下地調整共	m	91.2							
打継ぎ目地シール打ち替え	20×15程度ポリウレタン 撤去処分共	m	167							
化粧目地シール打ち替え	15×10程度ポリウレタン 撤去処分共	m	73.6							
手摺支持部取合いシール打ち	15×10程度ポリウレタン	箇所	84							
出窓FIXガラス押えシール打ち替	5×5程度 シリコン 片面撤去処分共	m	20.4							
バルコニー床ウレタン樹脂防水	t3.0密着工法 ひび割れ補修	㎡	101							
バルコニー巾木ウレタン樹脂防水	H100程度 下地調整共	m	91.2							
バルコニー溝ウレタン樹脂防水	H100下地調整 勾配調整共	m	94.8							
バルコニー笠木ウレタン樹脂防水	W150程度 下地調整共	m	50.4							
階段溝 ウレタン樹脂防水	W100 勾配調整共	m	46.8							
階段踊場巾木ウレタン樹脂防水	H100	m	14							
階段ササラ巾木ウレタン樹脂防水	H150	m	40.8							
設備基礎、はと小屋等 ウレタン樹脂防水	下地処理共 ハト小屋、ハッチ架台等	㎡	11							
換気ガラリ周囲シーリング	200φ程度 ポリウレタン	箇所	3							
外壁等塗装改修工事										
外壁 高耐候低汚染型水性シリコン樹脂塗装	水性反応硬化形微弾性下地調整材	㎡	644							
軒裏 NADアクリル樹脂塗装	艶消し	㎡	267							
バルコニー隔板 ウレタン樹脂塗装	ボード面 シーラー共	㎡	17.3							
バルコニー手摺パネル塗装替え	3種ケレン、下地調整 ウレタン樹脂塗装	㎡	69.1							
鉄部等塗装改修工事										
MB他鋼製建具 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共 枠共	㎡	22.8							
玄関建具枠 ウレタン樹脂塗料塗	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	m	27.6							
玄関扉ウレタン樹脂塗装	3種ケレン、塩ビゾルプライマー	戸								
給湯器配管ウレタン樹脂塗装	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所								
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	1							
設備配管 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	式	1							
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	1							

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A) 数量	当初設計(A) 単価	当初設計(A) 金額	最終設計(B) 数量	最終設計(B) 単価	最終設計(B) 金額	増減額 (B-A)	摘要
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	3	[redacted]						
階段手摺塗装替え	仝上 ウレタン樹脂塗装	m	6							
樋 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	m	35.6							
排水ドレイン タールフリー変性エポキシ塗装	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	12							
軒下フック金物 ウレタン樹脂塗装替え	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	2							
換気ガラリ ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	3							
出窓 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	6							
床下換気口 ウレタン樹脂塗料塗	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	12							
階段床改修工事										
階段踊場長尺シート貼	下地調整、端部シール共	㎡	22.5							
階段踏面・蹴上げ塩ビシート貼	下地調整、端部シール共	段	37							
雑改修工事										
アルミサッシ戸車補修	開閉調整共	組	24							
アルミサッシ・網戸戸車交換	開閉調整共	戸								
室名札取替え	アルミ製 270×120 番号共	箇所	6							
掲示板取替え	SUS/800*550/番号共	箇所	1							
避難ハッチ新替え	SUS/カバー工法/タップ内臓/シール共	箇所	4							
隔て板避難ステッカー張替	アルミ箔 200×300	枚	6							
階段表示板清掃	樹脂	箇所	2							
消火器表示板取替え	樹脂/100*240	箇所	2							
アルミ製物干金物 清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	12							
アルミ製物干金物 取替	アルミ/可動式/最大780㎜タイプ	箇所								
アルミ製物干金物 設置(再使用品)	既設品再用	箇所								
アルミ製物干金物 取替(新品)	アルミ/可動式/最大780㎜タイプ	箇所								
アルミ手摺清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	㎡	26.3							
アルミサッシ清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	30							
棟番号表示清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	1							
隔壁ビード取替	塩ビ/手摺パネル共	m	150							
郵便受け口補修	破損部補修	箇所	1							
バルコニー手摺パネル取替	カラーアルミ合板	枚								

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
電気設備工事										
共用灯設備										
照明器具	E-2 EFD 15W−1	台	1							
照明器具	E-3 FL20W-1(富士型)B入り	台	3							
照明器具	E-4 FL20W-1(Gｶﾊﾞｰ付)B入り	台	2							
既設撤去費		式	1							
ガス漏れ警報設備	ガス漏れ警報器	個	6							
	既設撤去	式	1							
ﾃﾚﾋﾞ共聴設備										
ブースター	U/V/FM 38db	台	1							
ブースター	BS1 40db	台	1							
調整費		式	1							
既設撤去費		式	1							
機械設備工事										
量水器取替	20A	個	6							
通気金物カバー設置	SUS深型ﾌｰﾄﾞ付ガラリ/編付	箇所	1							
R階ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽ部ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ設置	SUS深型ﾌｰﾄﾞ付ガラリ/編付	箇所	2							
換気口他成形補修	注入・左官仕上/換気口1、ｶﾞﾗﾘ下1	式								
1号棟合計										

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額 (B-A)	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額		
2号棟修繕工事										
外壁改修工事費										
直接仮設工事										
外部足場	枠組み本足場 /昇降階段共	㎡	1464							
シート養生	メッシュシート張	㎡	1464							
落下防止養生	外部足場隙間シート張	m	254							
出入り口養生	朝顔 1箇所 計4m	箇所	3							
安全手摺	枠組み本足場用	m	145							
資材運搬費	場内小運搬	式	1							
進入防止金網	1階 H1800 L118m	式	1							
下地処理工事										
亀裂注入処理1.0㎜以上	Uカット/ウレタンシール/ｴﾎﾟｷｼ樹脂仕上げ	m	10							
亀裂処理0.5㎜以上1㎜未満	エポキシ樹脂注入工法	m	100							
亀裂フィラー処理 0.5㎜未満	微弾性フィラー擦り込み	m	300							
爆裂押出補修(大)	錆止/ｴﾎﾟｷｼ樹脂成形L=500～1000	箇所	1							
爆裂押出補修(中)	錆止/ｴﾎﾟｷｼ樹脂成形L=150～500	箇所	3							
爆裂押出補修(小)	錆止/ｴﾎﾟｷｼ樹脂成形L=150未満	箇所	10							
手摺下笠木天端浮き注入補修	浮き部エポキシ樹脂注入/ﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ共	m	10							
手摺下笠木天端割れ補修	割れ部撤去/樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗	m	5							
躯体欠損部補修	劣化部撤去/樹脂ﾓﾙ	箇所	30							
躯体浮き部補修	劣化部撤去/樹脂ﾓﾙ	㎡	3							
手摺支持部浮き注入補修	エポキシ樹脂注入	箇所	10							
手摺支持部浮き補修	劣化部撤去/樹脂ﾓﾙ	箇所	5							
露筋処理	露筋鉄筋ｹﾚﾝ錆止/樹脂ﾓﾙ	箇所	5							
床 浮き部補修	エポキシ樹脂注入	㎡	20							
巾木・溝 浮き部補修	エポキシ樹脂注入	m	10							
高圧水洗浄	外壁面既設塗膜浮き部剥がし	㎡	2054							
既存塗膜浮部剥がし	ｹﾚﾝﾊﾟﾀｰﾝ処理/しごき補修	㎡	10							

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A) 数量	単価	金額	最終設計(B) 数量	単価	金額	増減額 (B-A)	摘要
防水改修工事										
屋上ウレタン樹脂防水改修	ウレタン樹脂防水通気緩衝工法	式	1							
庇ウレタン樹脂防水改修	ウレタン樹脂防水密着工法	式	1							
庇シングル防水	ｼﾝｸﾞﾙ葺き+ウレタン樹脂防水	式								
建具廻りシール打ち替え	15×10程度ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ 撤去処分共	m	562							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ巾木取合いシール	15×10程度ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ 目地内下地調整共	m	227							
打継ぎ目地シール打ち替え	20×15程度ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ 撤去処分共	m	283							
化粧目地シール打ち替え	15×10程度ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ 撤去処分共	m	62.3							
手摺支持部取合いシール打ち	15×10程度ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ	箇所	224							
出窓FIXガラス押えシール打ち替	5×5程度 ｼﾘｺﾝ 片面撤去処分共	m	17							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ床ウレタン樹脂防水	t3.0/密着工法/ｸﾗｯｸ補修共	㎡	269							
庇天ウレタン樹脂防水	t3.0/密着工法/ｸﾗｯｸ補修共	㎡	14.6							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ巾木ウレタン樹脂防水	H100程度 下地調整共	m	227							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ溝ウレタン樹脂防水	H100下地調整 勾配調整共	m	245							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ笠木ウレタン樹脂防水	W150程度 下地調整共	m	134							
階段溝 ウレタン樹脂防水	W100 勾配調整共	m	90.4							
階段踊場巾木ウレタン樹脂防水	H100	m	35							
階段ササラ巾木ウレタン樹脂防水	H150	m	75.4							
設備基礎、はと小屋等 ウレタン樹脂防水	下地調整共	㎡	26.8							
換気ガラリ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ	200φ程度 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ	箇所	3							
外壁等塗装改修工事										
外壁 高耐候低汚染型水性ｼﾘｺﾝ樹脂塗装	水性反応硬化形微弾性下地調整材	㎡	1353							
軒裏 NADアクリル樹脂塗装	艶消し	㎡	710							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ隔板 ウレタン樹脂塗装	ﾎﾞｰﾄﾞ面/ｼｰﾗｰ共	㎡	74.2							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺パネル塗装替え	3種ケレン/下地調整/ウレタン樹脂塗装	㎡	161							
鉄部等塗装改修工事										
MB他鋼製建具 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性ｴﾎﾟｷｼ錆止め共 枠共	㎡	88.8							
玄関建具枠 ウレタン樹脂塗料塗	3種ケレン、変性ｴﾎﾟｷｼ錆止め共	m	73.6							
玄関扉ウレタン樹脂塗装	3種ケレン、塩ビゾルプライマー	戸								
給湯器配管ウレタン樹脂塗装	3種ケレン、変性ｴﾎﾟｷｼ錆止め共	箇所								
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性ｴﾎﾟｷｼ錆止め共	式	1	8,000	8,000	1	8,000	8,000	0	

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
設備配管 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	式	1							
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	1							
設備盤等 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	1							
階段手摺塗装替え	3種ケレン、変性エポキシ錆止 ウレタン樹脂塗装	m	15							
樋 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	m	82.6							
排水ドレイン タールフリー変性エポキシ塗装	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	26							
屋上給水管ラッキング塗装替え	全上 ウレタン樹脂塗装	式	1							
高架水槽塗装替え	下地調整 ウレタン樹脂塗装	㎡	20							
高架水槽架台塗装替え	3種ケレン、変性エポキシ錆止 ウレタン樹脂塗装	㎡	179							
軒下フック金物 ウレタン樹脂塗装替え	3種ケレン、変性エポキシ錆止	箇所	4							
換気ガラリ ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	6							
出窓 ウレタン樹脂塗料塗り	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	5							
床下換気口 ウレタン樹脂塗料塗	3種ケレン、変性エポキシ錆止め共	箇所	20							
階段床改修工事										
階段踊場長尺シート貼	下地調整、端部シール共	㎡	58.5							
階段踏面・蹴上げ塩ビシート貼	下地調整、端部シール共	段	102							
アルミサッシ戸車補修	開閉調整共	組	60							
アルミサッシ・網戸戸車交換	開閉調整共	戸								
室名札取替え	アルミ製 270×120 番号共	箇所	16							
掲示板取替え	SUS/800*550/番号共	箇所	3							
避難ハッチ新替え	SUS/カバー工法/タッチ内蔵/シール共	箇所	10							
隔て板避難ステッカー張替	アルミ箔 200×300	枚	28							
階段表示板清掃	樹脂	箇所	8							
消火器表示板取替え	樹脂/100*240	箇所	8							
アルミ製物干金物 清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	32							
アルミ製物干金物 取替	アルミ/可動式/最大780㎜タイプ	箇所								
アルミ製物干金物 設置(再使用品)	既設品再用	箇所								
アルミ製物干金物 取替(新品)	アルミ/可動式/最大780㎜タイプ	箇所								
アルミ手摺清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	㎡	70.2							
アルミサッシ清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	69							
棟番号表示清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	1							

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
庇軒樋設置	塩ビ製W100/ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ水切り共	式	1							
庇立樋設置	塩ビ製50φ	式	1							
隔て板ビード取替	塩ビ製 手摺パネル共	m	373							
ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺パネル取替	ｶﾗｰｱﾙﾐ合板	枚	16							
自転車置場網入ｶﾞﾗｽ取替	網入ｶﾞﾗｽ	枚								
電気設備工事										
共用灯設備										
照明器具	E-2 EFD 15W－1	台	2							
照明器具	E-3 FL20W-1(富士型)B入り	台	8							
照明器具	E-4 FL20W-1(Gｶﾊﾞｰ付)B入り	台	5							
照明器具	E-5 FL20W-1(アクリルカバー付)	台	3							
既設撤去費		式	1							
火災警報設備										
住宅用火災警報器	(電池式 煙型)	個	64							
住宅用火災警報器	(電池式 熱型)	個	16							
ガス漏れ警報設備										
ガス漏れ警報器		個	16							
既設撤去費		式	1							
ﾃﾚﾋﾞ共聴設備										
ブースター	CATV 40db	台	3							
ブースター	BS-1 40db	台	3							
調整費		式	1							
既設撤去費		式	1							
機械設備工事										
量水器取替	20A	個	16							
通気金物カバー設置	SUS深型ﾌｰﾄﾞ付ガラリ/編付	箇所	3							
R階ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽ部ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ設置	SUS深型ﾌｰﾄﾞ付ガラリ/編付	箇所	6							
高架水槽廻り配管保温工事	ｶﾗｰ亜鉛鉄板	式	1							
換気口成形補修	ｴﾎﾟｷｼ樹脂モルタル	式								
2号棟合計										

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
共通・屋外等付帯工事										
屋外付帯工事										
ゴミ置場壁 高耐候低汚染型水性シリコン樹脂塗装	水性反応硬化形微弾性下地調整材	㎡	6							
北西側フェンス支柱・枠ウレタン樹脂塗装	3種ケレン/錆び止め/ネット復旧共	式	1							
既存カーブミラー鉄部ウレタン樹脂塗装	3種ケレン/錆び止め	式	1							
受水槽塗装替え	下地調整 ウレタン樹脂塗装	㎡	30.8							
受水槽配水管錆止塗装		m								
施設名称サイン清掃	アルミクリーナー/フッ素樹脂コーティング	箇所	2							
施設案内板塗替		箇所								
施設名称サイン撤去	基礎存置	箇所								
施設足元コンクリート打ち	1300*500*80/金鏝仕上	箇所	2							
シールコンクリート打設	厚8cm/RC40共/金コテ仕上	㎡								
アスファルト舗装	再生密粒度t13/厚5cm	㎡	223							
アスファルト舗装、切削オーバーレイ	再生密粒度t13/厚5cm	㎡	40							
アスファルト舗装(東側)	再生密粒度t13/厚5cm	式								
アスファルト舗装(南側)	仝上、新設5cm・オーバーレイ5cm	式								
アスファルト舗装(北側)	仝上、排水性t13オーバーレイ5cm	式								
コンクリート縁石設置	150*150*600	m	96.1							
コンクリート縁石撤去	150*200*600、処分共	m								
歩車道境界設置	180/210*300*600	m								
車止め撤去	150*200*600処分共	個								
車止め設置	150*120*600/アンカー固定共	個								
コンクリート舗装	厚8cm/6－150溶接金網共	㎡	33							
インターロッキング舗装沈下補修	嵩上げ/材料再用	㎡	30							
インターロッキング舗装撤去	再用目的/撤去品引渡	㎡								
犬走りクラック補修	モルタル充填	m	5							
犬走りモルタル撤去		㎡								
カーブミラー設置	SUS/600φ/L3500	箇所	2							
駐車場区画線設置	溶融型/W10cm/27区画/No共	式	1							
路面標示	溶融型/W10cm/26区画/番号/文字	式								
グレーチング設置	歩道用/W180	m								
グレーチング設置	車道横断用/W300	m								
ネットフェンス撤去	H3m、基礎とも	m								

伊島宿舎修繕工事(最終設計変更)

項目	細目	単位	当初設計(A)			最終設計(B)			増減額	摘要
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	(B-A)	
目隠しフェンス設置	H1800、基礎とも	式								
植栽撤去	カイズカイブキ100本、伐根とも	式								
石垣撤去	CB撤去、左官補修共	式								
電気設備工事										
共用部テレビ共聴設備										
ブースター	U/V/FM 38db	台	1							
チューナー	デジタル対応	台	2							
変調器	UHF2波 2ch	台	1							
調整費		式	1							
既設撤去費		式	1							
屋外灯設備										
照明器具	E-1 FHT42W-1 ポール取付バンド共	台	2							
既設撤去費		式	1							
機械設備工事										
受水槽廻り配管保温工事	ステンレス鋼板	式	1							
埋設標設置	φ25*70/水	箇所								
散水栓撤去	BOX撤去共、管防護共	個								
駐車場借上費										
当初借上分	9台/147日	式								
追加借上分	9台/ 4日	式								
共通・屋外付帯工事合計										

2. 工事報告書(総合編)

目　　次

１．工事概要

２．実施工程表

３．現場組織表

４．安全管理

５．主要機械

６．主要資材

７．施工方法

８．施工管理

９．緊急時の体制及び対応

１０．交通管理

１１．環境対策

１２．現場作業環境の整備

１３．仕様書に定められた事項

１．工事概要

（1）　工　事　名　称　　伊島宿舎修繕工事

（2）　工　事　場　所　　岡山市北区伊島町２－１０－２５（本四高速㈱伊島宿舎）

（3）　工　　　期　　平成２１年　３月３１日　から
　　平成２１年１０月　９日　まで

（4）　請　負　金　額　　[redacted]

（5）　発　　注　　者　　本州四国連絡高速道路株式会社　岡山管理センター
　　所長　[redacted]

（6）　請　　負　　者　　東和防水工業株式会社
　　(岡山市北区一宮１１４６－１／代表取締役：秋山政巳)

（7）　工　事　内　容

１．１号棟修繕工事

直接仮設工事	１式
下地処理工事	１式
防水改修工事	１式
外壁等塗装改修工事	１式
鉄部等塗装改修工事	１式
階段床改修工事	１式
雑改修工事	１式
電気設備工事	１式
機械設備工事	１式

２．２号棟修繕工事

直接仮設工事	１式
下地処理工事	１式
防水改修工事	１式
外壁等塗装改修工事	１式
鉄部等塗装改修工事	１式
階段床改修工事	１式
雑改修工事	１式
電気設備工事	１式
機械設備工事	１式

３．屋外等付帯工事

外構等付帯工事	１式
電気設備工事	１式
機械設備工事	１式

（8）　工　事　監　理　体　制

別紙のとおり。

２．実施工程表

別紙のとおり。

３．現場組織表

別紙のとおり。

1-(8) 工事監理体制

総括監督員	[redacted]	
主任監督員		※1
主任監督員		※2
監督員		※1
監督員		※2
監督員		※3
監督員		※1
現場技術員		

※1　建築工事全般に関すること
※2　地元（町内・入居者）の対策に関すること
※3　電気設備に関すること

現場代理人	[redacted]	
主任技術者		
現場担当者		
現場担当者		

別紙－1　工程表

実　施　工　程　表

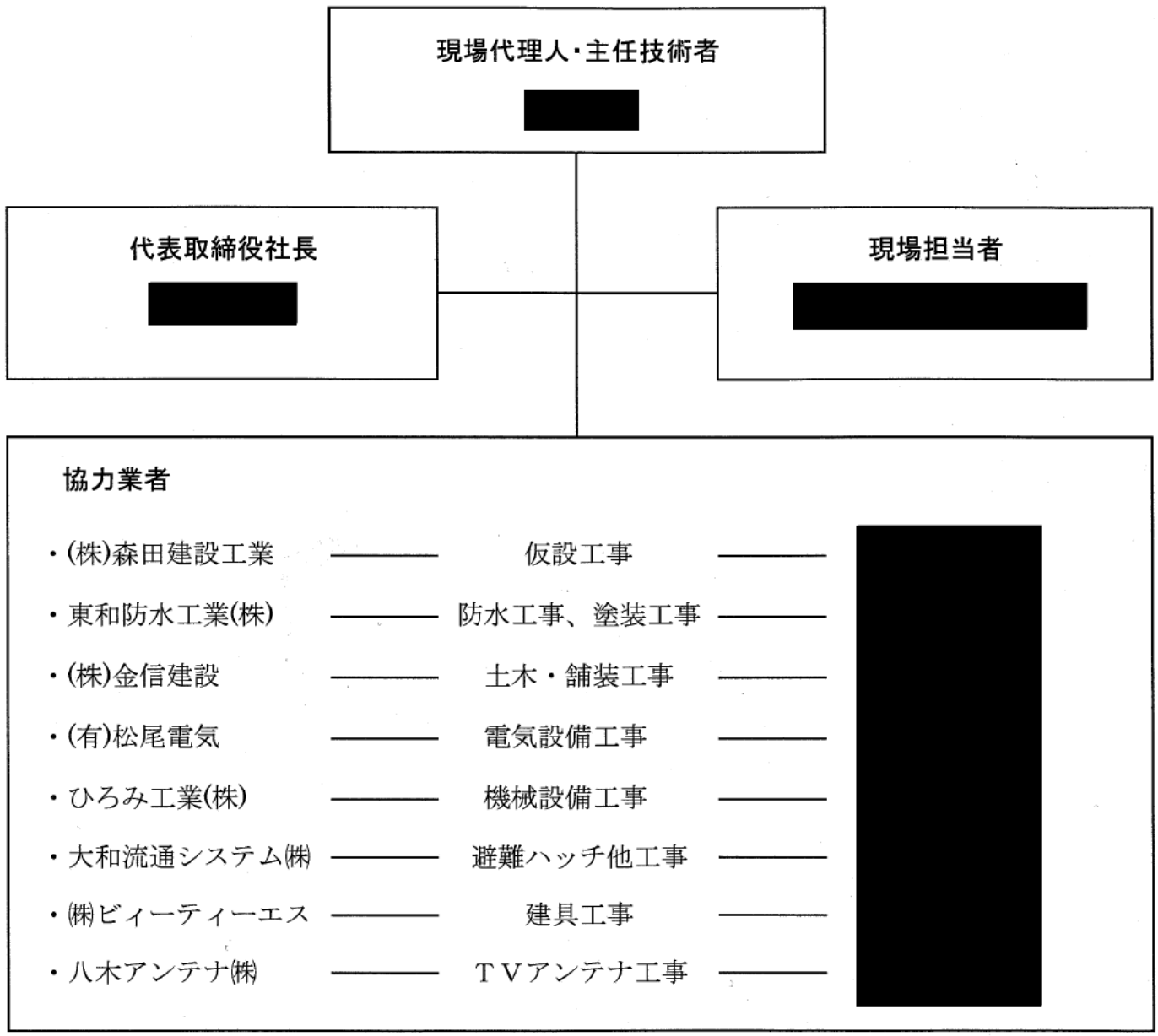
平成21年　10月　9日

工事件名　：　伊島宿舎修繕工事
工事場所　：　岡山市北区伊島町2丁目10－25　本四高速(株)伊島宿舎
工事期間　：　平成21年　3月31日　から　平成21年　10月　9日　まで

項　　目	単位	数量	摘　要
			100%
準備工	1	式	
1号棟修繕工事			90%
直接仮設工事	1	式	
下地処理工事	1	式	
防水改修工事	1	式	80%
外壁等塗装改修工事	1	式	
鉄部等塗装改修工事	1	式	
階段床改修工事	1	式	70%
雑改修工事	1	式	
電気設備工事	1	式	
機械設備工事	1	式	60%
2号棟修繕工事			
直接仮設工事	1	式	50%
下地処理工事	1	式	
防水改修工事	1	式	
外壁等塗装改修工事	1	式	40%
鉄部等塗装改修工事	1	式	
階段床改修工事	1	式	
雑改修工事	1	式	30%
電気設備工事	1	式	
機械設備工事	1	式	
			20%
屋外等付帯工事			
外構等付帯工事	1	式	
電気設備工事	1	式	10%
機械設備工事	1	式	
			0%

	平成20年度	平成21年度					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	10　20	10　20	10　20	10　20	10　20	10　20	10　20
当月出来高(%)	5	10	15	30	20	15	5
累計出来高(%)	5	15	30	60	80	95	100

3. 現場組織表


現場代理人・主任技術者
[redacted]
代表取締役社長
[redacted]
現場担当者
[redacted]
協力業者
・(株)森田建設工業 ―― 仮設工事
・東和防水工業(株) ―― 防水工事、塗装工事
・(株)金信建設 ―― 土木・舗装工事
・(有)松尾電気 ―― 電気設備工事
・ひろみ工業(株) ―― 機械設備工事
・大和流通システム㈱ ―― 避難ハッチ他工事
・㈱ビィーティーエス ―― 建具工事
・八木アンテナ㈱ ―― ＴＶアンテナ工事
[redacted]

施工体系図

様式－４

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

発注者名	本州四国連絡高速道路株式会社　岡山管理センター 所長 [redacted]
工事名称	伊島宿舎修繕工事

工期	自　平成21年　3月 31日 至　平成21年　10月 9日

元請名	東和防水工業株式会社
監督員名	[redacted]
監理技術者名	
専門技術者名	
担当工事内容	

元方安全衛生管理者 [redacted]

会長	総括安全衛生責任者 [redacted]
副会長	[redacted]

書記 [redacted]

電気工事

会社名	(有)松尾電気
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	電気工事
工期	21年　5月　日～　21年　10月　9日

消防施設工事

会社名	大和流通システム㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	避難ハッチ他工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	三ツ矢消防設備㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	避難ハッチ取替工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

足場工事

会社名	森田建設工業㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	外部足場工事
工期	21年　5月　日～　21年　10月　9日

建具工事

会社名	㈱ビィーティーエス
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	建具工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	
工期	年　月　日～　年　月　日

機械設備工事

会社名	ひろみ工業㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	受水設備工事
工期	21年　5月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	
工期	年　月　日～　年　月　日

工事

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	
工期	年　月　日～　年　月　日

土木・舗装工事

会社名	㈱金信建設
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	舗装工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	東中国ロード工業㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	区画線設置工事
工期	21年　8月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	
工期	年　月　日～　年　月　日

電気通信工事

会社名	八木アンテナ㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	ＴＶアンテナ工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	松田通信設備㈱
安全衛生責任者	[redacted]
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	ＴＶアンテナ工事
工期	21年　6月　日～　21年　10月　9日

工事

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事担当内容	
工期	年　月　日～　年　月　日

4．安全管理

（1）　災害・事故防止計画

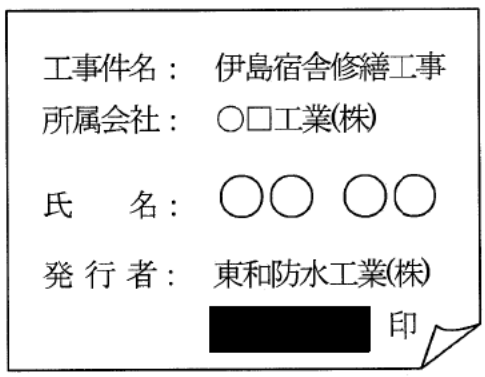
人間尊重の基本理念に徹し，全工期無災害を目標にして，安全管理体制の強化，責任の明確化を図り，全員参画による安全管理活動を推進した。

（2）　第三者に対する災害の防止

ア　作業現場内立入禁止措置

作業区域をバリケード等で明確にし，立入禁止看板で表示する。また、作業関係者はヘルメット、名札、必要に応じて安全帯を着用・使用し入居者への配慮を徹底した。

名札は、以下のものを使用した。



イ　通行人・一般通行車両

・迂回路・安全通路の表示を明確し、予告を早めに行った。
・材料置場はバリケード等で囲み，また，積重ね高さ等も重ねすぎないよう徹底した。
・一般車両優先を厳守した。

ウ　ガードマンの配置

・周辺住民や入居者との交鎖がある場合はガードマンを配置し、接触事故の防止を図った。
・ガードマンを必要とした主たる作業は以下の通り
　・仮設足場搬入・組払い・搬出
　・外構工事

（3）　クレーン等災害の防止

①　用途

・仮設材の荷揚げ・荷降ろし

②　機種

・８ｔ吊ラフター　　２日

・１２ｔ吊ラフター　　１日

・低騒音型

③　注意事項

※基本的な注意事項は以下の通り

ア　定格荷重の表示

運転者・玉掛者が，常時確認できる場所に表示する。

イ　外れ止め

・ワイヤロープが正常であるか，作業開始前に点検を行う。

・外れ止め装置のついていないクレーンは使用しない。

ウ　転倒防止

アウトリガーを十分に出してセットし，定格荷重以上の物を吊らない。

エ　玉掛

・有資格者が玉掛けを行う。

・合図者は専任者を指名し，その者により合図を行う。

・標準合図法により合図を行う。

オ　立入禁止

・作業半径内への立入を禁止する。

・旋回中，通行人・通行車輌に危険を及ぼす恐れのある場合には，必ずガードマンを付ける。

（4）　安全教育計画表

行　　事	実　　施　　計　　画
安全朝礼	始業前・全員参加
安全ミーティング	職種・グループ別に実施，ＫＹＫ（危険・予知・活動）
始業前点検	〃
作業打合せ	明日の作業指示，安全指示，連絡
後片付け	作業終了５分前片付け
新規入場者教育	職場規律，作業方法，災害防止対策の教育を各安全衛生委員により実施
安全訓練	毎月半日以上の時間を割り当て安全に関する訓練を実施
社内パトロール	毎月１回元請安全管理者による安全パトロールを実施
週間一斉片付け	作業終了３０分前
週間工程打合せ	週間作業工程の反省及び翌週の作業工程打合せ

５．主要機械

本工事で使用した主要機械は、次のものである。

機　械　名	使　用　工　種	ｸﾞﾘｰﾝ法適合	
		低騒音型	排ガス規制
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ８ｔ吊	仮設工事、防水工事	○	○
ダンプトラック 4t	建設副産物搬出		○
発電機	全工種（延べ５台）	○	
４ｔｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	仮設工事、建設資材搬入	○	○

６．主要資材

本工事で使用した主要資材は、１４編　使用材料による。

７．施工方法

（1）本施工計画確立後、中山主任監督員・仁科監督員・津村監督員と共に地元説明・入居者説明を行った。議事録作成済。

８．施工管理計画

（1）工程管理

バーチャートにて工程を管理した。

毎週木曜日に、監督員と工程会議を開き、当該週の進捗報告と次週以降の予定工程を打ち合わせた。

（2）品質管理

使用する新品の搬入材料や清掃後再利用する材料のうち、比較的小さなものについては、風雨にさらされない場所で且つ施錠が出来る現場事務所の一室に保管した。

（3）出来形管理（写真管理）

塗料については空缶検査を行った。

９．緊急時の体制及び対応

発注者	本州四国連絡高速道路(株) 岡山管理センター	086-483-1197(計画課直通)
監督員	総括監督員：[redacted] 主任監督員：[redacted] (工事全般) 主任監督員：[redacted] (地元・入居者対応) 監　督　員：[redacted] (建築工事全般) 監　督　員：[redacted] (地元・入居者対応) 監　督　員：[redacted] (設備工事全般) 監　督　員：[redacted] (建築工事全般) 現場技術員：[redacted]	※ 個人情報保護の為 携帯電話番号は削除 しています

救急車・消防　119 警察署　110 所轄警察署 いずみ町交番 TEL 086-252-9280 救急病院 岡山中央病院 TEL 086-252-3221 岡山労働基準監督署 TEL 086-225-0591	事故発生	

請負者	岡山市北区一宮1146-1 東和防水工業株式会社 TEL 086-284-6544	
協力業者		
㈱森田建設工業	岡山市中区国富1112	086-271-3688
㈱金信建設	赤磐市多　899	086-957-4301
(有)松尾電機	岡山市北区辛川　207-16	086-284-5695
ひろみ工業㈱	岡山市中区倉富　252-12	086-274-3200
大和流通システム㈱	岡山市北区田中106-109	086-245-0041
㈱ビーティエス	岡山市南区当新田490-305	086-243-5188
八木アンテナ㈱	東京都千代田区外神田4-14-1	03-6734-9521

休日・夜間連絡先		
現場代理人	[redacted]	※ 個人情報保護の為、携帯電話番号 削除しています。
主任技術者		
現場担当者		
現場担当者		

１０．交通管理

（1） 交通安全対策

着手前に工事区域周辺の交通状況の確認を行い十分に安全を確保し，事故防止に細心の注意を払うものとする。また，定期及び随時現場のパトロールを行い，安全確保を第一とした施工を行う。当該現場周辺は道が狭い上、歩行者自転車等の往来も多いことから、搬入出経路について事前に調査を実施した。

（2）交通整理員の配置

必要に応じて作業区域周辺に交通整理員をそれぞれ配置し，車両及び歩行者の安全を確保した。また，作業区域からの機材の出入りは，誘導員により行い，事故防止に努めた。

特に、通勤通学時間帯については最大限留意するよう徹底した。

（3）保安施設設置計画及び保守点検計画

必要に応じて作業区域内に保安施設を設置し、設置に当たっては，第三者に注意して行った。

１１．環境対策

（1）本工事は，施工場所が住宅地周辺であるため，低騒音低振動型又は排ガス対策の機械を率先して使用し，工事に伴う騒音・振動等の発生を極力押さえるよう徹底した。

（2） 施工に伴って発生する廃材等に関しては，法令に従い処理をした。又、マニフェストを交付し、処分までの一連について確認した。

（3） 使用材料、機械についてはグリーン購入法認定のものを積極的にしようするよう計画した。

１２．現場作業環境の整備

（1）作業現場の環境対策として，場内の清掃、整理整頓を定期的に行い，工事現場のイメージアップを図った。

（2）入居住民や周辺住民との良好な関係を維持するため、工事進捗や各戸立入工程についてあらかじめ広告し、トラブルや手待ちがないよう情報公開をおこなった。

１３．仕様書に定められた事項

13-1 仮設・用地使用

当宿舎の２号棟１０３号室および同１０４号室を作業員休憩所、現場事務所として借用した。(平成21年4月7日付工事打合簿)。

2-103 号室 ― 作業員休憩所、ミーティングルーム(協力業者)、防犯上注意が必要な塗料缶などの仮置場として

2-104 号室 ― 当社の現場事務所、監督員詰所、会議室(甲乙)として

なおこれらの管理は、現場代理人、真野鉄男を防火管理者および鍵保管管理者とした。

また室内は畳の取り外し、フローリングの養生を行うことで、土足で立ち入ることを基本とし、監督員詰所とする部屋には、机(800×1200 程度/引出し付) 2台、いす2脚、ホワイトボード(900×1800 程度) 1台を設置した。

13-2 工事関係車両の明示

本工事に関係するすべての車両のうち、宿舎内に駐車するものについては、次の表示を行った。

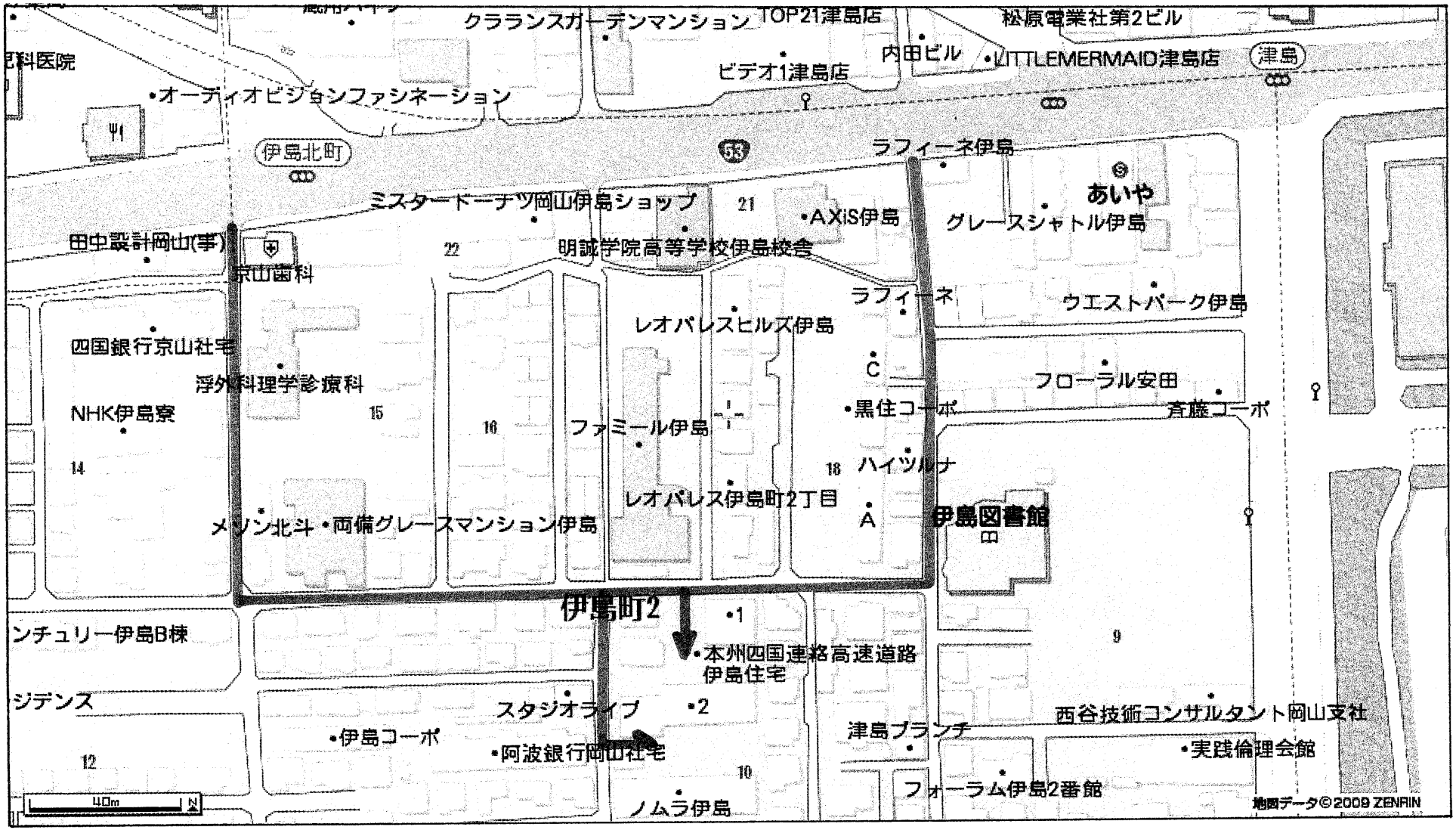
用紙は、Ａ4版横置きとし、フロントガラス面（室内側）に設置。この用紙は、常時現場事務所にて保管し、日々現場事務所で貸出し、返却するものとする。

ご迷惑をおかけしております

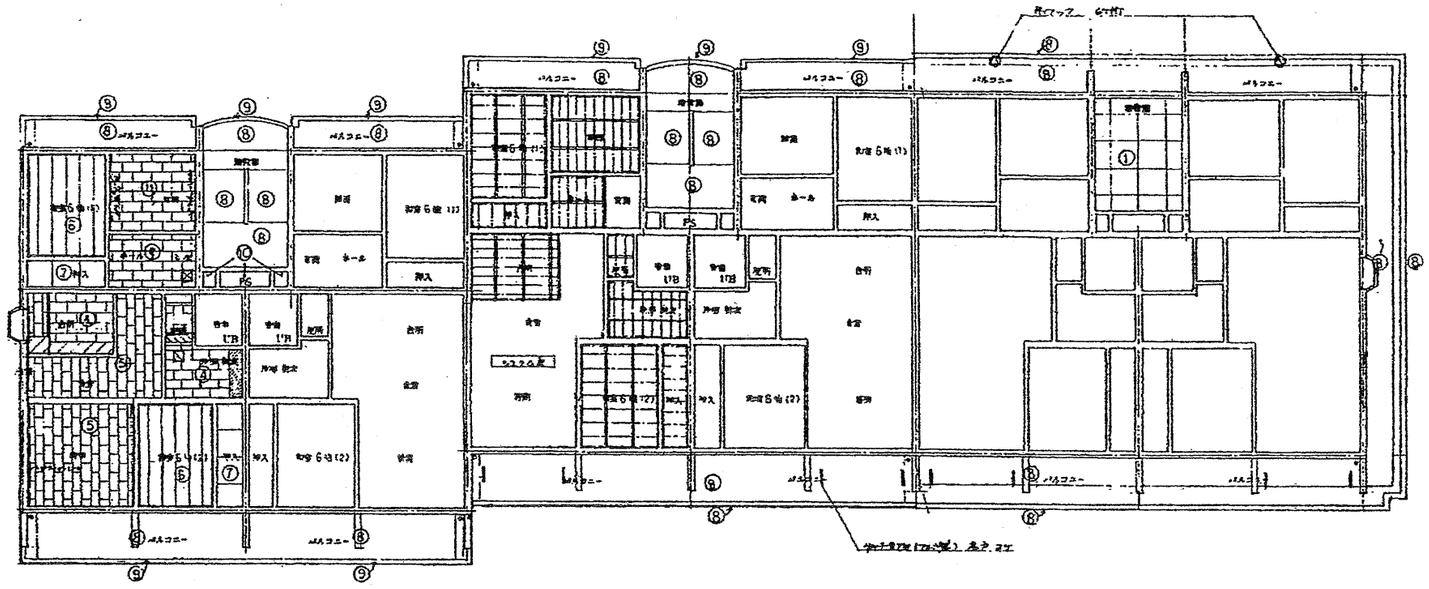
伊島宿舎修繕工事用車両

東和防水工業(株)

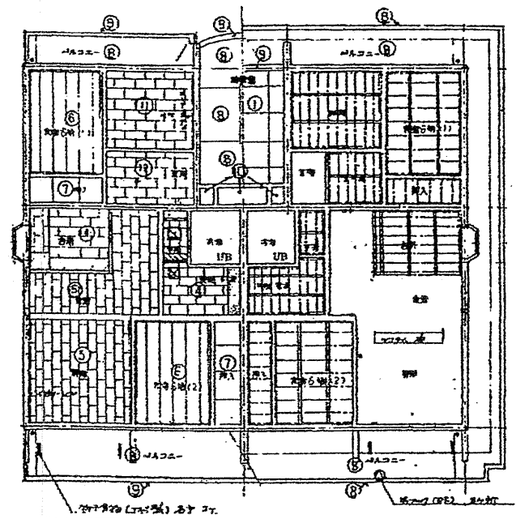
3. 用地使用


クラランスガーデンマンション
TOP21津島店
松原電業社第2ビル
ビデオ1津島店
内田ビル
LITTLEMERMAID津島店
津島
オーディオビジョンファシネーション
伊島北町
53
ラフィーネ伊島
あいや
ミスタードーナツ岡山伊島ショップ
21
AXiS伊島
グレースシャトル伊島
田中設計岡山(事)
京山歯科
22
明誠学院高等学校伊島校舎
ラフィーネ
ウエストパーク伊島
レオパレスヒルズ伊島
四国銀行京山社宅
浮外科理学診療科
C
フローラル安田
NHK伊島寮
15
16
ファミール伊島
黒住コーポ
斉藤コーポ
14
18
ハイツルナ
レオパレス伊島町2丁目
メゾン北斗
両備グレースマンション伊島
A
伊島図書館
伊島町2
1
本州四国連絡高速道路
伊島住宅
ンチュリー伊島B棟
9
ジデンス
スタジオライブ
2
西谷技術コンサルタント岡山支社
伊島コーポ
津島ブランチ
実践倫理会館
阿波銀行岡山社宅
12
10
フォーラム伊島2番館
ノムラ伊島
40m
N
地図データ©2009 ZENRIN

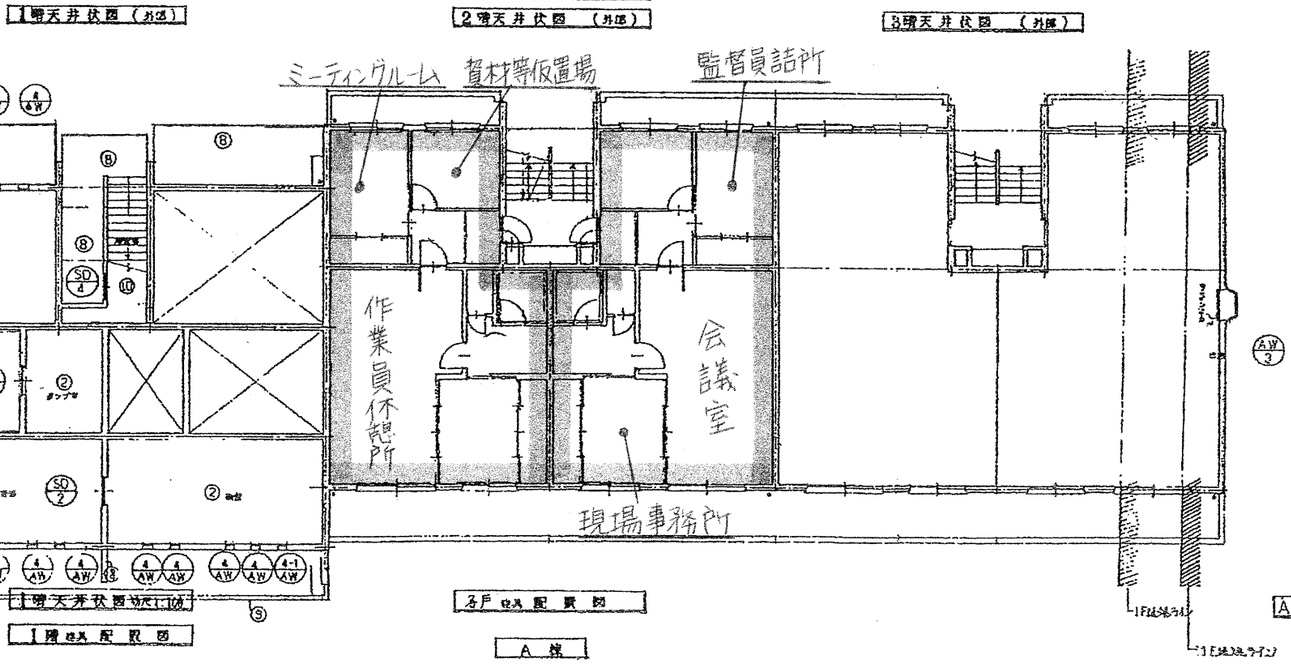
工事車両進入経路



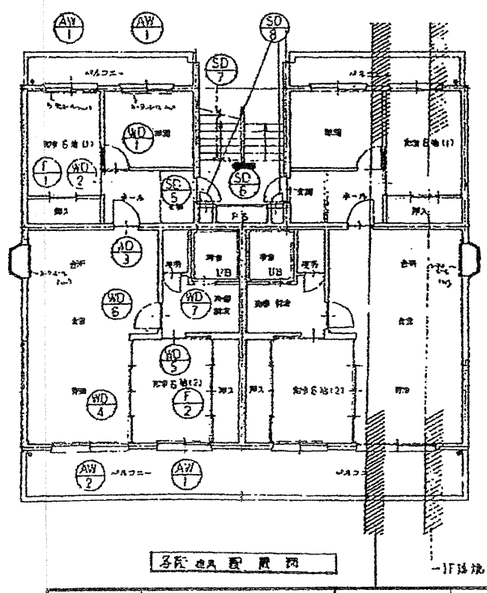
3階天井伏図 縮尺1:100
1階・2階天井伏図（外部）



3階床 伏 図 縮尺1:100
3階天井伏図 （外部）



3階天井伏図 縮尺1:100
1階天井伏図（外部）
2階床 伏 図 縮尺1:100
2階天井伏図 （外部）
3階天井伏図 （外部）
1階 建具 配 置 図
2階 建具 配 置 図
A 棟
A B 棟渡り廊下 建具 配 置 図

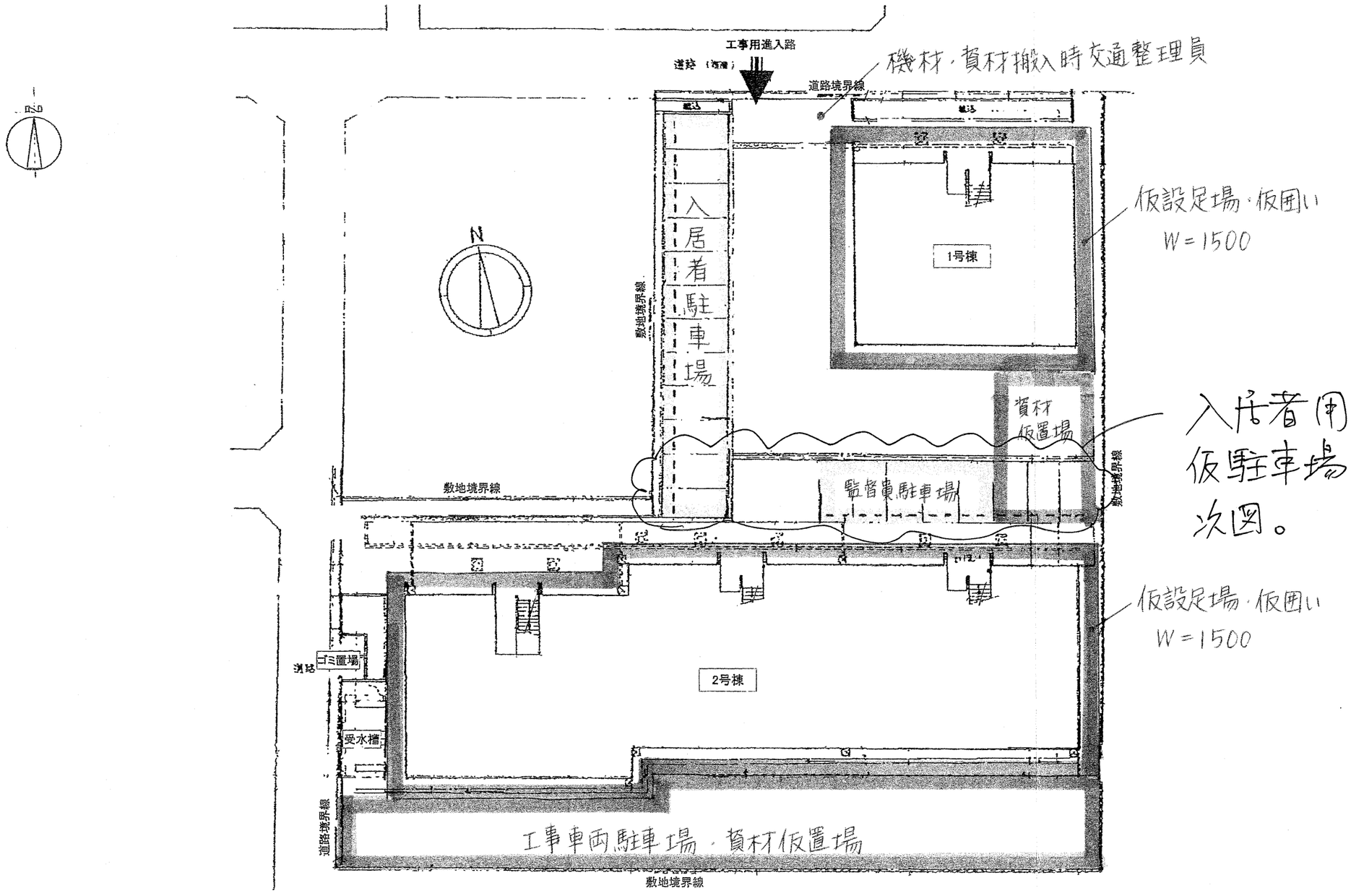


3階 建具 配 置 図

2-103号室 ― 作業員休憩所、ミーティングルーム、資材等仮置場
2-104号室 ― 現場事務所、監督員詰所、会議室

路線名	*			整理番号	*
工事名	伊島宿舎修繕工事				
図面名					
縮尺	*	図番	18 / 27	作成年月	平成21年2月
担当課長		所長		課長		照査	

岡山管理センター
本州四国連絡高速道路株式会社

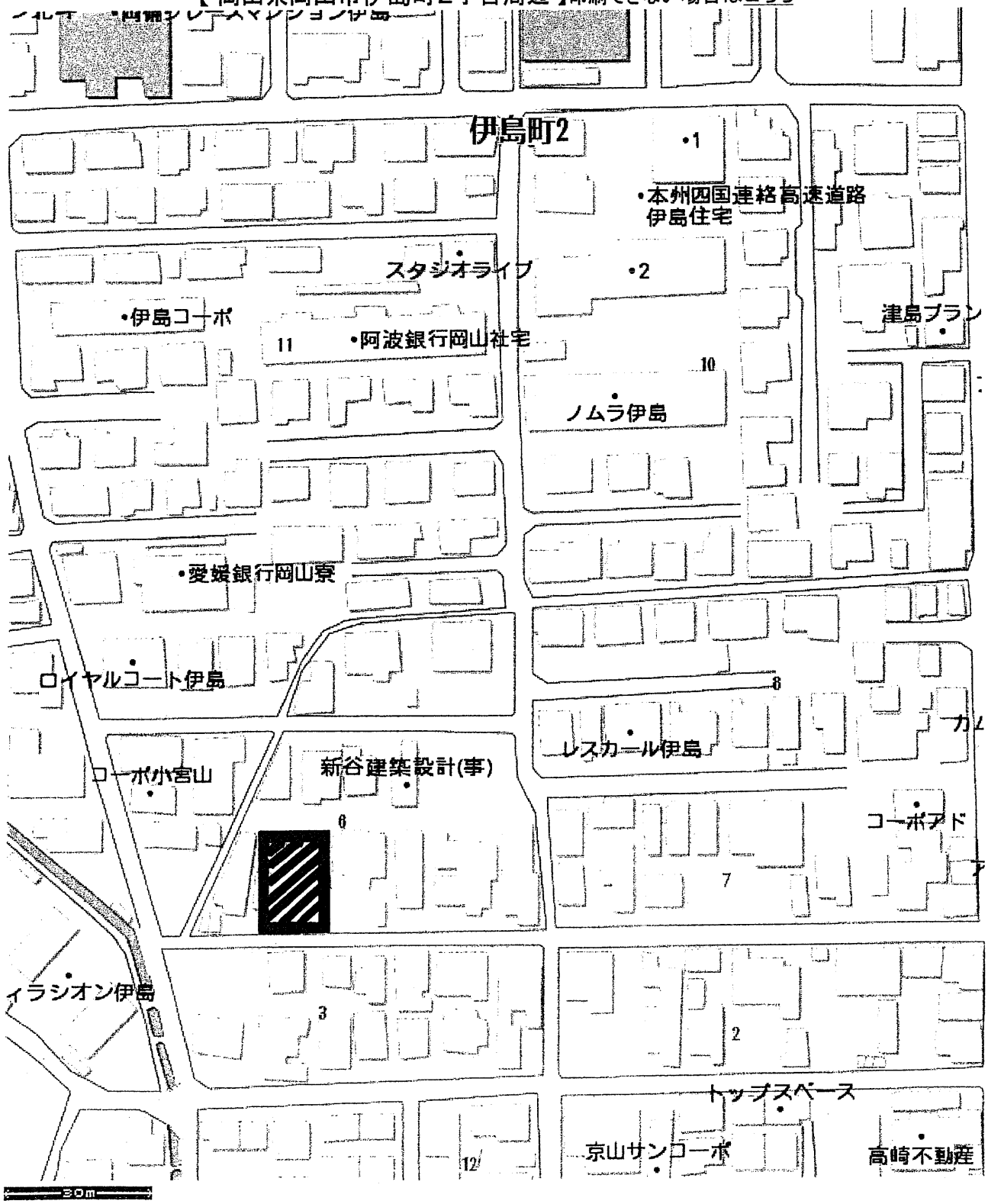


入居者用仮駐車場は次図。

路線名	*	整理番号	*
工事名	伊島宿舎修繕工事		
図面名			
縮尺	*	図番	6 / 27
作成年月	平成21年2月		
担当課長		所長	
課長		照査	
岡山管理センター 本州四国連絡高速道路株式会社			

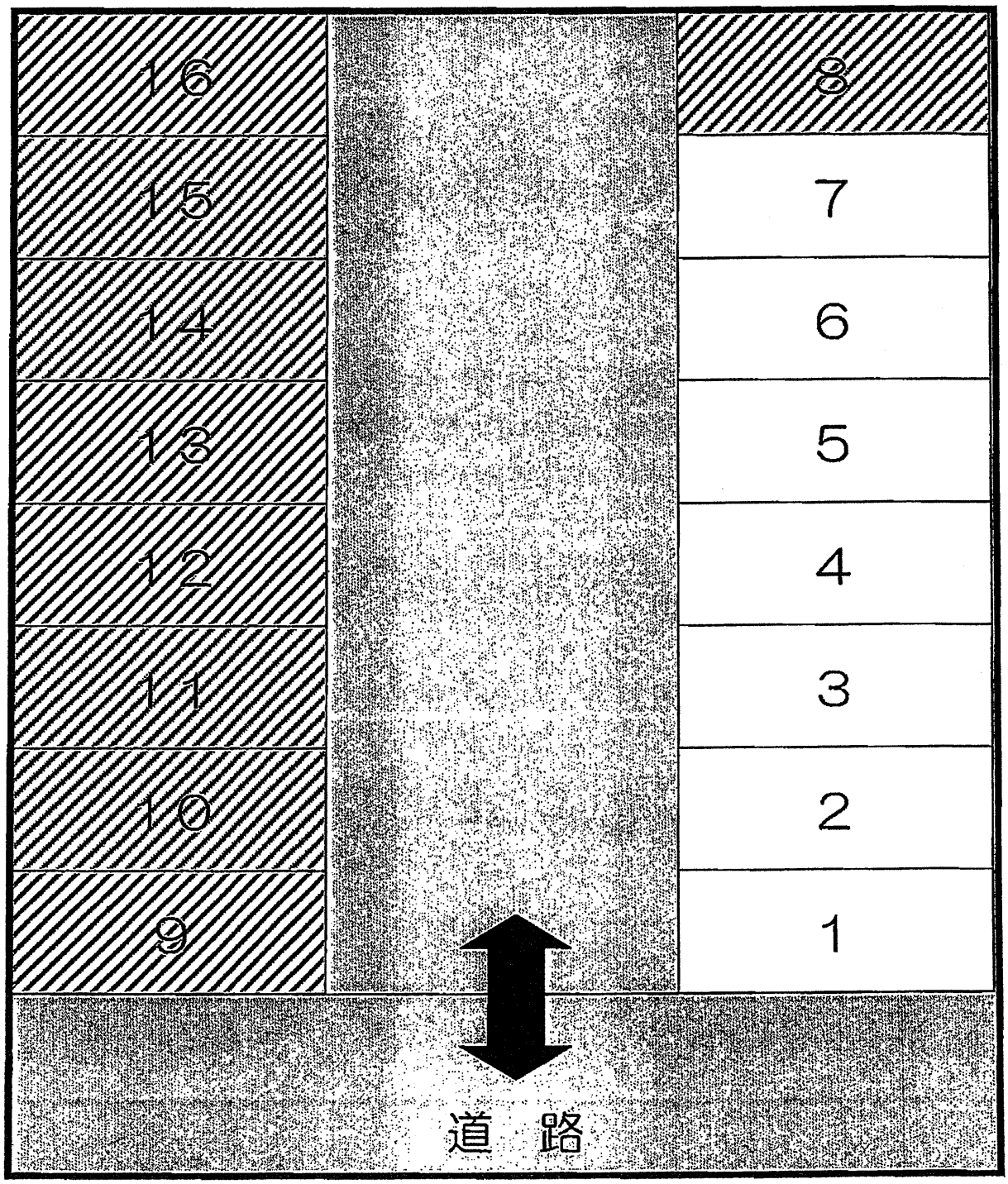
入居者用仮駐車場

【岡山県岡山市伊島町2丁目周辺】印刷できない場合はこちら



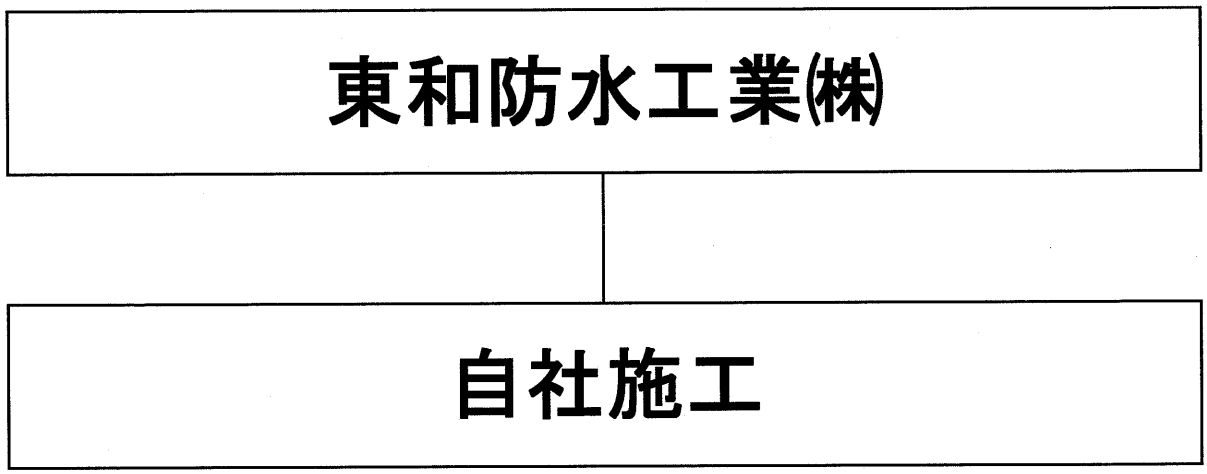
伊島町二丁目パーキング

岡山市北区伊島町二丁目1217番1他



4. 下地処理工事

元請負



１・施工概要

１－１　工事内容

１）躯体ひび割れ部の補修（別紙添付）
　　Ｕカットシーリング充填工法（クラック巾１ｍｍ以上）

２）躯体ひび割れ部の補修（別紙添付）
　　エポキシ樹脂注入工法（クラック巾１ｍｍ未満０．５ｍｍ以上）

３）躯体ひび割れ部の補修（別紙添付）
　　微弾性フィラー擦りこみ（クラック巾０．５ｍｍ未満）

４）欠損部改修工法（別紙添付）
　　エポキシ樹脂モルタル塗り（充填工法）

５）浮き部改修工法（別紙添付）
　　アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

６）撤去新替工法（別紙添付）
　　エポキシ樹脂モルタル塗り（充填工法）

１－２　事前調査・調査報告

１）足場架設後、躯体の欠損・脆弱部・ひび割れ部・浮き部について調査を行い、監督員の立会を得た。

２）立面図に損傷部位をプロットし、全箇所写真を撮った。

３）写真は壁面のＮｏ．を付して、記録調書と整合出来るようにした。
　　調査完了後、直ちに調査報告書を提出した。

１－３　調査方法

１）ひび割れ巾を０．５ｍｍを基準とし、それ以上とそれ未満に分けクラックスケール等で測定しマーキングする。

２）浮箇所をテストハンマー等で調査し、その範囲をマーキングする。

３）露筋部を目視で調査し、その箇所をマーキングする。

１－４　施工作業及び品質検査

１）施工において各作業の確認を行った。

（１）　下地の状態、前処理を確認する。

（２）　搬入材料の品質・数量の確認を行う。

（３） 材料の計量、混練状態を確認する。

（４） 充てん状況及び仕上げ状態を確認する。

２）写真管理

工種ごとに各工程の写真を撮影し、記録として写真集にまとめ管理写真とした。

３）品質管理・出来形管理

各面施工中・各工事・工程ごとに打診や目視の検査を行い、工事の品質向上に努めた。

１－５　施工数量

１２編・外壁調査報告書の通り。

１－６　使用材料

１４編・使用材料の通り。

１－７　施工要領書

一般的な施工要領書を次ページ以降に示す。

施 工 要 領 書

外壁ひび割れ（1．0mm以上）

Uカットシーリング充填工法

補修範囲の確認…… ひび割れの状態・幅・長さを充分に確認し、補修範囲を決定する。
（監督員立会）

Uカット…… ひび割れに沿って電動カッター等を用い、幅10mm、深さ10mm～15mm程度のU字型に溝を設ける。

溝内の清掃…… Uカット溝内部の切粉等をﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼ、刷毛、圧縮空気等で除去し清掃する。

プライマー塗布…… 専用プライマーとして【ﾌﾟﾗｲﾏｰUS-1】を刷毛等を用いて溝内部に塗り残しが無いように均一に塗布する。
プライマー塗布後、ごみ、埃等が付着した場合又は当日充填作業が、行えない場合は、再清掃し、プライマーを再塗布する。

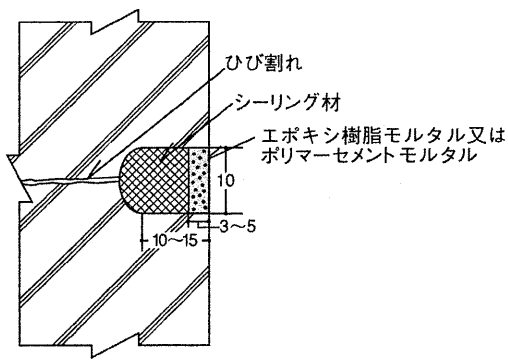
シーリング材…… 1液シーリング材【ﾍﾟﾝｷﾞﾝｼｰﾙ999（ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系）】を使用する。

シール材の充填…… Uカット溝内部へシール材をコーキングガン、パテベラ等を用いて空隙や打ち残しが無いように加圧しながら充填し、シーリング材料の天端はコンクリート表面から、3～5mm程度低めに充填し、充填後は、ヘラで押さえ、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。

シール材の養生…… シール材の硬化を指触等により確認するまでは、損傷、汚染等がないようにし、降雨等からも養生を行う。（23℃時硬化養生5日程度）

ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填…… エポキシ樹脂モルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

清掃…… 充填部以外に、付着した汚れ等を、適切な方法で除去し、清掃する。
エポキシ樹脂モルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。
※シーリングの接着確認は、現場にて簡易接着性試験を行う。



様式73006

施 工 要 領 書

外壁ひび割れ(0.5mm～1.0mm)

エポキシ樹脂注入工法

補修範囲の確認…… ひび割れの状態・幅・長さを充分に確認し、補修範囲を決定する。(監督員立会)

ひび割れ部の清掃…… ひび割れを中心に幅50mm程度の下地表面を、ﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼ・ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ等で研磨し、健全な面を出す。

注入孔の位置決め…… 取り付け間隔は、標準で25cm(4ヶ所/m)とし、取り付け位置にチョーク、マーカー等でマーキングする。

座金の取り付け…… シール材【はくりシールONE】を用いて注入用座金を所定の取付位置に接着固定させる。座金の中心はひび割れの真上に合わせる。

ひび割れのシール…… ひび割れ部表面をシール材【はくりシールONE】を用いて、幅30mm、厚さ2mm程度に塗布して確実にシールし、注入時、樹脂が漏れないようにする。

シール材の硬化養生…… シール材が完全に硬化するまでは過度に振動を与えず、雨水等からも養生を行う。

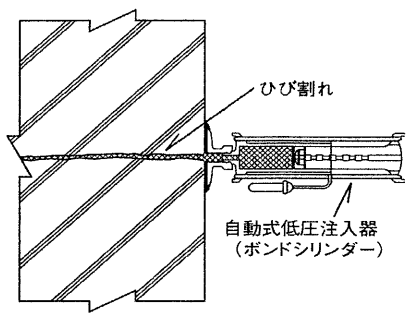
注入用樹脂の計量及び混練…… 注入用エポキシ樹脂【ﾎﾞﾝﾄﾞE206】(低粘度)の主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練してから使用する。その際、1回の混練量は可使時間内に使い切れる量とする。

エポキシ樹脂注入(ﾎﾞﾝﾄﾞｼﾘﾝﾀﾞｰ取付)…… (シール材の硬化を確認後)ボンドシリンダーに注入用エポキシ樹脂を充填し、座金にしっかりとねじ込み加圧ゴムを掛けて注入を開始する。(全本数同時注入)加圧ゴムは、注入状況により2～6本の範囲で使用する。(注入圧:0・4N/mm²以下)

硬化養生…… 注入したエポキシ樹脂が完全に硬化するまで、ボンドシリンダーを取り付けたままの状態で、衝撃や振動を与えず、雨水等からも養生を行う。

仕上げ(座金・シール材の除去)…… (注入したエポキシ樹脂の硬化を確認後)ボンドシリンダーをはずし、座金やシール材をﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰや皮スキ等で、除去して平滑に仕上げる。(E206S硬化目安:40分程度)

清掃…… 充填部以外に、付着した汚れ等を、適切な方法で除去し、清掃する。



様式73006

施 工 要 領 書

ひび割れ(0.5mm以下)

微弾性フィラー擦りこみ

補修範囲の確認	……ひび割れの状態・幅・長さを充分に確認し、補修範囲を決定する。(監督員立会)
ひび割れ部の清掃	……汚れ、付着物等をﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼ、刷毛、圧縮空気等で除去し清掃する。
微弾性フィラーの塗布	……微弾性ﾌｨﾗｰ【水性ｿﾌﾄｻｰﾌSG】を刷毛、ﾛｰﾗｰ等で塗布し、ｸﾗｯｸに擦り込む。
微弾性フィラーの養生	……微弾性ﾌｨﾗｰが硬化するまでは、損傷、汚染等がないようにするとともに、降雨等からも養生を行う。
清掃	……充填部以外に、付着した汚れ等を、適切な方法で除去し、清掃する。

様式73006

施 工 要 領 書

浮き部改修工法

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

補修範囲の確認…… テストハンマー等で、打診し、浮きの状況と範囲を調べてチョーク等でマーキングする。(監督員立会)

アンカーピンニングの本数と配置の決定…… アンカーピンニングの穿孔位置を決定し、チョーク等でマーキングする。アンカーピンの標準本数は一般部分は16本/㎡、指定部分(見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう)は25本/㎡とし、狭幅部分は、幅中央に5本/mピッチとする。

アンカーピン固定部の穿孔…… アンカーピン固定部の穿孔は、コンクリート用ドリルを用いる。アンカーピンの直径より1～2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。

孔内の清掃…… 穿孔後は、孔内をブラシ等で清掃後、圧縮空気等で、接着の妨げとなる切粉等を除去する。

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量及び混練…… 固定用エポキシ樹脂【ボンドE208】(高粘度)の主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練してから使用する。その際、1回の混練量は可使時間内に使い切れる量とする。

アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入…… 固定用エポキシ樹脂をグリスポンプを用いて、挿入孔の最深部より適切な圧力を保ち徐々に注入する。充てん量は、特記がある場合を除き、挿入孔1箇所当たり25cc(約30g)とする。

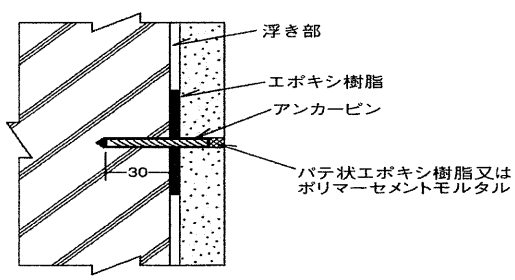
アンカーピンの挿入…… 挿入に先立ち、モルタルの厚さに合わせた長さのアンカーピンのネジ切部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻き込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。はみ出た樹脂は除去する。使用するアンカーピンの材質はSUS304、4mm径を使用し仕上げ面より5mm程度引っ込むような長さとする。

仕上げ…… アンカーピン固定部に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。

硬化養生…… 固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬期24時間程度、衝撃を与えないようにし、降雨等からも、養生を行う。

清掃…… 充填部以外に、付着した汚れ等を、適切な方法で除去し、清掃する。

自主検査…… テストハンマー等で打診により、エポキシ樹脂の広がり、固着状況を確認するとともに、あとかたづけを、確認する。



様式73006

施 工 要 領 書

欠損部改修工法

エポキシ樹脂モルタル塗り（充填工法）

補修範囲の確認…… 欠損部の状況を確認し、錆鉄筋によるコンクリートのひび割れ部も確認し、補修範囲を決定する。（監督員立会）

下地処理（錆鉄筋のはつり出し）…… 欠損部の脆弱部分、錆鉄筋、錆汁の出た箇所、錆によるひび割れを、カッター切りなどを含め、チッパー、ブレーカー等ではつり落とす。はつり面は埃等を除去し、強固な下地面を出す。

鉄筋の錆ケレン…… 錆部分をﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼ、ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ等で錆ケレンを行う。

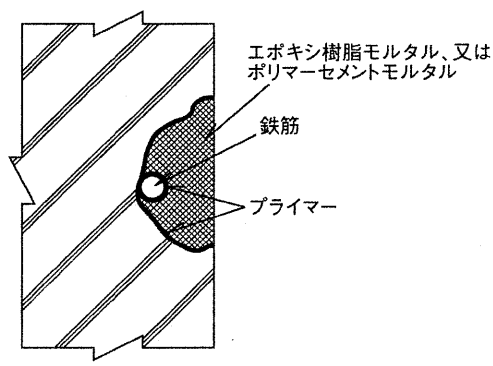
プライマー塗布（防錆処理）…… 次に、同日に防錆剤入り樹脂プライマー【ﾕﾆｴﾎﾟ補修用ﾌﾟﾗｲﾏｰ】を、ローラー・刷毛等でケレン済鉄筋及びはつり面へ塗布する。（使用量目安　0.3kg～0.5kg/㎡）

エポキシ樹脂モルタルの調合…… エポキシ樹脂モルタル【ﾎﾟﾝﾄﾞK ﾓﾙﾀﾙ】の主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練してから使用する。その際、1回の混練量は可使時間内に使い切れる量とする。

エポキシ樹脂モルタルの充填…… プライマーにねばりけのあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを欠損の状態に合わせ、5～20mmの厚みで塗り付け、充填・成型する。

仕上げ…… 表面を金ゴテ等で充分押さえて、平滑に仕上げる。

硬化養生…… 充填後、夏期15時間以上、過度の振動や衝撃を与えないようにまた、降雨等からも、養生を行う。



様式73006

施 工 要 領 書

割れ部、浮き部改修工法（1㎡以上の場合）

撤去新替工法

補修範囲の確認…… 欠損部の状況を確認し、錆鉄筋によるコンクリートのひび割れ部も確認し、補修範囲を決定する。（監督員立会）

下地処理…… 割れ部、浮き部の範囲が1㎡以上あり外壁より剥落するおそれのある部分をカッター切りなどを含め、チッパー、ブレーカー等ではつり落とはつり面は埃等を除去し、強固な下地面を出す。

プライマー塗布…… 次に、同日に樹脂プライマー【ユニエホ゜補修用フ゜ライマー】を、ローラー・刷毛等でケレン済はつり面へ塗布する。（使用量目安 0.3kg～0.5kg/㎡）

エポキシ樹脂モルタルの調合…… エポキシ樹脂モルタル【ホ゛ンド゛Kモルタル】の主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練してから使用する。その際、1回の混練量は可使時間内に使い切れる量とする。

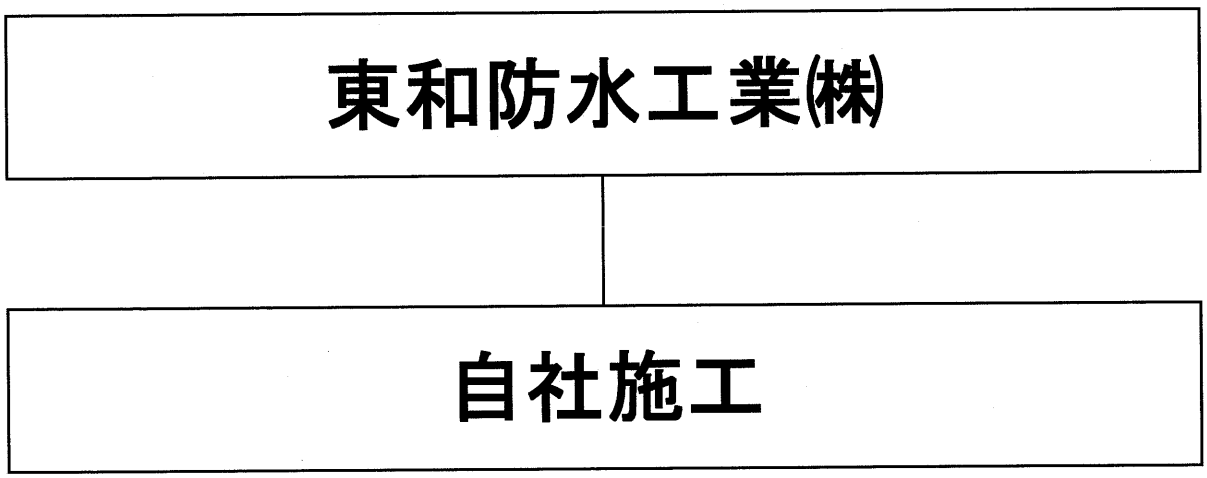
エポキシ樹脂モルタルの充填…… プライマーにねばりけのあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを欠損の状態に合わせ、5～20mmの厚みで塗り付け、充填・成型する。

仕上げ…… 表面を金ゴテ等で充分押さえて、平滑に仕上げる。

硬化養生…… 充填後、夏期15時間以上、過度の振動や衝撃を与えないようにまた、降雨等からも、養生を行う。

5. シーリング工事

元請負

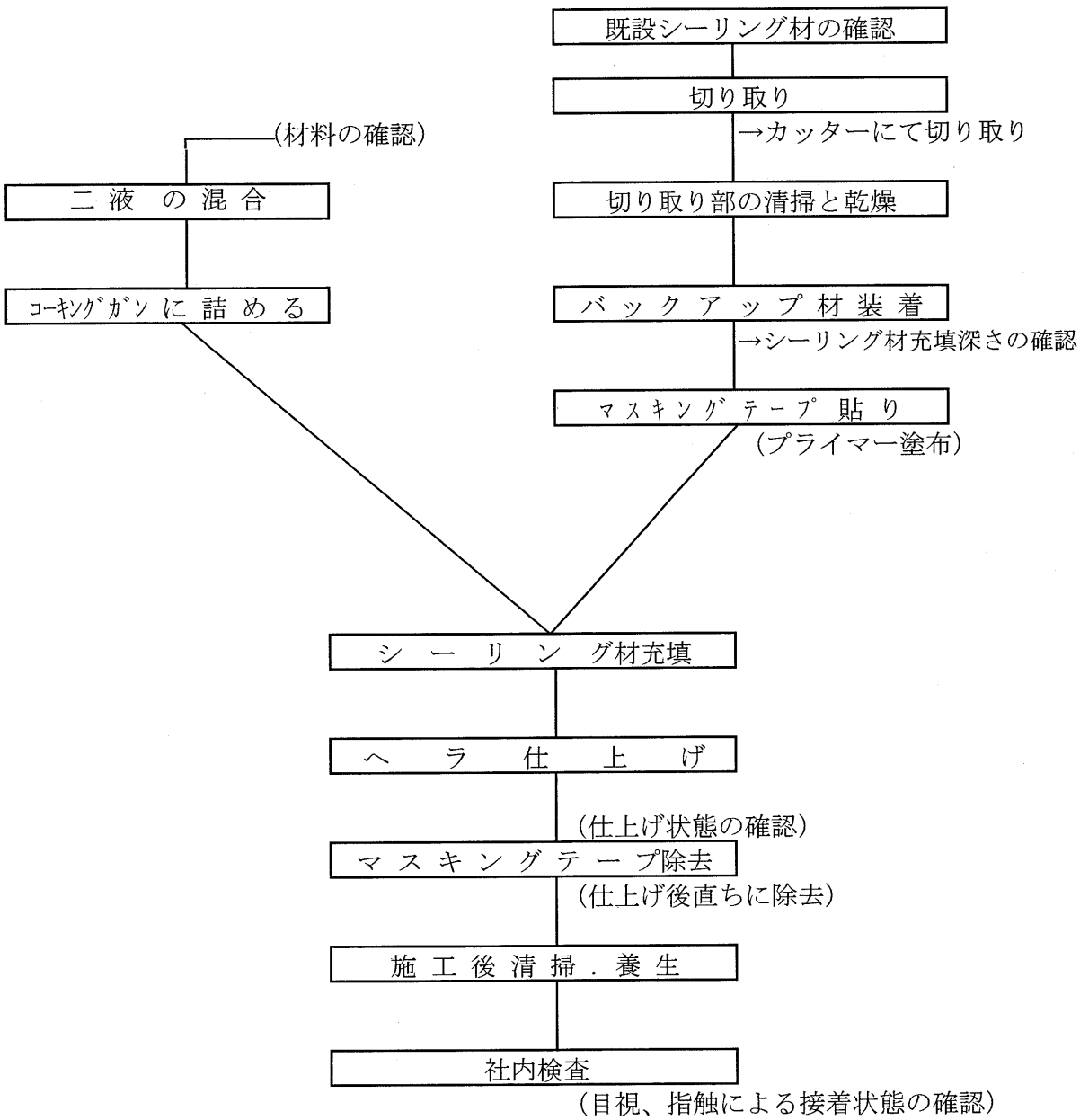


5－1　施　工　概　要

(1)　本工事は既存シーリングの全数打ち替えを行うものであり
施工フローは次の通りとした。

(2)　使用材料
１４編使用材料の通り

(3)　施工フロー



(4)　切り取り

　切り取りはカッターナイフを使用する。
切り取り後は、目地内部に水分を含む場合もあるので乾燥・清掃を十分に行う。

(5)　マスキングテープ貼り

　マスキングテープは、施工中の周辺の汚れ防止と仕上がりをきれいにする為に使用される。その際、プライマーの溶剤及び直射日光によって軟化した粘着剤が被着体に残らない製品（マスキングテープ）を使用することを条件とする。

(6)　バックアップ材の装填

　バックアップ材は、目地寸法の公差を考慮し、且つ取り付けられた状態を調査して用意する。装着には木もしくは竹ヘラ等を用いる。

　シーリング材充填サイズの深さが指定サイズ以下にならないよう十分配慮の上装着する。

(7)　プライマー処理

　各被着体への接着をより完全にするために、プライマーを塗布する。
その際、被着面にむらなく均一に塗布する。
又、プライマー塗布後、シール施工までの乾燥時間は３０分以上とし、
シール施工は当日中に行う。
塗布後、ゴミやほこりが付着したときは、異物を除去し再塗布を行う。
シーリング材の充填が翌日に延びた場合も同様とする。

(8)　シーリング材の混練

　シーリング材は、基剤と硬化剤が１セットになっており、混合は
混合比率に従って１セットずつ行う。従って混合を行う場合は、基材と
硬化剤が同一ロットであることを確かめた上、硬化剤を基材缶に全量移し、
混合機に基材をセットし混合を開始する。
混合機は混練羽根を操作し、１５分以上混合する。
缶の側面や底面に残った材料は、混合のむらを無くすために、アルミ板で
再練り直しする。

(9)　シーリング材の充填

1）ガン充填

混練のできた材料は、ヘラでコーキングガンに充填する。

（ガンで吸引充填もできる。）

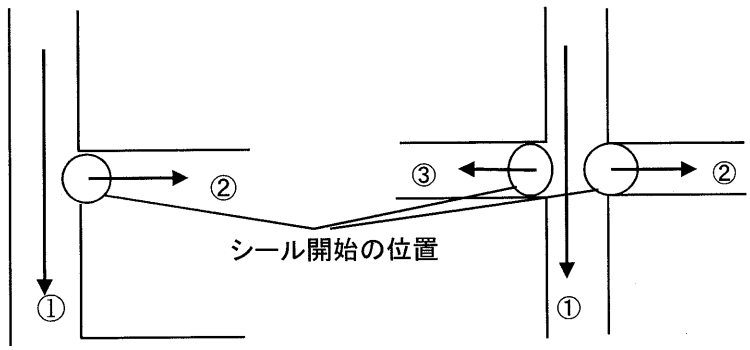
その際、ガンの中に空気が入らないように注意する。

2）目地充填

施工目地に適したノズルを選びガンに装着する。シール材が施工目地の深部（バックアップ材）に達するように充分加圧しながら一定速度で充填する。

3）目地交差

交差する目地及びエッジは、特に細心の注意を払い気泡が出ないように充填する。



(10)　シール仕上げ作業

ガンによる充填が終ったら、ヘラ又はナイフで充分に押さえ込んでから仕上げを行う。まずガンによる充填方向と反対の方向にヘラ又はナイフで１回押え更に戻り方向に押える。

一旦コーキングガンより出した材料を可使時間内で再び使用するときは、ほこり等異物の混ざらないものだけを使う。

(11)　後処理

仕上げが終ったらすぐマスキングテープを除去する。

マスキングテープの除去は、やや目地内側に向け引っ張るようにして棒又は板きれに巻き取る。

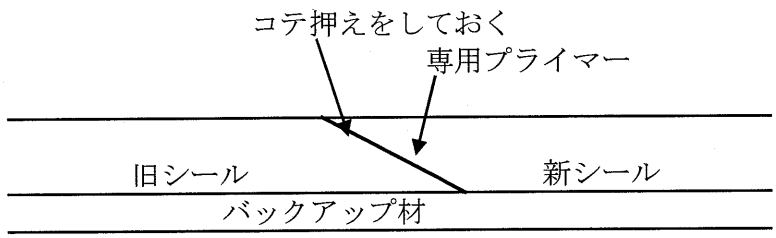
施工箇所に付着したシール材は、加流（硬化）しないうちに溶剤で取り除く。もし硬化しているときは、ヘラで入念にかき落としトルエン等でよく拭き取る。

5－ 2. 施 工 に 際 し て の 留 意 事 項

・ 気象条件と施工判断

1）晴天時

晴天の場合は特に問題ないが、清掃は入念に行う。
施工開始の打ち継ぎの場合は、トルオールで清掃してからその箇所に
使用している専用プライマーを塗布し、打ち継ぐようにする。
バックアップ材、マスキングテープは決して野ざらしに放置せず、
必要以上にセットしないようにする。



(注)旧シールの充填仕舞いは上図のように斜めに波だたぬようにおこない、翌日の
打ち継ぎに支障がないよう心がける。もし表面が汚れているならカットする。

2）降雨時

施工中に来る降雨のときは施工を中止する。その際重要なことは、
降雨予想を的確に判断し、時間に余裕を持って作業を中止する。

3）多湿時

湿度８５％を越える高湿の場合は、監督員と協議の上作業を中止する。

4）低温時

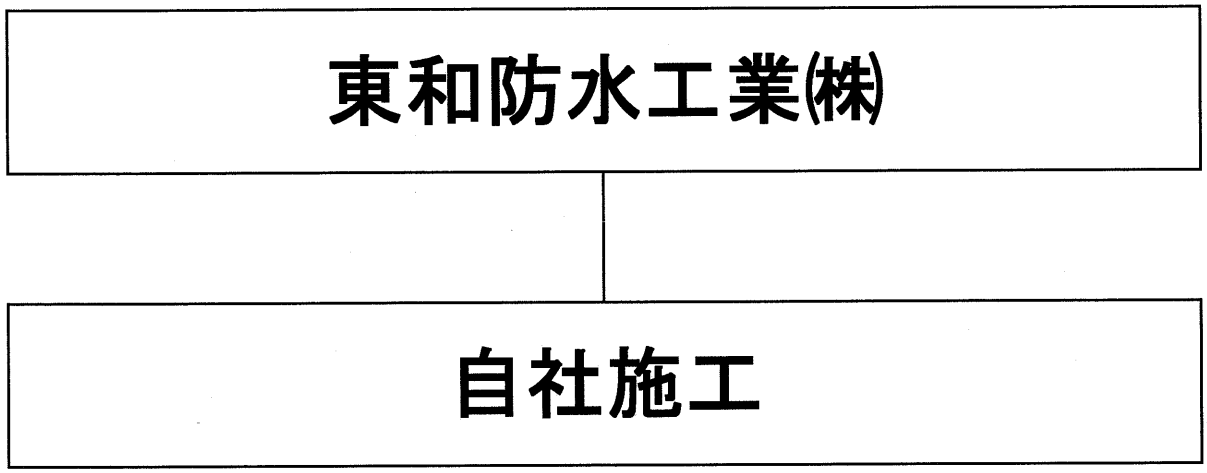
低温時の規定はあるが、本工事は秋季までに完工する為記載を省略する。

５－３．　安 全 管 理

１）溶剤類の保管は、ポータブル消化器を設置した部屋としました。
２）施工工具（ガン、ヘラ）には作業上差しさわりの無いようにひも等をつけ落下を防止しました。
３）ヘルメット、安全ベルトを着用し使用することを徹底しました。
５）新規作業員が配属される場合は、作業員名簿を事前に提出し、作業員に対しての現場の状況、作業方法、順序等綿密に指示し、徹底しました。
６）カッター作業には手袋を必ず使用するなど怪我に最大限の注意を行い事故を予防しました。

6. ウレタン塗膜防水工事

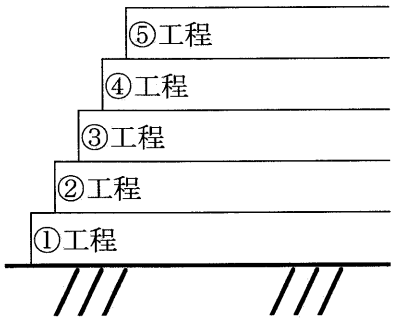
元請負



1．　施工仕様

1－1　通気緩衝ＡＶ工法（Ｘ－１）

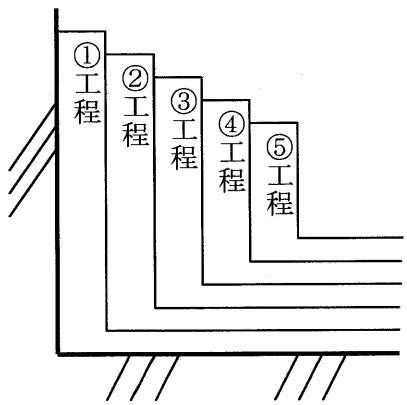
（1）施工仕様



平場：サラセーヌＡＶ－ＫＫ５０Ｔフッ素

工程	使用材料名	使用量（ｋｇ／㎡）
1	サラセーヌＡＶボンド	０．２５
	サラセーヌＡＶｼｰﾄﾌﾞﾙｰ	－
2	サラセーヌＡＶ－Ｗ	１．２
3	サラセーヌＫ	１．３
4	サラセーヌＫ	１．２
5	サラセーヌＴフッ素	０．１５

※　防水層の厚み　平均２．５ｍｍ



立上り面：サラセーヌＳＤ立上り２０Ｔフッ素

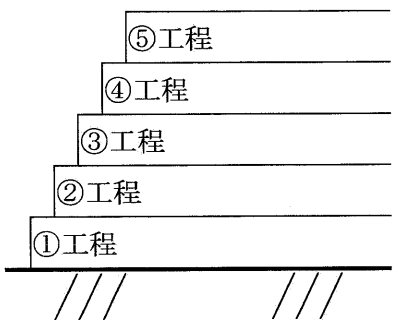
工程	使用材料名	使用量（ｋｇ／㎡）
1	サラセーヌＰ	０．２
2	サラセーヌ立上り用	０．８
	サラセーヌ補強用クロス	－
3	サラセーヌ立上り用	１．１
4	サラセーヌ立上り用	０．７
5	サラセーヌＴフッ素	０．１５

＊補強用クロスについては、サラセーヌクロス＃４０００を使用。

※　防水層の厚み　平均２．０ｍｍ

１－２　仕 様 書　一般密着ＳＤ工法（Ｘ－２）

（１）施工仕様

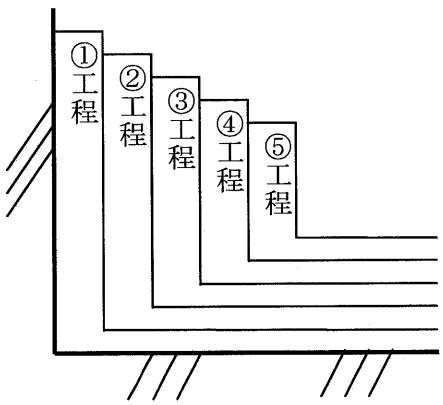


平場：サラセーヌＳＤ-ＫＫ３０Ｔフッ素

工程	使用材料名	使用量（ｋｇ／㎡）
1	サラセーヌＰ	０．２５
2	サラセーヌＫ	０．８
	サラセーヌ補強用クロス	－
3	サラセーヌＫ	１．６
4	サラセーヌＫ	１．５
5	サラセーヌＴフッ素	０．１５

＊補強用クロスについては、サラセーヌクロス＃４０００を使用。

※防水層の厚み　平均３ｍｍ



立上り面：サラセーヌＳＤ-立上り２０Ｔフッ素

工程	使用材料名	使用量（ｋｇ／㎡）
1	サラセーヌＰ	０．２
2	サラセーヌ立上り用	０．８
	サラセーヌ補強用クロス	－
3	サラセーヌ立上り用	１．１
4	サラセーヌ立上り用	０．７
5	サラセーヌＴフッ素	０．１５

＊補強用クロスについては、サラセーヌクロス＃４０００を使用。

※防水層の厚み　平均２ｍｍ

（２）使用材料

１４編・使用材料の通り

１－３　施工手順　一般密着ＳＤ工法

（１）下地確認

防水層施工に先立ち、下地の状況（乾燥状態・下地処理状態）を目視、指触、水分測定器等で確認し、施工可能状態で有ることを確認した後に、施工を行う。

（２）養生

施工箇所以外に、汚れ・はみ出し等を防止する為に、マスキングテープ・養生シート等で養生する。

その際、ネタ場・搬入通路等も養生を行い、他の箇所を汚さないように充分注意する。

（３）プライマー施工

サラセーヌＰ（１液性）を、１㎡当たり０．２５ｋｇをローラー刷毛・刷毛等により均一に下地に塗布する。

尚、下地にプライマー（サラセーヌＰ）の吸い込みが激しい場合は、数回増し塗りを行い、吸い込みが無くなるまでプライマー（サラセーヌＰ）を塗布する。

（４）補強用クロス貼り

サラセーヌＰ硬化後、平場にはサラセーヌＫ（主剤：硬化剤＝１：２）を、立上り面にはサラセーヌ立上り用（主剤：硬化剤＝１：２）を攪拌機にて充分に混合・撹拌した材料を接着剤として、１㎡当たり０．８ｋｇを塗布し、下地に補強用クロス（サラセーヌクロス＃４０００）を皺の無いように貼付ける。

クロスとクロスのラップ幅は５０ｍｍ幅以上クロスを重ねる。

クロスとクロスのラップ幅は５０mm幅以上クロスを重ねる。

（５）防水層施工（中塗り）

①立上り面

補強用クロス貼付け・硬化後、サラセーヌ立上り用（主剤：硬化剤＝１：２）を規定の配合比に従い計量し、攪拌機にて充分に混合・攪拌した材料を、立上り面に１㎡当たり１．１ｋｇを金鏝・ゴムベラ等で均一に塗布する。

②平場

立上り面施工終了後、サラセーヌＫ（主剤：硬化剤＝１：２）を規定の配合比に従い計量し、攪拌機にて充分に混合・攪拌した材料を、平場に１㎡当たり１．６ｋｇを金鏝・ゴムベラ・スクィジー等で均一に塗布する。

（６）防水層施工（上塗り）

①立上り面

中塗り防水材（サラセーヌ立上り用及びサラセーヌＫ）硬化後、サラセーヌ立上り用を下塗りと同様に混合・攪拌した材料を、立上り面に１㎡当たり０．７ｋｇを金鏝・ゴムベラ等で均一に塗布する。

②平場

立上り面施工終了後、サラセーヌＫ（主剤：硬化剤＝１：２）を下塗りと同様に混合・攪拌した材料を、平場に１㎡当たり１．５ｋｇを金鏝・ゴムベラ・スクィジー等で均一に塗布する。

（７）保護仕上材

防水層上塗り（サラセーヌ立上り用及びサラセーヌＫ）硬化後、サラセーヌＴフッ素（主剤：硬化剤＝１：３）を規定の配合比に従い計量し、攪拌機にて充分に攪拌・混合した材料を、１㎡当たり０．１５ｋｇをローラー刷毛・刷毛・スプレー等で均一に塗布する。

（８）養生撤去

施工終了後、養生に用いたマスキングテープ及び他の養生材等を撤去し、防水層の養生として全作業終了後、２日以上養生する。

１－４　注意事項

（１）一般事項

①降雨・強風等の悪気象条件下及び悪気象に変化する可能性がある場合は、監督員の承認を受け施工を中止する。

②気温が５℃以下及び４０℃以上の場合は、施工を中止する。

③作業場に於いては必ず保安帽（ヘルメット）を被り、顎紐を絞める。

④作業場では、火気に充分注意する。

（２）材料・施工器具の保管

①保管場所は、２号棟南側に設定し風雨に晒されない様ブルーシート等により養生する。

②シート・クロス類及び下地調整材等は、水に濡れないように 2－103 資材等仮置場に保管する。

③火気に充分注意する。

④消防法に基づき危険物保管に関して定められる、数量及び保管場所を設定する。

⑤施工器具は良く整備した物を整理整頓し使用する。

（３）施工時

①２液反応タイプの物は各材料の配合比（重量比）に基づき計量器等によりきちんと計量し、攪拌機で充分混合攪拌する。（計量時には監督員立会）

②２液反応タイプの物は主剤・硬化剤を混合攪拌すると徐々に反応が進み材料の粘度が上がり作業が出来なくなります。各材料により可使時間（ポットライフ）が異なる為、作業前に使用材料の可使時間を確認する。
尚、２液反応タイプの物は、全て熱反応硬化性樹脂の為、温度依存性が高く、外気温の影響を受けやすい為、施工当日の気温を考慮して施工する。

③作業中、むやみに他の作業者を作業場内に入れない。

④施工に際して、立入禁止・火気厳禁の立て札を用意する。

⑤作業中は、保護手袋・保安帽等を着用する。

（４）施工後

①施工終了後、養生期間等を書いた立て札等を設置し、他の作業者が入れない様にする。

②作業場内及び周辺をきれいに清掃し、整理整頓する。

③施工後の廃材は、専門の産業廃棄物処理業者に委託し処理する。

2.　安全対策

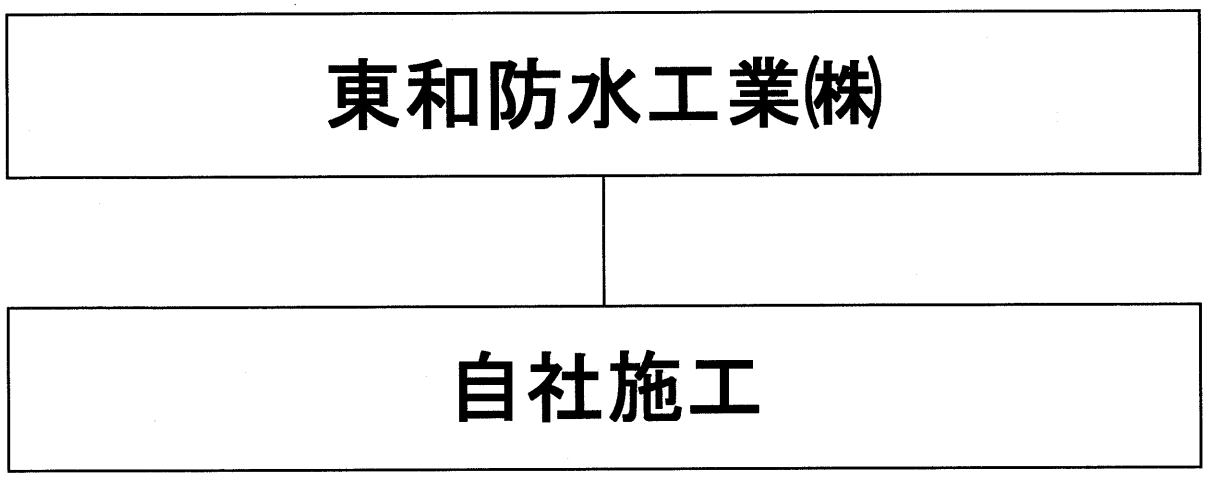
防水施工に当たり、労働基準法・労働安全規則等に定められている安全規則に従い、現場での安全衛生責任者の指示に従い安全管理に細心の注意を払い、下記厳守事項を徹底しました。

厳守事項

1．保安帽の着用。
2．作業器具等の点検整備。
3．消火器の設置及び火気厳禁等の注意事項対策。
4．作業場の整理整頓。

7. 塗装工事

元請負



1. 施工要領

1－1．材料及び一般事項

a．塗料材は開封しないまま現場に搬入し、監督員立会の確認を得る。なお使用メーカーは日本ペイント・エスケー化研製品とした。

b．各仕様の工程では同一メーカー品を使用するものとし、他メーカーの製品は使用していません。

c．色相などの決定は、１３編工事打合簿の通り。

1－2．下地の確認

a．乾燥度

目視、指触、水分測定器等により確認した。

b．表面強度

脆弱な部分、強度の低い部分がないか、不良部分は除去。

c．清　掃

ごみ、ほこり、油分、未硬化セメント粉等付着物を高圧水洗浄にて除去した。

d．下地調整

下地処理工事編による

1－3．塗装上の注意事項

a. 塗料の攪拌

使用塗料は均一な状態になるまで攪拌して使用する。

b. 塗料の希釈

エマルション塗料は、清水（上水）を用い、その他の塗料はそれぞれの専用シンナーを使用する。

c. 気象及び環境での作業中止事項（以下の一点でも該当すれば順延）

①低温時（気温５℃以下）

②湿度８５％以上の時。

③降雨の時、又は、塗装後乾燥までにその恐れがある時。

④強風、塵埃の多い時。

⑤その他監督員が不適当と認めた時。

d. 塗料の保管について

①塗料の保管については災害予防に特に注意し、安全で、直射日光や降雨の当たらない2-103資材等仮置場に保管した。

②塗料保管場所、塗装中は火気厳禁とし、部外者が接触できない様配慮した。

2. 塗装仕様

2－1　使用塗料について

（1）塗装材料はＪＩＳに制定あるものについては、当該ＪＩＳマーク表示品とした。

（2）塗料は開封しないまま現場に搬入することを徹底した。

（3）塗料は工場調色品とした。

（4）下塗り、中塗り及び上塗りの各材料は同一製造所の製品とし、追加分についても他社製品は使用していない。

（5）使用材料はＦ☆☆☆☆（ホルムアルデヒド発散量の最も少ない製品）を使用した。

（6）１４編・使用材料の通り。

2－2　品質管理・出来形管理

品質計画による基本要求品質の目標を実現するために別紙塗装仕様書及び、設計図書に基づき品質管理を行った。

① 各面施工中及び施工完了時に社内検査を実施し、工事・工程ごとに打診や塗見本との照合による目視の検査を行い、工事の品質向上に努めた。
② 材料搬入時確認写真及び使用済み空缶・空容器の検収写真を撮影し、出来形の写真管理を行った。

塗装仕様書

種　　類:下地調整　RA種　(鉄鋼面)

適用下地:露出鉄筋・錆部分等、　一部PS扉・設備盤・ドレイン等

工　程		塗料その他			処置
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去				ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する。
2	汚れ・付着物除去				スクレーパー、ワイヤーブラシ等で除去する。
3	油類除去				溶剤ぶき。
4	研磨紙ずり	研磨紙P120～220			全面を平らに研磨する。

塗装仕様書

種　　類:下地調整　RB種　(鉄鋼面)

適用下地:鋼製建具・建具枠・配管受金物・設備盤・外灯・ドレイン

工　程		塗料その他			処置
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去				ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分及び錆等を除去し、活膜は残す。
2	汚れ・付着物除去				スクレーパー、ワイヤーブラシ等で除去する。
3	油類除去				溶剤ぶき。
4	研磨紙ずり	研磨紙P120～220			全面を平らに研磨する。

塗装仕様書

種　　類:下地調整　RB種　(亜鉛めっき鋼面)

適用下地:亜鉛メッキ鋼露出部等(玄関扉枠・外部設備管)

工　程		塗料その他			処置
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去				ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ、ｽｸﾚｰﾊﾟｰ等により、劣化し脆弱な部分及び錆等を除去し、活膜は残す
2	汚れ・付着物除去				ｽｸﾚｰﾊﾟｰ、ﾜｲﾔﾌﾞﾗｼ等で除去する
3	研磨紙ずり	研磨紙P240～320			全面を平らに研磨する
4	油類除去				溶剤ぶき
5	エッチングプライマー塗	JISK5633	エッチングプライマー(1種)		露出亜鉛めっき面のみ

塗装仕様書

種　　類:下地調整RB種 （無機質系下地面）

適用下地:隔て板

工　程		塗料その他			処置
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去				劣化し脆弱な部分を除去する。
2	汚れ、付着物除去				素地を傷つけないように除去する。
3	穴埋め、ﾊﾟﾃかい	JISK5669	合　成　樹　脂 エマルションパテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。
4	研磨紙ずり	研磨紙P120～220			パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。
5	吸込み止め	JISK5663	合成樹脂エマルションシーラー	ｸﾘﾔｰﾀｲﾌﾟ	全面に塗り付ける。

塗装仕様書

商 品 名:水性ソフトサーフSG、 水性セラミシリコン

適用下地:外壁・バルコニー・階段・廊下手摺壁

工　程		塗料その他			商品名	間隔時間	所要量
		規格番号	規格名称	種類			
1	下塗	JISA6909	一液水性微弾性サーフェーサー		水性ソフトサーフSG	6時間以上	0．5kg/㎡
2	上塗		超耐久低汚染型一液水性セラミックシリコン樹脂系塗料		水性セラミシリコン	2時間以上	0．13kg/㎡
3	上塗		超耐久低汚染型一液水性セラミックシリコン樹脂系塗料		水性セラミシリコン		0．13kg/㎡

塗装仕様書

商 品 名 :ニッペ ケンエースG-Ⅱ

適用下地:庇裏・軒裏・バルコニー天井・階段裏

工　程		塗料その他			商品名	所要量
		規格番号	規格名称	種類		
1	下塗	JISK5670	カチオン形ＮＡＤ アクリル樹脂塗料		ﾆｯﾍﾟ ｹﾝｴｰｽG-Ⅱ	0．13kg/㎡
2	上塗	JISK5670	カチオン形ＮＡＤ アクリル樹脂塗料		ﾆｯﾍﾟ ｹﾝｴｰｽG-Ⅱ	0．13kg/㎡

塗装仕様書

商 品 名 :ニッペ ファインウレタンU100

適用下地:竪樋・水槽・その他塩ビ面・バルコニー隔て板

工　程		塗料その他			商品名	所要量
		規格番号	規格名称	種類		
1	上塗	JISA6909	ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料		ニッペ 1液ファインウレタンU100	0.12kg/㎡
2	上塗	JISA6909	ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料		ニッペ 1液ファインウレタンU100	0.12kg/㎡

塗装仕様書

商 品 名 :ハイポンファインプライマーⅡ、 ニッペ ファインウレタンU100

適用下地:玄関枠・共用部鋼製建具・枠・照明器具・PS扉・外部設備盤・配管・高架水槽架台

工　程		塗料その他			商品名	所要量
		規格番号	規格名称	種類		
1	下塗		弱溶剤形2液形エポキシ樹脂さび止め塗料		ハイポンファインプライマーⅡ	0.14kg/㎡
2	中塗	JISA6909	ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料		ニッペ ファインウレタンU100	0.12kg/㎡
3	上塗	JISA6909	ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料		ニッペ ファインウレタンU100	0.12kg/㎡

塗装仕様書

商 品 名 :エポタールBOエコ

適用下地:鋳鉄製ドレイン

工　程		塗料その他			商品名	所要量
		規格番号	規格名称	種類		
1	下塗		コールタールフリー変性エポキシ樹脂塗料		エポタールBOエコ	0．18kg/㎡
2	上塗		コールタールフリー変性エポキシ樹脂塗料		エポタールBOエコ	0．18kg/㎡

8. 建設副産物・産業廃棄物

様式－2 再生資源利用促進計画書

再生資源利用促進報告書 －建設副産物搬出工事用－

請 負 者 名：東和防水工業株式会社

作成年月日：平成 21年 10月 9日

工 事 名	伊島宿舎修繕工事	発 注 者	本州四国連絡高速道路株式会社 岡山管理センター	責 任 者	真野 鉄男
工事場所	岡山県岡山市北区伊島町2丁目10-25 本四高速㈱伊島宿	工 期	平成 21年 3月 31日 ～ 平成 21年 10月 9日	請 負 額	￥44,782,500

1. 工事概要

工事種別	保全施設工事	工事概要等	屋上防水、外壁塗装改修工事	施工条件の内容	

2. 指定副産物に係わる再生資源の促進計画

＊実績は、上段に( )で記入する。

指定福産物の種類	発生		現場内利用等				搬出量	再資源化施設又は他の工事現場等への搬入			その他処理量	備考（搬出時期等）
			現場内利用		現場内減量化							
	T 発生量	発生工種	A 利用量	用途	減量化量	方法		B 再生資源利用促進量	搬入先	(A+B)/T (%)		
建設発生土	(84.00) 0.00 ㎥	外構舗装工					(84.00) 0.00 ㎥	(84.00) 0.00 ㎥	田村砕石工業㈱	100 %	0 ㎥	9月
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	(1.15) 0.58 t	舗装工	0 t				(1.15) 0.58 t	(1.15) 0.58 t	エヌ・エス日進㈱	100 %	0 t	8月
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	(12.00) 0.00 t	舗装工	0 t				(12.00) 0.00 t	(12.00) 0.00 t	田村砕石工業㈱	100 %	0 t	9月
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	(6.00) 0.00 t	舗装工	0 t				(6.00) 0.00 t	(6.00) 0.00 t	田村砕石工業㈱	100 %	0 t	9月

3. その他指定副産物に係わる再生資源の利用の促進に関する特記事項

様式－1 再生資源利用計画書

再生資源利用報告書　－建設副産物搬入工事用－

請 負 者 名：東和防水工業株式会社

作成年月日：平成 21年 10月 9日

工 事 名	伊島宿舎修繕工事	発 注 者	本州四国連絡高速道路株式会社 岡山管理センター	責 任 者	[redacted]
工事場所	岡山県岡山市北区伊島町2丁目10-25 本四高速㈱伊島宿	工　期	平成 21年 3月 31日 ～ 平成 21年 10月 9日	請 負 額	[redacted]

1. 工事概要

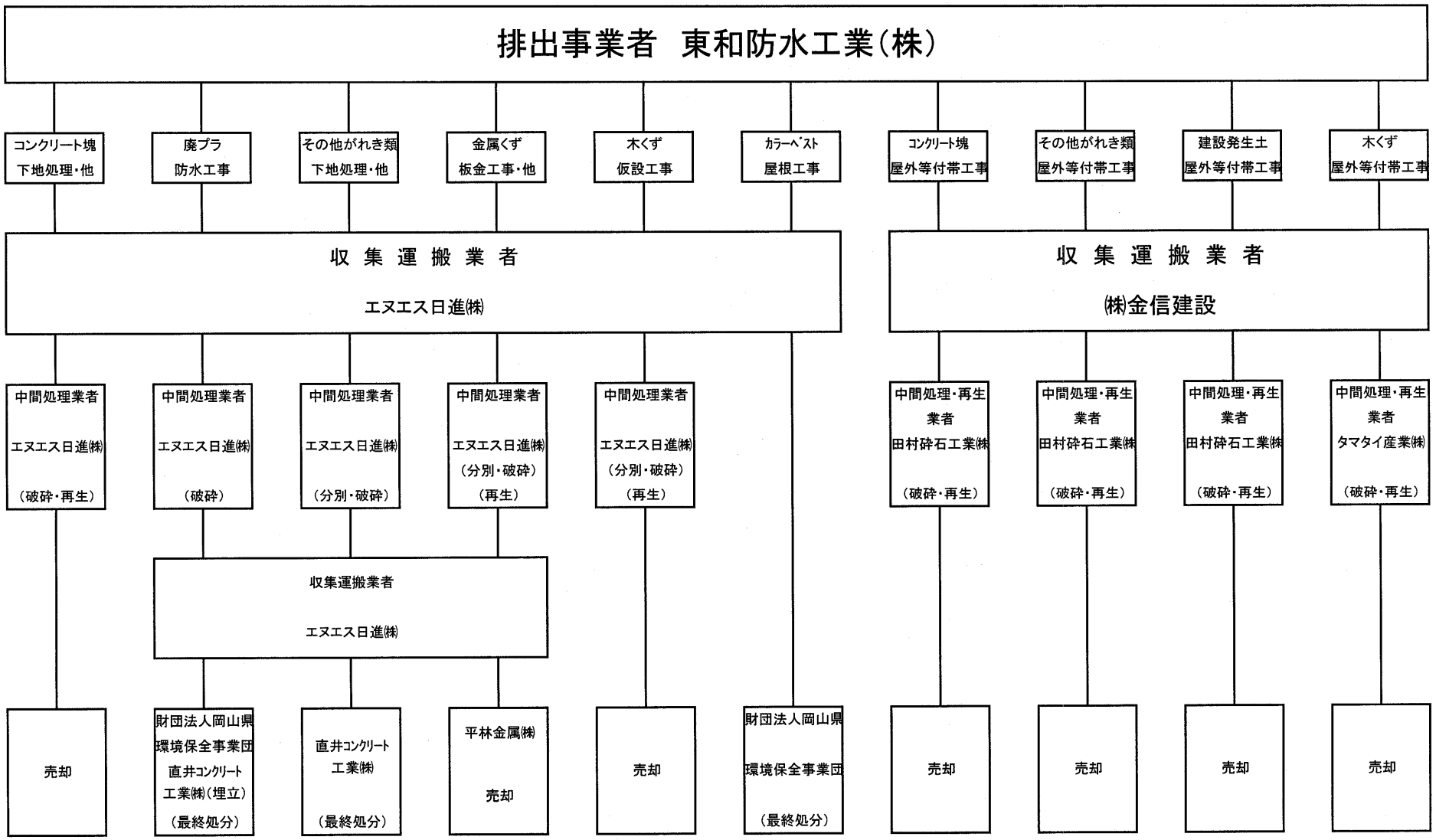
工事種別	保全施設工事	工事概要等	屋上防水、外壁塗装改修工事	施工条件の内容	

2. 建設資材(再生資源)利用計画

＊実績は、上段に( )で記入する。

建設資材					うち再生資源			再生資源利用率 (B/A)	再生資材の供給元	備　考 (搬出時期等)
大分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量 (A)	再生資材の名称	利用量 (B)				
土砂				0		0	㎥	0 %		
合計				0		0	㎥	0 %		
				(134.5)	再生クラッシャランRC40	(134.5)	t	(100) %		
砕石			路盤	42.5	再生クラッシャランRC40	42.5	t	100 %	田村砕石工業㈱	7月
合計				(134.5)	再生クラッシャランRC40	(134.5)	t	(100) %	田村砕石工業㈱	9月
				(53.0)	再生密粒度アスコン	(53.0)	t	(100) %		
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物			舗装	30	再生密粒度アスコン	30	t	100 %	倉敷アスコン	7月
合計				(53.0)	再生密粒度アスコン	(53.0)	t	(100) %	倉敷アスコン	9月

3. その他再生資源の利用に関する特記事項


排出事業者　東和防水工業(株)
コンクリート塊
下地処理・他
廃プラ
防水工事
その他がれき類
下地処理・他
金属くず
板金工事・他
木くず
仮設工事
カラーベスト
屋根工事
コンクリート塊
屋外等付帯工事
その他がれき類
屋外等付帯工事
建設発生土
屋外等付帯工事
木くず
屋外等付帯工事
収集運搬業者
エヌエス日進㈱
収集運搬業者
㈱金信建設
中間処理業者
エヌエス日進㈱
(破砕・再生)
中間処理業者
エヌエス日進㈱
(破砕)
中間処理業者
エヌエス日進㈱
(分別・破砕)
中間処理業者
エヌエス日進㈱
(分別・破砕)
(再生)
中間処理業者
エヌエス日進㈱
(分別・破砕)
(再生)
中間処理・再生業者
田村砕石工業㈱
(破砕・再生)
中間処理・再生業者
田村砕石工業㈱
(破砕・再生)
中間処理・再生業者
田村砕石工業㈱
(破砕・再生)
中間処理・再生業者
タマタイ産業㈱
(破砕・再生)
収集運搬業者
エヌエス日進㈱
売却
財団法人岡山県環境保全事業団
直井コンクリート工業㈱(埋立)
(最終処分)
直井コンクリート工業㈱
(最終処分)
平林金属㈱
売却
売却
財団法人岡山県環境保全事業団
(最終処分)
売却
売却
売却
売却

9.外構工事

元請負

東和防水工業㈱

下請負（一次）

㈱金信建設

下請負（二次）

東中国ロード㈱

下請負（二次）

共栄コンクリート工業㈱

下請負（三次）

倉敷アスコン㈱

1．工事内容

外構工事については、平成 21 年 09 月 01 日付工事変更指示書により下表の通り変更・追加となった。

細　　目	規格寸法	単位	当初数量	変更数量
(1)ｺﾞﾐ置場ｼﾘｺﾝ塗装	水性反応硬化形弾性下地調整材	m2	6.0	6.0
(2)ﾌｪﾝｽ支柱・枠ｳﾚﾀﾝ塗装	3 種ｹﾚﾝ/錆止	式	1.0	(31)に転換
(3)ｶｰﾌﾞﾐﾗｰ鉄部ｳﾚﾀﾝ塗装	3 種ｹﾚﾝ/錆止	式	1.0	1.0
(4)受水槽ｳﾚﾀﾝ塗装		m2	30.8	30.8
(5)受水槽配水管錆止め塗装	3 種ｹﾚﾝ/Φ20-50 程度	m		15.0
(6)施設案内板清掃	ｱﾙﾐｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	箇所	2.0	(7)に転換
(7)施設案内板ｳﾚﾀﾝ塗装	3 種ｹﾚﾝ	箇所		1.0
(8)施設案内板撤去	柱切断、基礎存置	基		1.0
(9)施設名称ｻｲﾝ足下ｺﾝｸﾘｰﾄ打設	厚 8 cm/金ｺﾃ仕上げ	箇所	2.0	(10)に転換
(10)ｼｰﾙｺﾝｸﾘｰﾄ打設	厚 8 cm/金ｺﾃ仕上げ	m2		4.4
(11)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(新設)	再生密粒 5 cm路盤 15	m2	223.0	(13)～(15)に転換
(12)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(ｵｰﾊﾞｰﾚｲ)	再生密粒 5 cm	m2	40.0	(13)～(15)に転換
(13)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(東側)	再生密粒 5 cm路盤 15	式		1.0
(14)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(南側)	再生密粒 5 cm路盤 15 再生密粒 3～5 ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	式		1.0
(15)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(北側)	排水性 4 cmｵｰﾊﾞｰﾚｲ 暗渠排水管共	式		1.0
(16)ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石設置	PC-150*150*600	m	96.1	47.4
(17)ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石撤去	PC-150*200*600	m		6.8
(18)歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ設置	PC-180/210*300*600	m		55.6
(19)車止め撤去	PC-150*200*600	個		40.0
(20)車止め設置	PC-180*120*600	個		20.0
(21)ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	厚 8 cm/ﾊｹ/溶接金網共	m2	33.0	(13)に転換
(22)ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ補修	嵩上補修/材料再用	m2	30.0	12.5
(23)ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	撤去材引渡	m2		24.4
(24)犬走りｸﾗｯｸ補修	ﾓﾙﾀﾙ充填補修	m	5.0	(25)に転換
(25)犬走りﾓﾙﾀﾙ撤去	敷き砂利存置	m2		4.4
(26)ｶｰﾌﾞﾐﾗｰ設置	Φ600/SUS ﾐﾗｰ/基礎共	箇所	2.0	2.0
(27)駐車場区画線設置	溶融型 W100 番号共	式	1.0	(28)に転換
(28)路面標示	溶融型 W100 番号文字	式		1.0
(29)ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ設置(歩道用)	W180	m		13.0
(30)ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ設置(車道用)	W300、暗渠排水保護用	m		74.0
(31)ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ撤去	H3000、基礎□250*500	m		26.0
(32)目隠ﾌｪﾝｽ設置	H1800、基礎□400*500	式		1.0
(33)植栽撤去	ｶｲﾂﾞｶｲﾌﾞｷ、100 本	式		1.0
(34)石垣撤去	H500*L48,800	式		1.0

※変更数量は工事変更指示書の数量

1－1．ゴミ置場シリコン塗装

(1)施工概要

２号棟西側に位置するゴミ集積所のコンクリート壁面を塗装する。

(2)工事報告

・塗装工事編による。
・材料、仕様は外壁と同じ。
・色は外壁と同じ「日塗工Ｅ版 17-80D(茶系色)」とした。

1－2．カーブミラー鉄部ウレタン塗装

(1)施工概要

１号棟北側入口(東)にあるカーブミラーの柱を塗装する。

(2)工事報告

・塗装工事編による。
・材料、仕様は鉄部塗装と同じ。
・色は隣接する照明柱と同じ「日塗工Ｅ版 15-30F(濃茶色)」とした。

1－3．受水槽ウレタン塗装

(1)施工概要

２号棟西側にある受水槽を塗装する。

(2)工事報告

・塗装工事編による。
・材料、仕様は鉄部塗装と同じ。
・色は高架水槽と同じ「日塗工Ｅ版 65-90B(薄水色)」とした。

1－4．受水槽配水管錆止め塗装

(1)施工概要

・２号棟西側にある受水槽の配水管を塗装する。
・保温ラッキングを取り外した際、著しい発錆が見られたもので、これを補修するものである。

(2)工事報告

・塗装工事編による。
・材料は鉄部塗装と同仕様であるが、当該場所は３種ケレン後、錆止めまで。

1－5．施設案内板ウレタン塗装

(1)施工概要

１号棟北側入口に設置している施設案内板を塗装する。
当初計画では、１号棟北と２号棟西にある２箇所の施設案内板を清掃するものだったが、表面劣化が激しく美装効果がない上、かえって見苦しくなることから塗装することとなった。２号棟西の施設案内板については基部の腐食が見られ傾いていることから撤去することとなった（次項)。

(2)工事報告

・塗装工事編による。
・材料は鉄部塗装と同仕様であるが、下地がアルミであるため錆止めは用いず３種ケレン後、ウレタン塗装上塗り２回。
・色は出窓と同じ「日塗工Ｅ版 22-30B(濃茶色)」とした。

1－6．施設案内板撤去

(1)施工概要

西入口にある施設案内板(以下「看板」という)を撤去する。

(2)工事報告

以下の手順で作業を行った。

・看板の柱部分を地表面から５０cm程度までスコップで掘り下げる。
・地表面から３０cm程度の位置で看板柱をディスクカッターを用いて切断する。
・両脚部の切断完了後、そのまま吊り上げ荷台に載せ金属くず処理業者へ搬出する。
・掘削穴は、掘削土を用いて埋め戻し復旧する。
・コンクリート基礎は埋め殺している。

(3)安全管理

本工事は市道際での作業であり、以下の事項に留意し施工した。

・看板の玉掛け位置の確認。
・ユニック操作、玉掛者の有資格者の配置。
・ユニックを用いて撤去板の落下や荷振れによる周囲との接触を防止する。
・市道通行者との接触事故防止としてガードマンを配置する。

1－7．シールコンクリート打設

(1)施工概要

・北入口東西の緑地帯に雑草抑制のためのコンクリートを打設する。
・石垣の天端面をトップとする厚５cmの砕石路盤、厚８cmの生コンクリートとする。
・仕上げは金コテ仕上げとし、看板、カーブミラー柱、照明柱の各基部に滞水しないよう排水勾配を設ける。

(2)工事報告

・コンクリート材料は、共栄コンクリート工業(株)製の 21N-15-20(普通ｾﾒﾝﾄ)を使用した。
・基礎砕石は、田村砕石工業(株)製の再生クラッシャーラン(0～40)を使用した。

(3)安全管理

本工事は市道際での作業であり、以下の事項に留意し施工した。

・市道通行者との接触事故防止としてガードマンを配置する。

1－8．アスファルト舗装(東側)

(1)施工概要

当初計画では、１号棟東部分はコンクリート舗装(シールコンクリート)、２号棟東部分はインターロッキングブロック舗装の補修だった。しかし、以下の理由により両者ともアスファルト舗装に変更となった。

○１号棟東部分のコンクリート舗装

・長い養生期間が必要となり、入居者の通行制限期間が長くなること。
・南側で、ある程度、量のまとまったアスファルト舗装を施工するため、当該エリアもアスファルト舗装とすることで、合理的で経済的な施工とできること。

○２号棟東部分のインターロッキングブロック(ILB)舗装補修

・補修範囲がほぼ全面積にわたっており下地の補修から施工することでかなりの施工日数を必要とすること。
・割損しているものもあり、同一の製品の調達が困難であり補修後の色調が一致しないこと。
・補修後も砂目地やＩＬＢの沈下が心配され、将来にわたって補修を行う必要があること。
・南側で、ある程度、量のまとまったアスファルト舗装を施工するため、当該エリアもアスファルト舗装とすることで、合理的で経済的な施工とできること。

本工事で施工する工種は以下のとおり。
①すき取り(根切り)－平均２cm厚の人力すき取り。
②砕石地業－再生クラッシャーラン(0～40)を敷均し転圧する。厚 15 cm。
③再生密粒度アスコン敷設－t13、厚５cm。

(2)工事報告

・スコップ、レーキ等を用いて表土２cm程度をすき取り、その土はダンプに積み込み搬出、処理。
・平均 15 cm厚で再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝを敷設し転圧。砕石の高さは、新設地先境界ブロック天端を舗装の仕上り天とした５cm下がりを基準とした。駐車場際は、既存排水溝のグレーチング受け枠高を砕石天として仕上げた。
・乳剤塗布後、再生密粒度アスコンを敷設するが、狭小地でフィニッシャーやバックホウ、ダンプトラックなど機械施工ができないため一輪車による人力施工とした。
・アスファルト合材は、倉敷アスコン製の再生密粒度アスコン(t13)を使用した。
・締固めはタンパ及びハンドガイド式振動ローラーを用いて均等に仕上げた。
・横断勾配については、１号棟東は既設Ｕ字溝へ、１－２号棟間については駐車場側へ、２号棟東については東側のフェンス側へ流すよう調整した。

(3)現場管理(品質管理)

建築仕様書の規定に従い管理を行った。

・プライムコートは 1.5 ﾘｯﾄﾙ/m2 を標準とし、既設のコンクリート縁石、フェンス、建物本体など周辺構造物を汚さない様注意する。
・アスファルトの敷均し時の温度は１１０℃以上とする。
・敷均し後、所定の勾配を確保し水たまりを生じさせない様仕上げる。
・舗装の平坦性は後日、散水の上、目視により確認する。

(4)安全管理

・有資格者の事前確認。
・入居者との接触事故防止としてガードマンの配置。

1－9．アスファルト舗装(南側)

(1)施工概要

当初計画どおり。
オーバーレイ箇所とは、旧洗車スペース(受水槽南部分)をいい、新設箇所とはそれ以外(以東)をいう。
＜新設箇所＞
①すき取り(根切り)－平均 10 cm厚の機械すき取り。
②砕石地業－再生クラッシャーラン(0～40)を敷均し転圧する。厚 15 cm。
③再生密粒度アスコン敷設－t13、厚５cm。
＜オーバーレイ箇所＞
①アスファルトカッター切断－すり付け端部。
②アスファルト剥ぎ取り－厚５cm、幅５０cm程度。
③再生密粒度アスコン敷設－t13、厚５cm。

(2)工事報告

・バックホウ(0.35m3)の排土板を用いて、平均 10 cmの厚さで表土をすき取り、その土はダンプに積み込み搬出、処理。
・振動ローラーを用いて均等に転圧した。
・平均 15 cm厚で再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝを敷設し転圧した。砕石の高さは、新設歩車道境界ブロック天端を舗装の仕上り天とした５cm下がりを基準とした。建物側は、既存排水溝天－５cmとして仕上げた。
・乳剤塗布後、倉敷アスコン製の再生密粒度アスコン(t13)をフィニッシャーを用いて敷設した。
・締固めはコンバインドローラーを用いて均等に仕上げた。

・雨水勾配については、東南部の角を最上流として既存の建物側U字溝に向かう様、管理値を設定する(別途)。

(3)現場管理(品質管理)

前項「アスファルト舗装(東側)」に同じ。

(4)安全管理

・有資格者の事前確認。
・市道通行者・入居者との接触事故防止としてガードマンを配置する。

1-10. アスファルト舗装(北側)

(1)施工概要

当初計画では劣化の著しい部位のみオーバーレイをするものだったが、以下の理由により、大幅な変更となった。

○変更の理由と変更項目

・部分補修(オーバーレイ)することで新たな不陸が生じ、児童・幼児等の自転車走行や一般歩行においても危険であること。→オーバーレイとりやめ
・既設排水溝のグレーチングの半数近くにわたり歪みや撓みが見られ、車両や歩行による衝撃音(金属音)が恒常的に発生している。→グレーチング撤去
・ハイヒール、三輪車などの落ち込みや鍵、コインなどの落下事例もあり改善を必要とされている。→グレーチング撤去
・水たまり箇所がみられ歩行に支障を来している。→全面舗装

以上の理由から、既設舗装面を不透水層とした排水性舗装のオーバーレイとし、駐車場を縦横断している排水溝については、透水管(有孔管)を埋設した暗渠排水化を行うこととした。

＜西寄り・低層階前＞

①路盤整正－再生クラッシャーラン(0～40)を敷均し転圧する。厚さは目隠しフェンス基礎天－5㎝が仕上り。
②乳剤散布－プライムコート(PK-3)
③再生密粒度アスコン敷設－t13、厚５㎝。

＜北側駐車場全面＞

①アスファルトカッター切断－すり付け端部。マンホール廻り。
②アスファルト部分剥ぎ取り－厚５㎝、幅５０㎝程度。
③既設グレーチング撤去(歪み・撓み・発錆)
④排水溝清掃
⑤暗渠透水管敷設－Φ75×３条
⑥吸出防止材敷設－合成繊維不織布、厚 10 ㎜、幅 500 ㎜
⑦フィルター材敷設－単粒度砕石４号～５号
⑧暗渠排水保護用グレーチング敷設－T2(グレーチングと既設受け枠とを溶接固定)
⑨乳剤散布－排水性用乳剤(PKR-T1)
⑩排水性舗装敷設－厚５㎝、オーバーレイ工法

(2)工事報告

＜西寄り・低層階前＞

・路盤整正は、再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(0～40)敷均し後、ランマを用いて入念に締め固めた。
・路盤の高さは、西寄りについては新設目隠フェンス基礎天端を舗装の仕上り天とした５㎝下がりを基準とした。低層階前については、既存排水溝天端より５㎝下がりで仕上げた。
・乳剤塗布後、再生密粒度アスコンを敷設するが、狭小地でフィニッシャーやバックホウ、ダンプトラックなど機械施工ができないため人力施工とした。
・アスファルト合材は、倉敷アスコン製の再生密粒度アスコン(t13)を使用した。
・締固めはタンパ及びハンドガイド式振動ローラーを用いて均等に仕上げた。

＜北側駐車場全面＞

・５cmのオーバーレイを行ったときに周囲端部とのすり付け部が０cmとなると割れや剥がれをもたらす原因となるため、既設舗装面を２～３cm程度下げるが、既設の舗装厚が５cmであり、電動ピック等でハツルと５cm全層を壊し止水機能を損なうので、バーナーで既存舗装を削り取ることとした。

・既設のグレーチングを撤去し、排水溝を人力にて清掃した。清掃で発生したものはほとんどが乾いた土であり、建設発生土として処理した(2t 一車程度)。

・排水溝底面に暗渠透水管(網目状･全面有孔管)Φ75 を３条敷設するが、この時、最上流端末となる管口は、フィルター材が混入しない様、テープで養生した。
最下流(流末)となる駐車区画№１１付近には、フィルター材の吸い出しを防止するための土留めモルタルを水路内に打設した。

・フィルター材の流出防止として、暗渠透水管３条を跨ぐ形で、吸出防止材(合成繊維不織布･厚 10 mm)を敷設した。

・フィルター材(単粒度砕石)を投入しランマで転圧した。

・暗渠排水管防護用グレーチングを敷設する。これは、上載荷重を暗渠透水管へ伝えないことで、管の割れや沈下による舗装の変状を防止するためのもので、合材の付着性を考慮し､既存のグレーチング(厚 44 mm)よりも薄いＴ２用(32 mm)を使用した。
この時、ガタツキが生じない様、グレーチングを ２箇所/枚 程度の割合で点付溶接した。

・排水性用乳剤(PKR-T1)を散布。

・倉敷アスコン製の排水性アスコンをフィニッシャーを用いて敷設した。

・締固めはコンバインドローラーを用いて均等に仕上げた。

(3)現場管理(品質管理)

＜密粒度アスコン舗設箇所＞

前項「アスファルト舗装(東側)」に同じ。

＜排水性アスコン舗設箇所＞

本工事では、試験練り、試験施工を省略することで打ち合わせを行った。品質管理方法(管理値)については、瀬戸中央自動車道の舗装工事へ供給を行っている倉敷アスコン製の同材料の管理値を参考として現場管理を行った。

品質管理項目	条　　件
混合物の現場到着温度	１６５±１０℃
混合物の敷均し温度	１６０±１０℃
初期転圧温度	１５０±１０℃
二次転圧温度	９０℃以上
仕上げ転圧温度	８０±１０℃

(4)安全管理

・有資格者の事前確認。

・市道通行者・入居者との接触事故防止としてガードマンを配置。

1-11. コンクリート縁石設置

(1)施工概要

東側敷地境の立入防止柵(フェンス)沿いに地先境界ブロック(150*150*600)を設置する。

(2)工事報告

・地先境界ブロックは、JIS 認定工場の岡山コンクリート工業(株)で製作されたものを使用した。この製品はグリーン購入法適合品でもある。

・基礎砕石は、再生クラッシャーラン(0～40)を厚 100 mmで敷設し転圧した。

・基礎砕石の上に据付用空練りモルタルを敷均し、高さが均一となるよう敷設した。

・目地幅は 10 mmとした。

1-12. コンクリート縁石撤去

(1)施工概要

1号棟と2号棟との間に設置されているコンクリート縁石(150*200*600)を撤去する。

(2)工事報告

・撤去は、騒音・粉塵の抑制から、バックホウで掻き取り、その都度横付けしたダンプに積み込んだ。

・撤去した縁石は、再資源化工場へ運搬し処理した。

1-13. 歩車道境界ブロック設置

(1)施工概要

南側敷地境に歩車道境界ブロック(180/210*300*600)を設置する。

(2)工事報告

・歩車道境界ブロックは、JIS 認定工場の岡山コンクリート工業(株)で製作されたものを使用した。この製品はグリーン購入法適合品でもある。

・基礎砕石は、再生クラッシャーラン(0～40)を厚100㎜で敷設し転圧した。

・基礎砕石の締固めはタンパを用いて入念に行った。

・基礎砕石の上に据付用空練りモルタルを敷均し、高さが均等となるよう敷設した。この高さが舗装敷設高さとなるため、平坦性には特に注意するよう徹底した。

・目地幅は10㎜とした。

(3)安全管理

施工箇所に沿って立入防止柵が張られているが、これは隣地所有品であるため、損傷を与えない様、留意して行った。

1-14. 車止め撤去

(1)施工概要

駐車場に設置されているコンクリート製の車止め(150*200*600)を撤去する。

(2)工事報告

・撤去は、騒音・粉塵の抑制から、バックホウで掻き取り、その都度横付けしたダンプに積み込んだ。

・撤去した縁石は、再資源化工場へ運搬し処理した。

1-15. 車止め設置

(1)施工概要

新しい駐車マスとなる箇所に車止め(120*180*600)を設置する。

(2)工事報告

・車止めは、(株)サイコン工業製パーキングブロック(アンカー固定／反射材付)を使用した。

・所定の位置に車止めを置き、専用接着剤を塗布後、製品指定の専用アンカーを打ち込む。打ち込みには、インパクトハンマーを用いた。

1-16. インターロッキングブロック補修

(1)施工概要

沈下により段差が生じている箇所や割損している箇所などについて監督員の指示する範囲について補修を行う。補修は、同一品(色)の調達が困難なため、原則として新規材料を使わない嵩上げ、削り取りなどの工法で行う。

(2)工事報告

・下地が安定している部分の段差補修については、一時撤去することでその周辺のILBを損傷又は不安定にさせることがあるため、ディスクサンダーを用いて削り取ることとした。

・嵩上げが必要な部分については、当該ブロックを抜き取り清掃後、再敷設した。

・左官ゴテを用いて、細目砂を均し正常範囲のブロックとの高さを揃え、補修範囲のブロックを敷設したあと、ホウキで目地砂を入れた。

(3)安全管理

・入居者との接触を防止するため、施工場所に見張員を配置し、入居者を確認した場合は通過するまで作業を休止するよう徹底した。

・ディスクサンダーを取り扱う作業員には、保護めがね、防塵マスクの使用を徹底した。

1-17. インターロッキングブロック撤去

(1)施工概要

2号棟東側に設置されているインターロッキングブロックを撤去する。

(2)工事報告

・端部よりインターロッキングブロックを撤去し、既に割れたり欠けたりしているものは処分、健全なものは本四高速へ引渡をした。現物は伊島宿舎1－102号室に保管している。

(3)安全管理

入居者との接触事故防止のため、当該エリアをカラーコーン、コーンバーで閉鎖する。

1-18. 犬走りモルタル撤去

(1)施工概要

1号棟東側に設置されているモルタル部分を撤去する。当該箇所は隆起・沈下など著しい損傷が見られるため、全面撤去を行う。

(2)工事報告

・バックホウ、ダンプトラックが入場できない狭小エリアであるため人力で取り壊し積み込みを行った。

(3)安全管理

入居者との接触事故防止のため、当該エリアをカラーコーン、コーンバーで閉鎖する。

1-19. カーブミラー設置

(1)施工概要

2号棟南駐車場入口の両側にカーブミラーを設置する。基礎は、既設のアコーディオンゲート基礎にΦ100×500程度のコアを削孔する。

ステンレス製一面鏡で、柱はオレンジ色粉体塗装の標準品とする。柱は視距の関係上、曲がり支柱を選定する。

(2)工事報告

・削孔はコアカッターを使用した。

・柱を鉛直に建て込みモルタルで埋める。モルタルは、滞水による腐食を防止するため、少し盛り上げて成型した。

・カーブミラーは、日本ポリエステル(株)製のステンレスミラーの一面鏡を使用した。

・視認性を確認しながらミラーを取り付ける。この時、ミラーが市道の建築限界を侵さないよう、またミラー下端の有効高さが2500㎜以上を目安として設置した。

(3)安全管理

市道通行者との接触事故防止のため見張員を配置。

1-20. 路面標示

(1)施工概要

駐車マスの区画線、マス番号、文字「軽」を施工する。

区 画 線－溶融型ペイント、幅10㎝、白色

マス番号－溶着型シート、縦30㎝×幅15㎝、白色、「1」～「26」

文　　字－溶着型シート、縦50㎝×横50㎝、白色、「軽」

(2)工事報告
・設計図に基づいて作図(墨打ち)を行った。
・区画線の施工はハンドガイド式ラインマーカーを用い、ガラスビーズは同時塗布とした。
・溶着シートは、サンコー企画(株)製クイックシートを使用した。
・溶着型シートは、あらかじめ作図した位置に置き、ガスバーナーを用いて焦がさないよう均等に溶着した。
・アスファルト舗装が新しく、油のにじみ出しが見られるので、プライマーは使用していない。
(3)安全管理
施工直後に入居者が歩行しない様、見張員を配置。

1-21. グレーチング設置(歩道用)
(1)施工概要
1号棟東側の既設U字溝にグレーチングを設置する。グレーチングは歩道用のもので幅180㎜のものとする。
(2)工事報告
・グレーチングは、カネソウ(株)製の普通タイプを使用した。
(3)安全管理
市道通行者との接触事故防止のため見張員を配置。

1-22. グレーチング設置(車道用)
(1)施工概要
・排水性舗装に先立ち、既設排水溝に設置する。
・当該グレーチングは、暗渠透水管の割損や沈下による表面舗装の割れを防止するための保護用である。
(2)工事報告
・グレーチング敷設面の砂等を除去した。
・グレーチングは、カネソウ(株)製のT2タイプを使用した。
・グレーチングは、細骨材の咬み込みを期待させるため裏使いしている。
・敷設後、ガタツキがないことを確認し、グレーチング1枚当たり2箇所(対角線上)ずつ受枠とグレーチングとを点付溶接し固定した。

1-23. ネットフェンス撤去
(1)施工概要
駐車場西寄りに設置しているネットフェンス(H=3000)を基礎共撤去する。
当初計画では、当該ネットフェンスは塗替塗装だったが、駐車スペースを拡大する意味から、当該ネットフェンス、車止め、植栽、石垣を撤去することとなった。
(2)工事報告
本工事の主たる工程は次のとおり。
・ネットを撤去する。→焼却処分
・柱を基部で切断する。→スクラップ処分
・バックホウで基礎底が確認できる位置まで掘削し、手前に転がす。
・基礎に玉掛用繊維ロープを胴巻し、ユニックで吊り上げダンプに積み込む。
→再資源化処理
・基礎砕石は存置。
(3)安全管理
本工事は、民家に接近した場所での揚重・掘削工事であるため、次の各項目を徹底し作業を行った。
・入居者に車両の一時移動を求める。

・バックホウ、ユニック、玉掛け作業は有資格者が行う。
・基礎吊上げ時、隣地のブロック塀に接触しない様注意する。
・工事範囲の立入を禁止する。
・作業終了後、掘削穴はカラーコーン、コーンバーで閉合させ立入禁止とする。

1-24. 目隠フェンス設置

(1)施工概要

・駐車場西寄り～低層階前にわたり目隠フェンス(H=1800)を設置する。
・基礎は JIS 認定工場のカナミツ工務店(株)で製作した無筋コンクリート基礎(400*400*700)を使用した。
・目隠しフェンスは、朝日スチール工業(株)製目隠しフェンス XW-1800-M PH とし、色はグレーを使用した。
・当該品番は、上下２枚パネル仕様のものであるが本工事では上パネルのみの施工であり、下パネルは設置しない。
（本工事竣功後、本四高速発注の別途工事で当該フェンスの下部に金網を設置している。）

(2)工事報告

以下の手順により施工した。

～基礎～

・バックホウを用いて所定の深さ＋100 ㎜程度まで掘削する。
・基礎砕石(再生クラッシャーラン 0～40)を敷き均し、100 ㎜の厚さとなる様タンパで突き固める。
・既設のコンクリートブロックに沿わす様に鉛直に据え付け、所定の高さに合わす。
・基礎周囲を現場発生土で埋め戻す。

～足下コンクリート～

・低層階前の基礎については、基礎間に型枠を設置し生コンを打設する。
・生コンは、金コテを用いて左官仕上げを行う。この時、勾配が排水溝に向かう様調整する。

～柱建込み～

・柱建込みは、レベルを見ながら高さを調整し、水平器をもって鉛直であることを確認しながら行う。柱の高さ固定は基礎内に投入した砕石で行い、鉛直度の固定は桟木をコンクリート釘で固定し柱を挟み込む形で行う。
・モルタルを投入し、入念に突き固める。
・高さ、鉛直度について再確認、調整を行う。

～胴縁･パネル組立～

・互いの材料に傷等を与えない様、慎重に組立を行う。
・ボルト･ナットの締付け不足がないことを確認する。

(3)安全管理

・基礎敷設後、柱建込みまでの期間がしばらくあったので、基礎穴に転落することのないよう、開孔の閉鎖養生とカラーコーンによる転落防止養生を行った。
・柱のような長尺物やパネルの様な幅広物を扱うときに、周辺の作業員や隣地のブロック塀などに接触しない様、十分注意して行った。

1-25. 植栽撤去

(1)施工概要

・駐車場西寄り～低層階前にわたり植樹されているカイヅカイブキ１００本を撤去、除根する。
・撤去した樹木は再資源化工場へ運搬し処理する。
・当初計画では、植栽存置だったが、駐車スペースを拡大する意味から、ネットフェンス、車止め、植栽、石垣を撤去することとなった。

(2)工事報告

・ユニックで落下防止措置をとった状態で、チェンソーを用いて根元より伐採した。
・そのままトラックの荷台へ旋回し積み込み、荷台上で、概ね３０cm程度となるよう切断した。
・伐根、除根は石垣撤去後行った。(次項「石垣撤去」による)

(3)安全管理

・ユニック、玉掛け作業は有資格者が行う。
・工事範囲の立入を禁止した。
・チェンソーを扱う作業員には防護めがね、防護手袋を着用させ、トラックの荷台上での作業員は、安全靴を使用する様、徹底した。

1-26. 石垣撤去

(1)施工概要

・駐車場西寄り～低層階前にわたり設置されている石垣を撤去する。
・撤去した石は再資源化工場へ運搬し処理する。
・当初計画では、植栽・石垣共存置だったが、駐車スペースを拡大する意味から、ネットフェンス、車止め、植栽、石垣を撤去することとなった。

(2)工事報告

本工事は以下の工程で施工した。

・低層階前については、既設の排水溝及びインターロッキングブロック舗装上に鉄板を敷き、床養生を行う。
・石垣は、バックホウ(0.35m3)で慎重に崩す。この時、前項の植栽撤去で残っている樹根、土、石とをそれぞれ分別しながら仮置きする。
・西寄りの最北部は、撤去した石の内、規格寸法が一致するものをもって復旧する。石の固定は練モルタルを使用する。
・撤去した石は、再資源化工場へ運搬し処理する。また、石垣内に充填されていた植栽用の土砂は、良質土であるため埋立せず良質土受け入れ施設へ運搬する。
・石垣の最下段にあるコンクリート基礎は、前項の目隠フェンス基礎と干渉する部分について撤去するものとし、それ以外は存置する。
・隣地所有のブロック塀の風穴加工については、敷地内(本四)のコンクリートブロックをカッター切断し、ふさいでいた風穴を開放する。
・カッター切断面は樹脂モルタルによる薄付け成型、本四ブロックと隣地ブロックの境についてはモルタル充填を行う。
・本四ブロック全面の塗装(外壁と同仕様。色はグレー)する。

(3)安全管理

本工事は、最も隣地と接する工事であり、且つ風穴加工のように細かい作業を伴うため、最大限、安全面・衛生面について注意するよう周知・徹底した。

・敷き鉄板の設置･撤去で使用するユニックの運転･玉掛け作業は有資格者が行う。
・石垣取り壊しに使用するバックホウの運転は有資格者が行う。
・当該エリア全体をカラーコーンとコーンバーで完全に閉鎖(分離)し、ガードマンを配置する。
・カッター切断作業員は防護めがね、防護手袋を着用する。

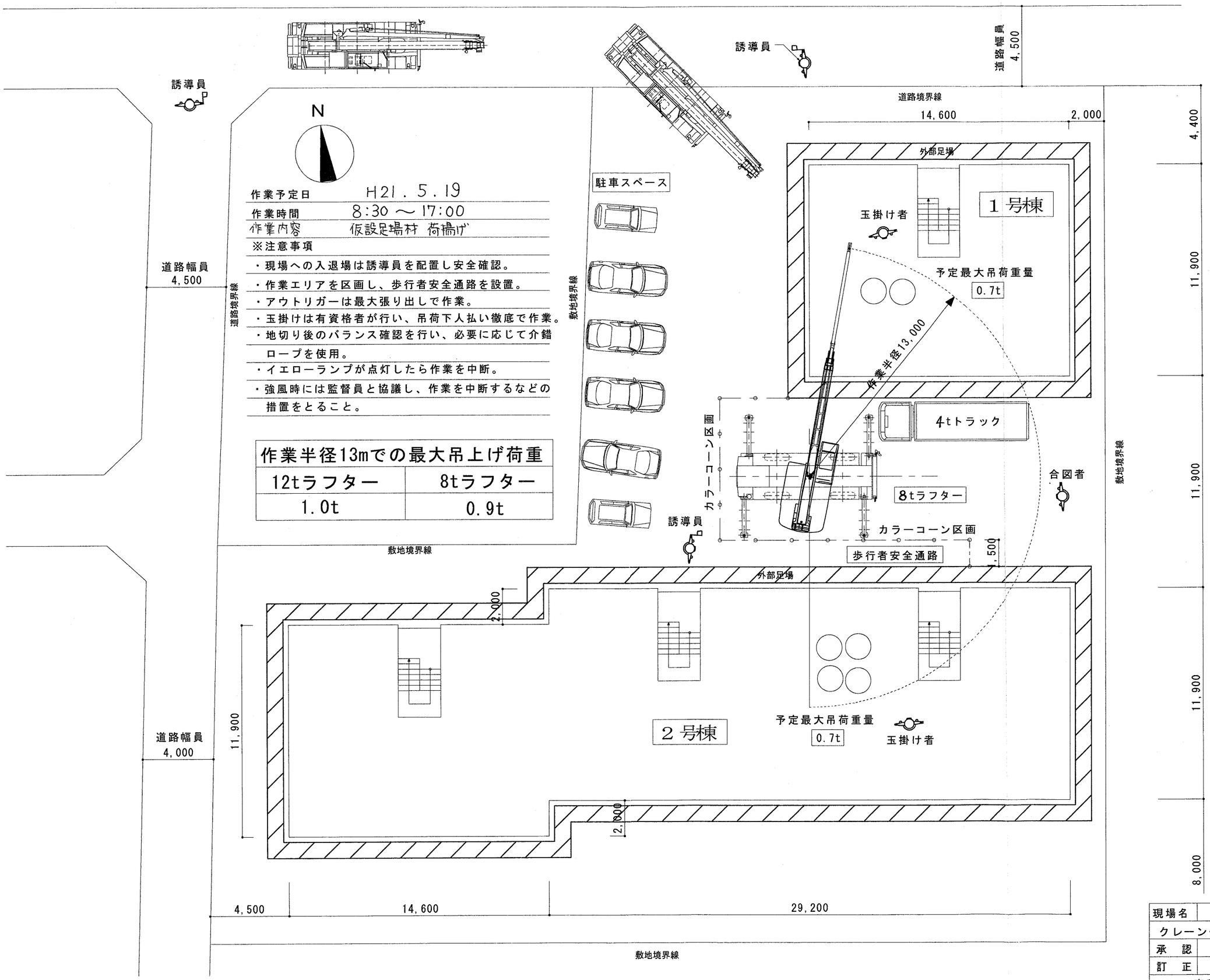
2　主　要　機　械

機械名	形式(規格)	台数(台)	公害対策(排ガス)	低騒音
バックホー	0．12m3	1	○	○
バックホー(クレーン)	0．12m3	1	○	○
バックホー	0．02m3	1	○	○
ダンプトラック	4t	2	○	
ダンプトラック	3t	1	○	
ダンプトラック	2t	2	○	
振動ローラー手押し型	0.6t～0.9t	2	○	
コンバインドローラー	4t	1	○	○
アスファルトフィニッシャー	1．7m～3．1m	1	○	○
タンピングランマー	ホイール型 2.4m～6.0m	2	○	
ランマープレート	880×510×785	2	○	

3　主　要　資　材

品　　名	規　　格	製造業者	単位	数　量	ｸﾞﾘｰﾝ法適合
単粒度砕石	4005	田村砕石工業㈱	m3	4.5	
再生クラッシャーラン	RC-40	田村砕石工業㈱	m3	57.4	○
アスファルト乳剤	PK－3	日本道路	ℓ	482	
アスファルト乳剤	PK－4	日本道路	ℓ	9	
アスファルト乳剤	PKR－T	日本道路	ℓ	195	
生ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	再生密粒度As 13m/m	倉敷アスコン	t	47.0	○
生ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	透水性As13m/m 改質Ⅱ型	倉敷アスコン	t	43.0	○
歩車道境界ブロック C種	H=300	岡山コンクリート工業	個	82.0	○
地先境界ブロック C種	H=150	岡山コンクリート工業	個	81.0	○
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	18-15-20　N	共栄コンクリート	m3	1.0	
キュアマット	1000mm×10mm ×10m	アオイ化学工業㈱	巻	4	
ﾈﾄﾛﾝﾊﾟｲﾌﾟｽｰﾊﾟｰ ES75	φ75　L=4000	大日本ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ㈱	本	57	
基礎ﾌﾞﾛｯｸ	400×400×700	カナミツ工務店	個	24	
ｶｰﾌﾞﾐﾗｰ	SUS製　φ600 L=3600	日本ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ㈱	本	2	
車止めブロック	120×180×600	㈱オービック	個	20	
グレーチング	400×995×32	ｶﾈｿｳ㈱	枚	74	
グレーチング	170×993×19	ｶﾈｿｳ㈱	枚	14	
目隠しフェンス	XW-1800-M	朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱	m	26	

10. クレーン作業計画書



作業予定日	H21.5.19
作業時間	8:30 ～ 17:00
作業内容	仮設足場材 荷揚げ

※注意事項

- 現場への入退場は誘導員を配置し安全確認。
- 作業エリアを区画し、歩行者安全通路を設置。
- アウトリガーは最大張り出しで作業。
- 玉掛けは有資格者が行い、吊荷下人払い徹底で作業。
- 地切り後のバランス確認を行い、必要に応じて介錯ロープを使用。
- イエローランプが点灯したら作業を中断。
- 強風時には監督員と協議し、作業を中断するなどの措置をとること。

作業半径13mでの最大吊上げ荷重	
12tラフター	8tラフター
1.0t	0.9t

現場名	伊島宿舎修繕工事		
クレーン作業計画図		縮尺	1/200
承認		作図	komuro
訂正			
東和防水工業株式会社			

TR-80M 8t吊り

■定格総荷重表

●アウトリガ張出

アウトリガ最大張出（X型・H型）(4.4m)							〈全周〉
ブーム長さ / 作業半径(m)	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m
1.0	8.00(4.90)	8.00(4.90)				
1.5	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)			
2.0	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50		
2.5	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50		
3.0	6.50(4.90)	6.50(4.90)	5.00(4.90)	4.50	4.00	
3.5	5.50(4.90)	5.50(4.90)	5.00(4.90)	4.50	4.00	2.00
4.0		4.80	4.50	4.50	3.80	2.00
4.5			4.00	4.00	3.50	2.00
5.0			3.50	3.50	3.20	2.00
5.5			3.10	3.15	2.90	2.00
6.0			2.70	2.83	2.70	2.00
7.0			2.20	2.33	2.30	1.80
8.0			2.00(7.5m)	1.95	2.00	1.60
9.0				1.65	1.75	1.40
10.0				1.40	1.50	1.25
11.0				1.20	1.30	1.10
12.0				1.05(11.6m)	1.10	1.00
13.0					0.95	0.90
14.0					0.80	0.83
15.0					0.67	0.76
16.0					0.60(15.7m)	0.69
17.0						0.60
18.0						0.52
19.0						0.45
19.8						0.40

アウトリガ中間張出（X型・H型）(3.4m)						〈側方〉
ブーム長さ / 作業半径(m)	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m
1.0	8.00(4.90)	8.00(4.90)				
1.5	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)			
2.0	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50		
2.5	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50		
3.0	6.50(4.90)	6.50(4.90)	5.00(4.90)	4.50	4.00	
3.5	5.50(4.90)	5.50(4.90)	5.00(4.90)	4.50	4.00	2.00
4.0		4.80	4.50	4.50	3.80	2.00
4.5			3.85	4.00	3.50	2.00
5.0			3.30	3.50	3.20	2.00
5.5			2.75	3.00	2.90	2.00
6.0			2.35	2.55	2.70	2.00
7.0			1.70	1.90	2.05	1.80
8.0			1.45(7.5m)	1.48	1.60	1.60
9.0				1.15	1.25	1.35
10.0				0.90	1.00	1.12
11.0				0.70	0.80	0.93
12.0				0.62(11.6m)	0.64	0.78
13.0					0.50	0.65
14.0					0.40	0.54
15.0					0.33	0.45
16.0					0.28(15.7m)	0.37
17.0						0.30
18.0						0.23
19.0						0.18
19.8						0.15

アウトリガ最小張出（X型）(2.1m)						〈側方〉
ブーム長さ / 作業半径(m)	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m
1.0	8.00(4.90)	8.00(4.90)				
1.5	8.00(4.90)	8.00(4.90)	5.00(4.90)			
2.0	7.00(4.90)	7.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50		
2.5	4.90	4.90	4.70	4.50		
3.0	3.60	3.60	3.50	3.70	3.90	
3.5	2.80	2.80	2.70	2.90	3.10	2.00
4.0		2.20	2.10	2.30	2.50	2.00
4.5			1.70	1.90	2.05	2.00
5.0			1.35	1.55	1.70	1.75
5.5			1.07	1.27	1.40	1.45
6.0			0.85	1.05	1.17	1.22
7.0			0.52	0.72	0.82	0.87
8.0			0.40(7.5m)	0.50	0.60	0.64
9.0				0.30	0.40	0.44
10.0				0.18	0.27	0.31
11.0					0.16	0.20

アウトリガ張出時の注意

1.（ ）内はTR-80M型の値です。
2 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
3. 定格総荷重は、つり具重量とフック重量を含んだ値を示します。
4 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
5. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。なお、ロープ1本当たりの荷重は、主巻1.25t以下（TR-80M型は1.23t以下）、補巻1.4t以下です。

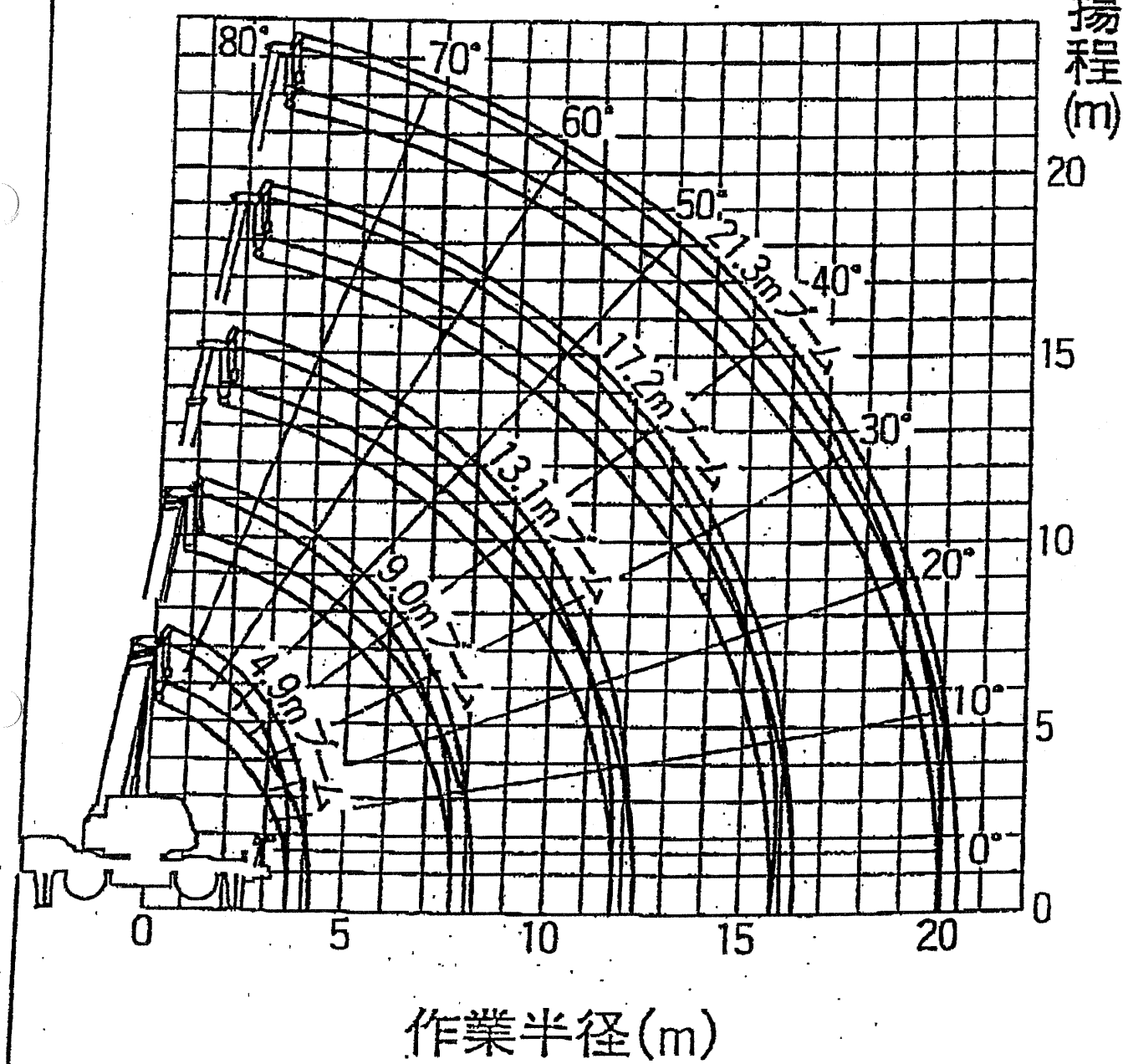
ブーム長さ	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m	シングルトップ
巻掛本数	7(4)	7(4)	4	4	4	4	1
フックの種類	8トン吊り(4.9トン吊り)						1.4トン吊り
フックの重量	75kg(70kg)						20kg

アウトリガ不設置（前方）　（単位:t）

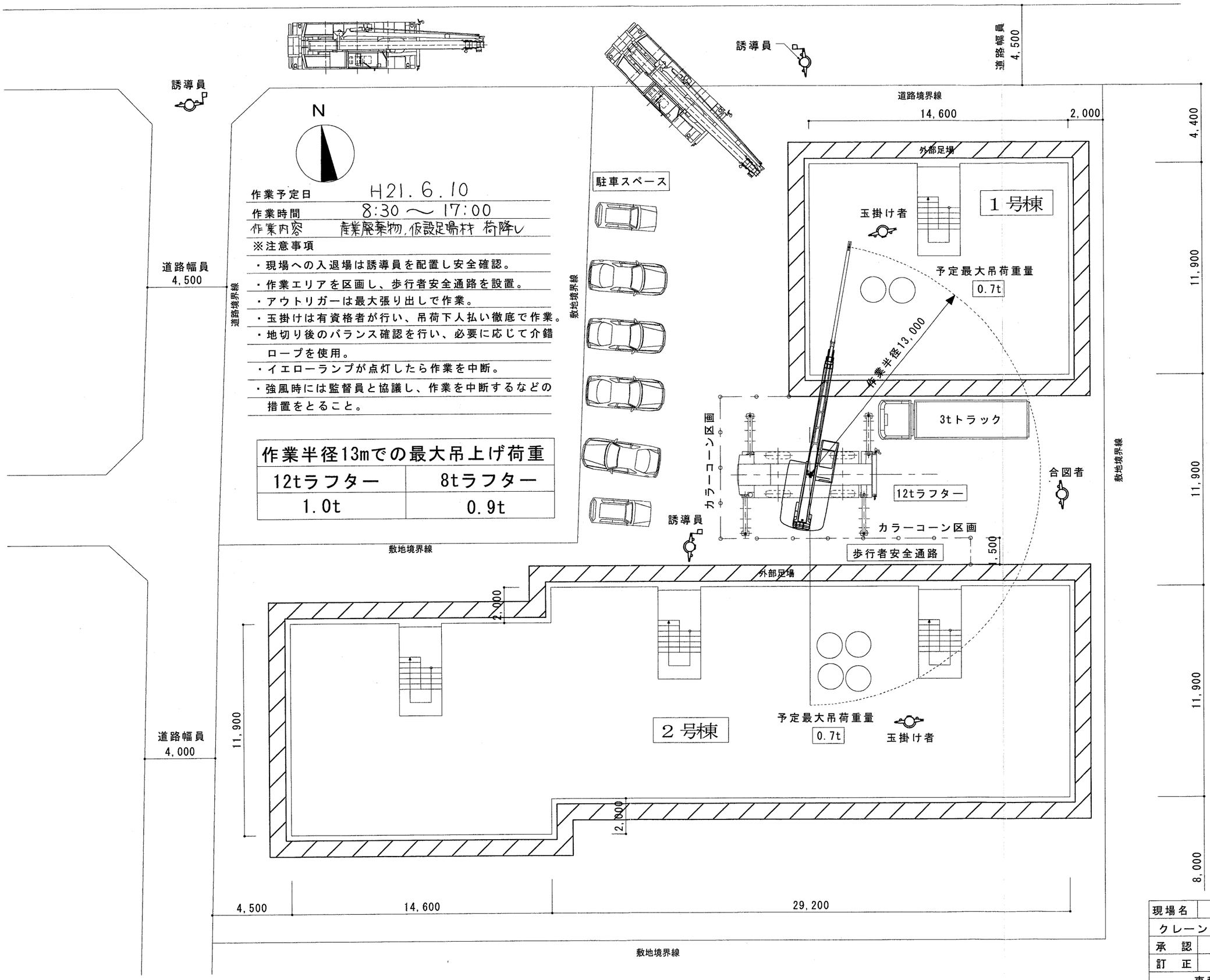
作業半径 ＼ ブーム長さ	4.9m—9.0m
5.0以下	1.00

側方吊りはできません。ブームがキャリヤ前方2°（左右各1°）以内の範囲で作業を行ってください。

作業半径-揚程図



(注) 1. 上図は、ブームのたわみを含んでいません。
2. 上図は、アウトリガ最大張出時(全周)のものです。



作業予定日　H21.6.10

作業時間　8:30 ～ 17:00

作業内容　産業廃棄物,仮設足場材 荷降し

※注意事項

- 現場への入退場は誘導員を配置し安全確認。
- 作業エリアを区画し、歩行者安全通路を設置。
- アウトリガーは最大張り出しで作業。
- 玉掛けは有資格者が行い、吊荷下人払い徹底で作業。
- 地切り後のバランス確認を行い、必要に応じて介錯ロープを使用。
- イエローランプが点灯したら作業を中断。
- 強風時には監督員と協議し、作業を中断するなどの措置をとること。

作業半径13mでの最大吊上げ荷重	
12tラフター	8tラフター
1.0t	0.9t

現場名	伊島宿舎修繕工事		
クレーン作業計画図		縮尺	1/200
承　認		作図	komuro
訂　正			
東和防水工業株式会社			

GR-120NL　12t吊り

■定格総荷重表

❶アウトリガ使用

[ブーム]

単位：(t)

アウトリガ最大張出（4.7m）

ブーム長さ / 作業半径	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)		
2.5m	10.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.0m	8.20(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.5m	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.0m	6.10(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.5m		5.20(4.90)	5.10(4.90)	5.00(4.90)	4.10	3.00
5.0m		4.65	4.60	4.50	3.80	3.00
5.5m		4.15	4.10	4.00	3.50	3.00
6.0m		3.75	3.70	3.60	3.25	2.80
7.0m		3.05	3.00	2.90	2.75	2.40
8.0m		2.70(7.7m)	2.45	2.40	2.35	2.15
9.0m			1.90	2.05	2.05	1.90
10.0m			1.65	1.70	1.75	1.65
11.0m			1.25	1.45	1.55	1.45
12.0m			1.20(11.4m)	1.25	1.35	1.30
13.0m				1.00	1.15	1.15
14.0m				0.85	1.00	1.05
15.0m				0.70	0.85	0.95
16.0m					0.70	0.80
17.0m					0.60	0.70
18.0m					0.50	0.60
19.0m					0.45(18.7m)	0.50
20.0m						0.45
22.0m						0.30
22.3m						0.27
A (°)	0~82					

A:ブーム角度の範囲（無負荷時）

単位：(t)

アウトリガ中間張出（3.5m）

ブーム長さ / 作業半径	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)		
2.5m	10.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.0m	8.20(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.5m	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.0m	6.10(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.5m		4.75	4.70	5.00(4.90)	4.10	3.00
5.0m		3.85	3.85	4.10	3.80	3.00
5.5m		3.25	3.25	3.50	3.50	3.00
6.0m		2.75	2.75	3.00	3.15	2.80
7.0m		2.05	2.00	2.25	2.40	2.40
8.0m		1.65(7.7m)	1.50	1.70	1.85	1.90
9.0m			1.10	1.30	1.45	1.50
10.0m			0.80	1.00	1.15	1.20
11.0m			0.60	0.80	0.90	0.97
12.0m			0.40(11.4m)	0.60	0.70	0.77
13.0m				0.45	0.55	0.62
14.0m				0.30	0.40	0.50
15.0m				0.25	0.30	0.40
16.0m					0.20	0.30
17.0m						0.20
A (°)	0~82				21~82	36~82

A:ブーム角度の範囲（無負荷時）

単位：(t)

アウトリガ中間張出（4.3m）

ブーム長さ / 作業半径	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)		
2.5m	10.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.0m	8.20(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.5m	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.0m	6.10(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.00
4.5m		5.20(4.90)	5.10(4.90)	5.00(4.90)	4.10	3.00
5.0m		4.65	4.60	4.50	3.80	3.00
5.5m		4.15	4.10	4.00	3.50	3.00
6.0m		3.75	3.70	3.60	3.25	2.80
7.0m		2.90	3.00	2.90	2.75	2.40
8.0m		2.50(7.7m)	2.30	2.40	2.35	2.15
9.0m			1.80	1.90	2.05	1.90
10.0m			1.45	1.55	1.65	1.65
11.0m			1.15	1.25	1.35	1.45
12.0m			1.05(11.4m)	1.10	1.10	1.20
13.0m				0.80	0.90	1.00
14.0m				0.60	0.75	0.85
15.0m				0.50	0.60	0.75
16.0m					0.50	0.60
17.0m					0.40	0.50
18.0m					0.30	0.43
19.0m					0.25(18.7m)	0.35
20.0m						0.25
A (°)	0~82					

A:ブーム角度の範囲（無負荷時）

単位：(t)

アウトリガ中間張出（2.5m）

ブーム長さ / 作業半径	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)		
2.5m	8.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.0m	5.70(4.90)	5.50(4.90)	5.50(4.90)	5.00(4.90)	4.50	
3.5m	4.25	4.30	4.30	4.50	4.50	3.00
4.0m	3.45	3.35	3.35	3.55	3.70	3.00
4.5m		2.60	2.65	2.90	3.05	3.00
5.0m		2.10	2.15	2.35	2.55	2.60
5.5m		1.75	1.75	1.95	2.15	2.25
6.0m		1.45	1.40	1.65	1.80	1.95
7.0m		1.00	0.95	1.15	1.30	1.40
8.0m		0.70(7.7m)	0.65	0.85	0.95	1.05
9.0m			0.40	0.60	0.70	0.77
10.0m			0.30	0.40	0.50	0.60
11.0m				0.25	0.35	0.40
12.0m					0.20	0.30
13.0m						0.20
A (°)	0~82		19~82	33~82	44~82	50~82

A:ブーム角度の範囲（無負荷時）

単位：(t)

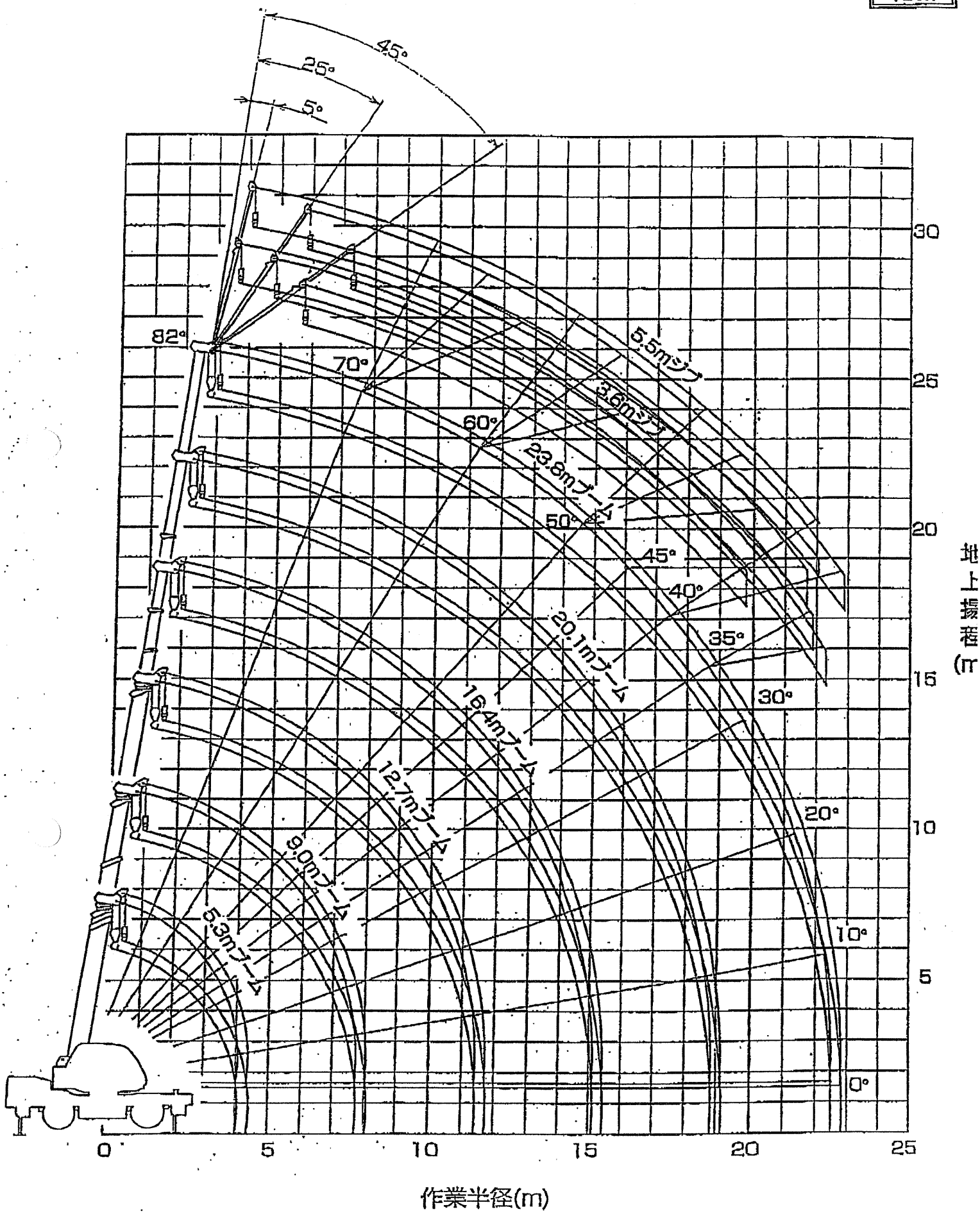
アウトリガ最小張出（※）

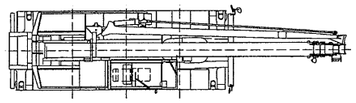
ブーム長さ / 作業半径	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	8.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	5.50(4.90)	5.40(4.90)	5.50(4.90)	5.00(4.90)		
2.5m	3.70	3.80	3.55	3.20	3.20	
3.0m	2.70	2.85	2.65	2.60	2.60	
3.5m	2.10	2.00	2.00	2.05	2.10	2.10
4.0m	1.60	1.55	1.55	1.60	1.70	1.75
4.5m		1.20	1.20	1.25	1.40	1.45
5.0m		0.90	0.95	1.00	1.15	1.25
5.5m		0.70	0.75	0.80	0.95	1.05
6.0m		0.55	0.55	0.65	0.80	0.90
7.0m		0.25	0.20	0.40	0.55	0.80
8.0m						0.35
A (°)	0~82	18~82	50~82	56~82	60~82	63~82

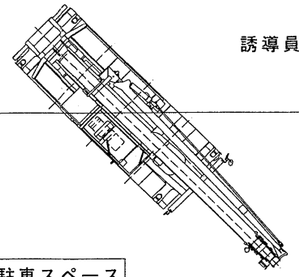
A:ブーム角度の範囲（無負荷時）

※1.7m……X型アウトリガ

12tR


45°
25°
5°
82°
70°
60°
50°
45°
40°
35°
30°
20°
10°
0°
5.5mブーム
8.6mブーム
23.8mブーム
20.1mブーム
16.4mブーム
12.7mブーム
9.0mブーム
5.3mブーム
0
5
10
15
20
25
30
地上揚程(m)
作業半径(m)





誘導員

誘導員

N

作業予定日　H21.6.30

作業時間　9:00～12:00

作業内容　資材揚重

※注意事項

・現場への入退場は誘導員を配置し安全確認。

・作業エリアを区画し、歩行者安全通路を設置。

・アウトリガーは最大張り出しで作業。

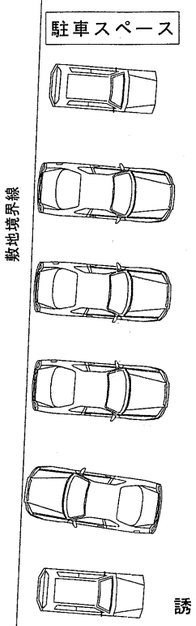
・玉掛けは有資格者が行い、吊荷下人払い徹底で作業。

・地切り後のバランス確認を行い、必要に応じて介錯ロープを使用。

・イエローランプが点灯したら作業を中断。

・強風時には監督員と協議し、作業を中断するなどの措置をとること。

作業半径13mでの最大吊上げ荷重	
12tラフター	8tラフター
1.0t	0.9t



駐車スペース

道路幅員
4,500

道路境界線

敷地境界線

道路幅員
4,500

道路境界線

14,600

2,000

外部足場

1号棟

玉掛け者

予定最大吊荷重量
0.7t

作業半径13,000

4tトラック

合図者

8tラフター

カラーコーン区画

誘導員

カラーコーン区画

歩行者安全通路

1,500

敷地境界線

4,400

11,900

11,900

外部足場

2,000

11,900

2号棟

予定最大吊荷重量
0.7t

玉掛け者

2,000

道路幅員
4,000

8,000

4,500

14,600

29,200

敷地境界線

現場名	伊島宿舎修繕工事		
クレーン作業計画図		縮尺	1/200
承　認		作図	komuro
訂　正			
東和防水工業株式会社			

11. 消防設備設置届

別記様式第１号の２の３(第31条の３関係)

消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書

21年 7月 10日

岡山市西消防署長　殿

届出者

住　所　岡山県都窪郡早島町早島 2985
本州四国連絡高速道路 岡山管理センター

氏　名　所長　中川　勉　㊞

下記のとおり，消防用設備等（特殊消防用設備等）を設置したので，消防法第17条の３の２の規定に基づき届け出ます。

記

設置者	住所		岡山県都窪郡早島町早島 2985　電話（086）483-1105 番
	氏名		本州四国連絡高速道路 岡山管理センター　所長 [redacted]
防火対象物	所在地		岡山市北区伊島町２－10－25
	名称		本州四国連絡高速道路株式会社 伊島宿舎（1号棟）
	用途		第(5)項－ロ、共同住宅
	構造，規模		鉄筋コンクリート　造　地上　3階　地下　階
			床面積　225.37 ㎡　延べ面積　641.79 ㎡
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類			避難器具
工事	種別		新設、増設、移設、[取替え]、改造、その他（　）
	設計者住所氏名	住所	岡山市北区中島田町１丁目7－7　電話(086) 223－8731 番
		氏名	三ッ矢消防設備株式会社
	施工者住所氏名	住所	岡山市北区中島田町１丁目7－7　電話(086) 223－8731 番
		氏名	三ッ矢消防設備株式会社
	消防設備士	住所	[redacted]
		氏名	

免状 種類等	交付知事	交付年月日 / 交付番号	講習受講状況 受講地	受講年月
㊙ 乙 種５類	岡山 都道府県	[redacted]	岡山 都道府県	[redacted]

着工年月日		
完成年月日		
検査希望年月日		

※受付欄	※決裁欄	※備考
岡消西第983号 21.7.10 岡山市西消防署	第983号 平成21年7月13日 届出済 岡山市西消防署長	

備考 1　この用紙の大きさは日本工業規格A4とすること．

2　消防用設備等の設計図書は，消防用設備等の種類ごとにそれぞれ添付すること．

3　※欄には，記入しないこと．

別記様式第16

避難器具試験結果報告書

(1号棟)

試験実施日　21年　7月　6日

試験実施者

住　所　[redacted]

氏　名

階		2	3							
用途（例別表第一、項）		5-ロ	5-ロ							
無窓階該当		無	無							
階別算出収容人員		7	7							
基準設置個数		—	—							
減免数		—	—							
減免対象事項		—	—							
避難器具の種別及び個数	避難はしご	2	2							
	緩降機									
	すべり台									
	避難ロープ									
	すべり棒									
	避難橋									
	避難用タラップ									
	救助袋（垂直）									
	救助袋（斜降）									
設置数（合計）		2	2							

試験項目			種別・容量等の内容				結果
外観試験	設置場所等	避難器具の種別	器具－1 金属製避難はしご （避難器具用ハッチ）	器具－2 （　　）	器具－3 （　　）	器具－4 （　　）	——
		開口部の大きさ 縦×横×腰高 (cm)	62×55				適
		設置状況	適				適
		障害物の有無	無				適

避難器具

試験項目			種別・容量等の内容				結果
外観試験	設置場所等	降下空間の確保	適				適
		着地点の状況	適				適
	構造・性能		適				適
	取付部		適				適
	取付具		適				適
	固定部材		／				／
	格納		適				適
	標識		適				適
機能試験	荷重試験	器具名（　　）	荷重の大きさ　　KN				
		器具名（　　）	荷重の大きさ　　KN				
		器具名（　　）	荷重の大きさ　　KN				
	引抜強度試験	器具－1（　　）	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－2（　　）	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－3（　　）	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－4（　　）	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
備考	※今回工事は、既設金属製避難はしご（ハッチ用吊り下げはしご）の取替工事を行いました。						

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2　性能試験の欄の（　）書きについては、避難器具の種別を記入すること。

3　結果の欄には、良否を記入すること。

別記様式第１号の２の３(第31条の３関係)

消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書

21年 7月 10日

岡山市西消防署長　殿

届出者

住　所　岡山県都窪郡早島町早島 2985
本州四国連絡高速道路 岡山管理センター
氏　名　所長　中川　勉　㊞

下記のとおり，消防用設備等（特殊消防用設備等）を設置したので，消防法第17条の３の２の規定に基づき届け出ます。

記

設置者	住所		岡山県都窪郡早島町早島 2985　電話（086）483-1105 番
	氏名		本州四国連絡高速道路 岡山管理センター　所長 [redacted]
防火対象物	所在地		岡山市北区伊島町２－10－25
	名称		本州四国連絡高速道路株式会社 伊島宿舎（２号棟）
	用途		第(5)項－ロ、共同住宅
	構造，規模		鉄筋コンクリート　造　地上　3階　地下　階
			床面積　652.93 ㎡　延べ面積　1,832.20 ㎡
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類			避難器具
工事	種別		新設、増設、移設、[取替え]、改造、その他（　）
	設計者住所氏名	住所	岡山市北区中島田町１丁目７－７　電話(086) 223－8731 番
		氏名	三ッ矢消防設備株式会社
	施工者住所氏名	住所	岡山市北区中島田町１丁目７－７　電話(086) 223－8731 番
		氏名	三ッ矢消防設備株式会社
	消防設備士	住所	[redacted]
		氏名	

免状	種類等	交付知事	交付年月日 / 交付番号	講習受講状況 受講地	受講年月
	㊙乙 種５類	岡山 都道府県	63年12月２日 第７号	岡山 都道府県	16年11月

着工年月日	
完成年月日	
検査希望年月日	

※受付欄	※決裁欄	※備考
岡消西第983号 21.7.10 岡山市西消防署	第983号 平成21年7月13日 届出済 岡山市西消防署	

備考 1　この用紙の大きさは日本工業規格 A4 とすること．
2　消防用設備等の設計図書は，消防用設備等の種類ごとにそれぞれ添付すること．
3　※欄には，記入しないこと．

別記様式第16

避難器具試験結果報告書

(2号棟)

試験実施日　　2/年　7月　6日

試験実施者

住　所　　赤磐市桜が丘東6丁目6番地479

氏　名　　浅野　浩昭　　印

階		2	3							
用途（例別表第一、項）		5-ロ	5-ロ							
無窓階該当		無	無							
階別算出収容人員		21	21							
基準設置個数		—	—							
減免数		—	—							
減免対象事項		—	—							
避難器具の種別及び個数	避難はしご	4	4							
	緩降機									
	すべり台									
	避難ロープ									
	すべり棒									
	避難橋									
	避難用タラップ									
	救助袋（垂直）									
	救助袋（斜降）									
設置数（合計）		4	4							

試験項目			種別・容量等の内容				結果
外観試験	設置場所等	避難器具の種別	器具－1 金属製避難はしご （避難器具用ハッチ）	器具－2 （　　）	器具－3 （　　）	器具－4 （　　）	——
		開口部の大きさ縦×横×腰高(cm)	62×55				適
		設置状況	適				適
		障害物の有無	無				適

避難器具

試験項目			種別・容量等の内容				結果
外観試験	設置場所等	降下空間の確保	適				適
		着地点の状況	適				適
	構造・性能		適				適
	取付部		適				適
	取付具		適				適
	固定部材		／				／
	格納		適				適
	標識		適				適
機能試験	荷重試験	器具名(　　)	荷重の大きさ　　KN				
		器具名(　　)	荷重の大きさ　　KN				
		器具名(　　)	荷重の大きさ　　KN				
	引抜強度試験	器具－1(　　)	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－2(　　)	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－3(　　)	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
		器具－4(　　)	設計荷重　　KN 試験荷重　　KN				
備考	※今回工事は、既設金属製避難はしご（ハッチ用吊り下げはしご）の取替工事を行いました。						

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2　性能試験の欄の(　)書きについては、避難器具の種別を記入すること。

3　結果の欄には、良否を記入すること。

12. 調査報告書

12-1. 外壁調査報告書

1号棟

総　括　表

1号棟

補修の方法	設計数量	実測数量	増減
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面エポキシ 樹脂モルタル平滑仕上 (m)	3		▲ 3
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 エポキシ樹脂注入工法 (m)	40	9.95	▲ 30.05
亀裂フィラー処理 0.5㎜未満 微弾性フィラー擦り込み (m)	140	154.7	14.70
爆裂押出補修(大) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=500～1000 W200程度 (ヶ所)	1		▲ 1
爆裂押出補修(中) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=150～500 W200程度 (ヶ所)	1	1	0
爆裂押出補修(小) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 WL=150未満 (ヶ所)	5	3	▲ 2
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部エポキシ樹脂注入 W150程度ピンニング共 (m)	3		▲ 3
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂モルタル塗 W150程度 (m)	2		▲ 2
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 WL100程度 (ヶ所)	15	15	0
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 (㎡)	2	0.6	▲ 1.4
手摺支持部浮き注入補修 エポキシ樹脂注入 (ヶ所)	5		▲ 5
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 (ヶ所)	2		▲ 2
露筋処理 露筋鉄筋ケレン錆止目の上樹脂 モルタル塗り (ヶ所)	3	1	▲ 2
床 浮き部補修 エポキシ樹脂 注入 (㎡)	7	3.115	▲ 3.885
巾木・溝 浮き部補修 エポキシ樹脂注入 (m)	4		▲ 4
既存塗膜浮部剥がし ケレン パターン処理共しごき 補修の浮も含む (㎡)	5	0.555	▲ 4.445

12-2. 外壁調査報告書

2号棟(南面を除く)

総　括　表

2号棟

補修の方法	設計数量	実測数量	増減
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面エポキシ 樹脂モルタル平滑仕上 (m)	10	0.6	▲ 9
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 エポキシ樹脂注入工法 (m)	100	15.85	▲ 84
亀裂フィラー処理 0.5㎜未満 微弾性フィラー擦り込み (m)	300	204.55	▲ 95
爆裂押出補修(大) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=500～1000 W200程度 (ヶ所)	1	2	1
爆裂押出補修(中) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=150～500 W200程度 (ヶ所)	3		▲ 3
爆裂押出補修(小) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 WL=150未満 (ヶ所)	10	19	9
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部エポキシ樹脂注入 W150程度ピンニング共 (m)	10		▲ 10
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂モルタル塗 W150程度 (m)	5		▲ 5
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 WL100程度 (ヶ所)	30	3	▲ 27
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂モリタル整形 (㎡)	3		▲ 3
手摺支持部浮き注入補修 エポキシ樹脂注入 (ヶ所)	10		▲ 10
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 (ヶ所)	5		▲ 5
露筋処理 露筋鉄筋ケレン錆止目の上樹脂 モルタル塗り (ヶ所)	5	1	▲ 4
床 浮き部補修 エポキシ樹脂 注入 (㎡)	20	1.945	▲ 18
巾木・清 浮き部補修 エポキシ樹脂注入 (m)	10		▲ 10
既存塗膜浮部剥がし ケレン パターン処理共しごき 補修の浮も含む (㎡)	10	1.205	▲ 9

12-3. 外壁調査報告書

2号棟南面・全体総括

全　体　総　括　表

2号棟

補修の方法	設計数量	実測数量	増減
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面エポキシ 樹脂モルタル平滑仕上 (m)	10	0.6	▲ 9
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 エポキシ樹脂注入工法 (m)	100	35.25	▲ 65
亀裂フィラー処理 0.5㎜未満 微弾性フィラー擦り込み (m)	300	410.15	110
爆裂押出補修(大) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=500～1000 W200程度 (ヶ所)	1	2	1
爆裂押出補修(中) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 L=150～500 W200程度 (ヶ所)	3	2	▲ 1
爆裂押出補修(小) 錆止後エポキシ樹脂モルタル成形 WL=150未満 (ヶ所)	10	33	23
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部エポキシ樹脂注入 W150程度ピンニング共 (m)	10	4.8	▲ 5
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂モルタル塗 W150程度 (m)	5		▲ 5
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 WL100程度 (ヶ所)	30	4	▲ 26
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂モリタル整形 (㎡)	3		▲ 3
手摺支持部浮き注入補修 エポキシ樹脂注入 (ヶ所)	10		▲ 10
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂モルタル整形 (ヶ所)	5		▲ 5
露筋処理 露筋鉄筋ケレン錆止目の上樹脂 モルタル塗り (ヶ所)	5	6	1
床 浮き部補修 エポキシ樹脂 注入 (㎡)	20	6.42	▲ 14
巾木・溝 浮き部補修 エポキシ樹脂注入 (m)	10		▲ 10
既存塗膜浮部剥がし ケレン パターン処理共しごき 補修の浮も含む (㎡)	10	1.255	▲ 9

総　括　表（　南　面　）

2号棟

補修の方法	設計数量	実測数量	増減
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面ｴﾎﾟｷｼ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ平滑仕上（m）	—		
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法（m）	—	19.4	
亀裂ﾌｨﾗｰ処理　0.5㎜未満 微弾性ﾌｨﾗｰ擦り込み（m）	—	205.6	
爆裂押出補修(大) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=500～1000　W200程度（ヶ所）	—		
爆裂押出補修(中) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=150～500　W200程度（ヶ所）	—	2	
爆裂押出補修(小) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 WL=150未満（ヶ所）	—	14	
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 W150程度ﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ共（m）	—	4.8	
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗 W150程度（m）	—		
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 WL100程度（ヶ所）	—	1	
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾘﾀﾙ整形 （㎡）	—		
手摺支持部浮き注入補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（ヶ所）	—		
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 （ヶ所）	—		
露筋処理 露筋鉄筋ｹﾚﾝ錆止目の上樹脂 ﾓﾙﾀﾙ塗り（ヶ所）	—	5	
床　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂　注入（㎡）	—	4.475	
巾木・溝　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（m）	—		
既存塗膜浮部剥がし ｹﾚﾝ ﾊﾟﾀｰﾝ処理共しごき 補修の浮も含む（㎡）	—	0.05	

12-4-1. TV共聴アンテナ調査報告
仕様書

Ｎｏ．[E370901560-00]

完　成　図　書

提出先：　　殿

件　名：伊島宿舎修繕工事

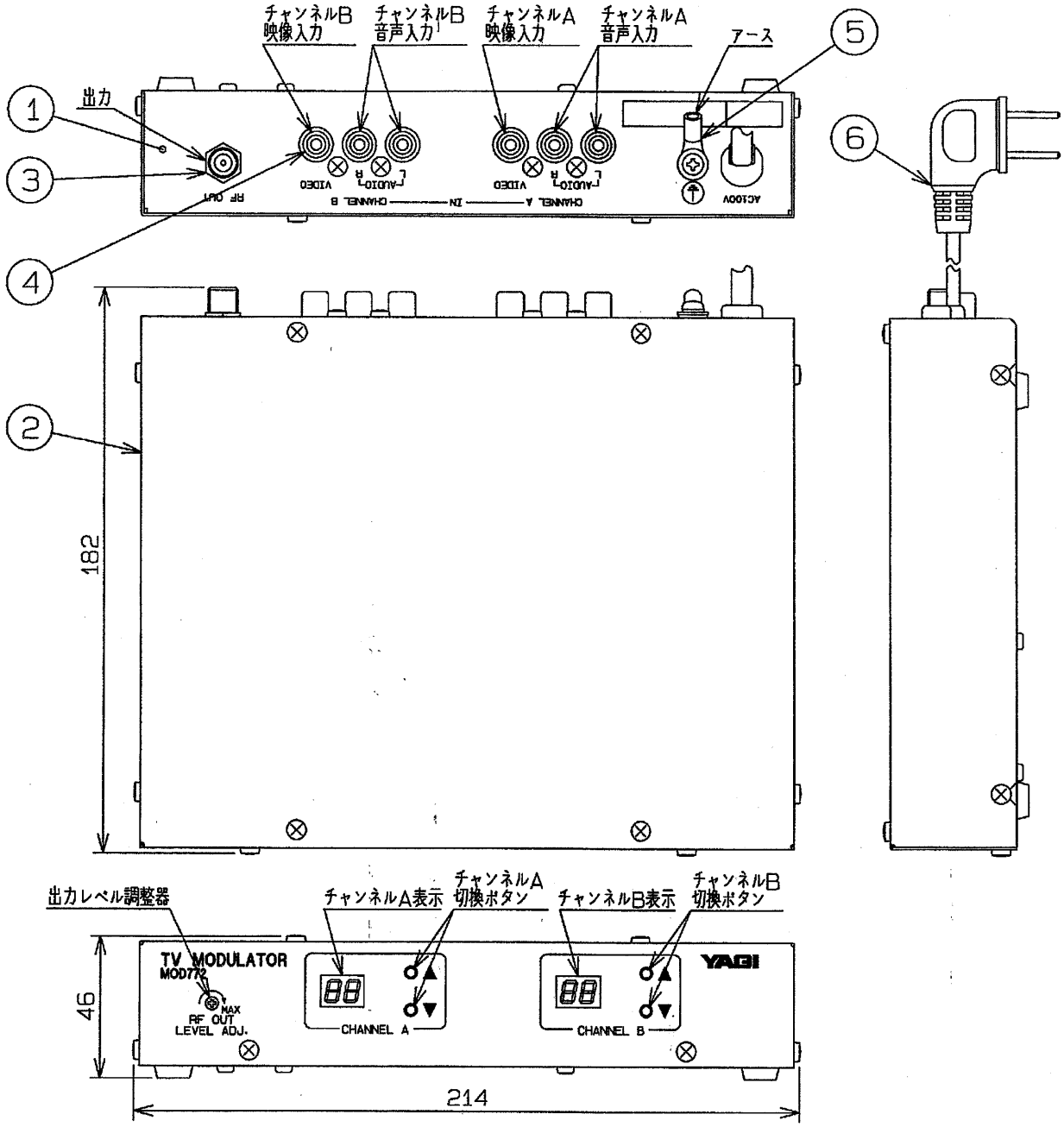
目　　次

No	品　　名	形　　名	数　量	単位	備　　考
01	テレビ変調器	MOD772	1	台	UHF2波可変型 ﾓﾉﾗﾙ
02	ＣＳ・ＢＳ・地上デジタルチューナ	DTC110	2	台	
03	U･V･FM38dB増幅器	WPS38A	1	台	屋内･外用
04	CS･BS40dB増幅器	CSBS-1	4	台	BL
05	CATV40dB増幅器	CATV-1A	3	台	BL 双方向

0822

八木アンテナ株式会社
関西支店　中国営業所

950600　　/22



項　目	性　能	備　考
入力レベル	映像1Vp-p、音声2.5Vp-p	
出力レベル[dBμ]	85	
出力チャンネル	ch13~62 のうち2波選択	同一、隣接除く
出力レベル調整範囲[dB]	0~-15	
スプリアス[dB]	-60以下	90~770MHzにて
DG[%]/DP[°]	10/10 以下	
FV-FA比[dB]	15	
音声歪み[%]	3以下	1kHzにて
耐雷性	±15KV・1.2/50μs	出力端子
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	6W	
使用温度範囲[℃]	0~+40	
質量[kg]	約1.3	

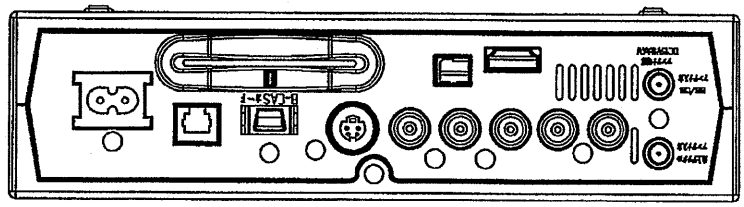
項番	部品名	数量	材質	処理
6	電源コード	1	軟銅線、他	(1.5m)
5	圧着端子	1	黄銅	スズメッキ
4	RCA-PIN-R	6	黄銅、他	ニッケルメッキ
3	F形接栓座	1	黄銅、他	ニッケルメッキ
2	カバー	1	アルミ板	塗装、シルク印刷
1	ケース	1	処理鋼板	シルク印刷

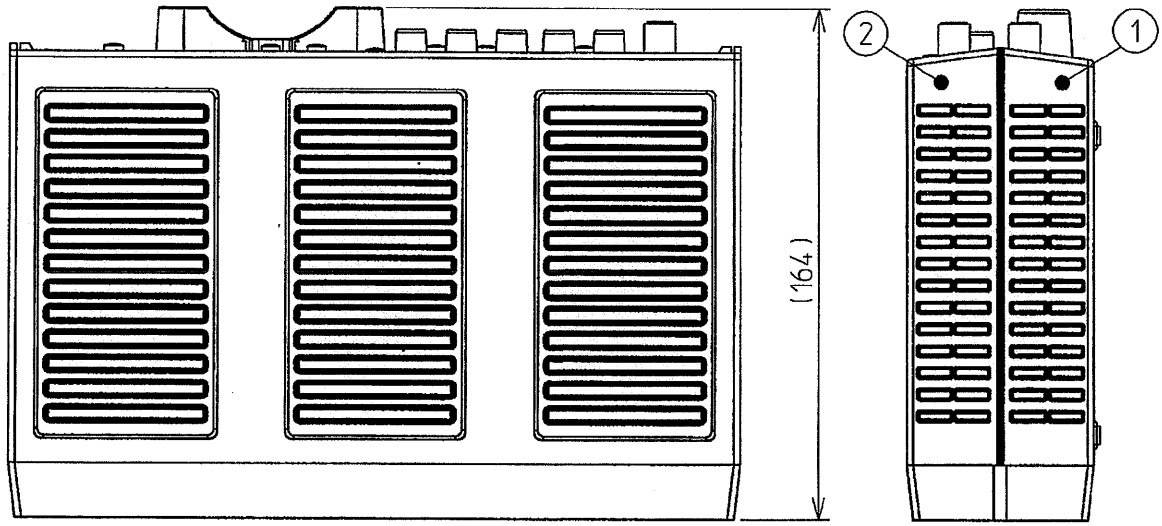
テレビ変調器
MOD772
外観図　及び　仕様書

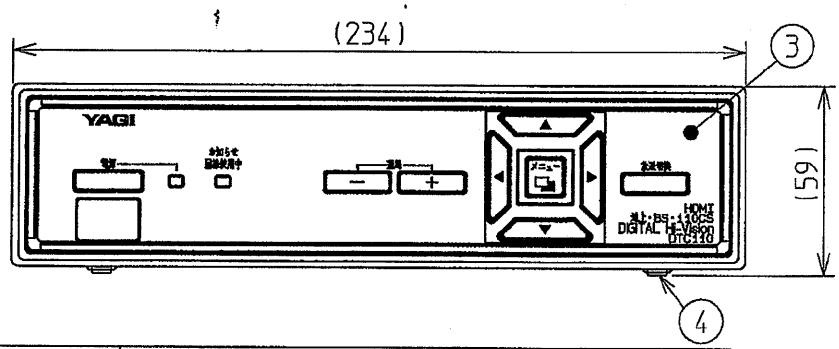
承認	審査	作成

八木アンテナ株式会社

7416507







項目	仕様
受信チャンネル	地上波(UHF):13~62ch、CATV:1~12ch、C13~63ch BSデジタル:000~999ch、110度CSデジタル:000~999ch (CATVの場合、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応)
内蔵チューナ	地上・BS・110度CSデジタルチューナX1
入出力端子	地上デジタルアンテナ入力端子:1系統 BS/110度CSアンテナ入力端子:1系統 電話回線端子:1系統 ビデオ出力端子:1系統 Sビデオ出力端子:1系統 D1/D2/D3/D4ビデオ出力端子:1系統 HDMI出力端子:1系統 光デジタル音声出力端子:1系統 アナログ音声出力端子:2系統
使用電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力/待機時消費電力	9W(BSアンテナの電源供給がないとき)/0.3W 13W(BSアンテナへ4Wの電源供給があるとき)/0.3W
使用温度	0℃~+40℃
質量	約750g
付属品	リモコン(1個)、B-CAS(ビーキャス)カード(1枚) 取扱説明書・保証書(各1部)、AVケーブル(1本)、電源コード(1本) アンテナケーブル(1本)、モジュラー分配器(1個) 電話機コード(1本)、単4乾電池(2個)

・本品は今後改良・性能向上のため、
形状及び特性を変更することがあります。

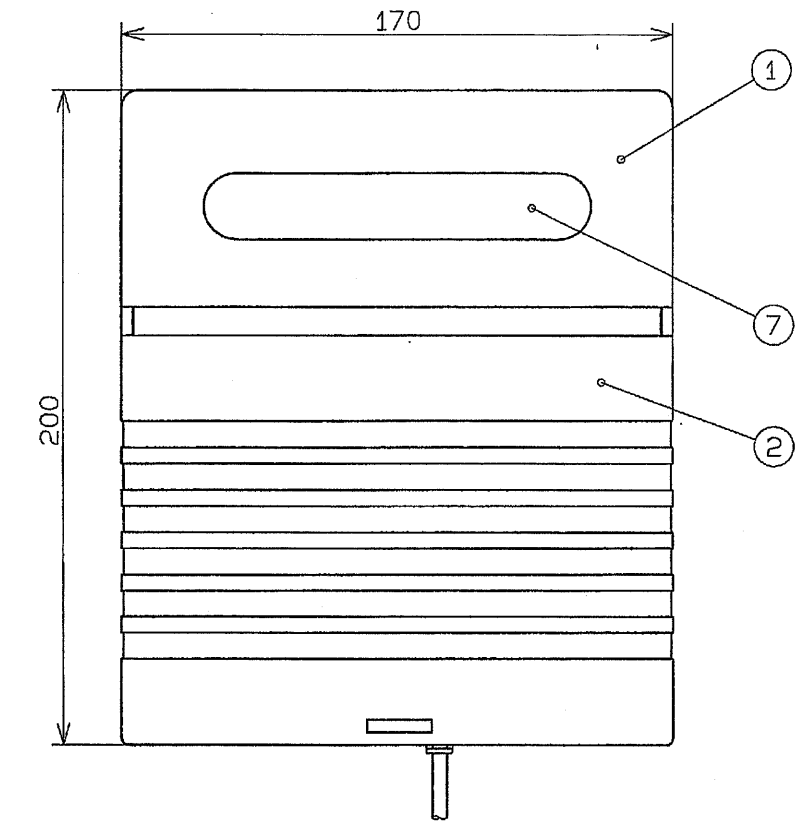
項番	部品名	数量	材質	処理
4	ゴム足	4	合成ゴム	
3	正面パネル	1	プラスチック	
2	本体ケース	1	プラスチック	
1	本体カバー	1	プラスチック	

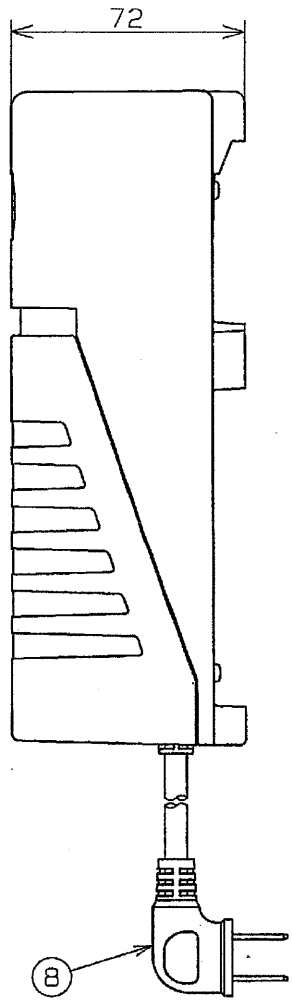
地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンチューナ DTC110 外観図仕様書

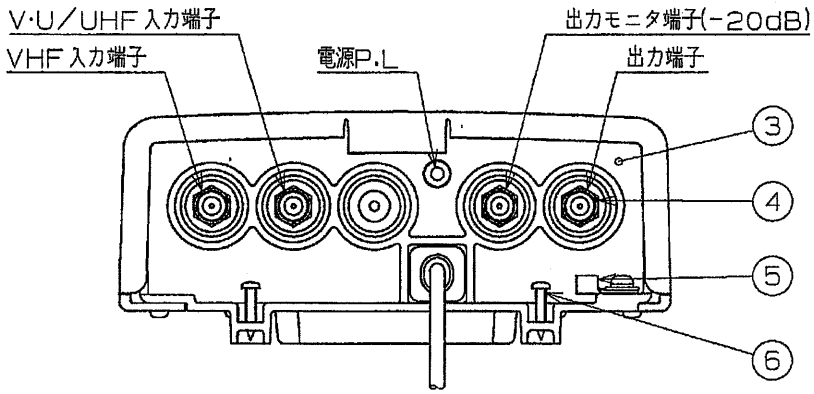
承認	審査	作成

八木アンテナ株式会社

7418178







項目	性能			備考
周波数帯域(MHz)	FM・VHF(L) 76~108	VHF(H) 170~222	UHF 470~770	FMカット スイッチ付
利得 (dB)	30~34	35~39	35~39	
定格出力レベル(dBμ)	110(2波)	110(5波)	110(2波) 101(※1)	
入力アッテネータ (dB)	0、−10	0、−10	0、−10	スイッチ切換
利得調整範囲(dB)	0~−10連続	0~−10連続	0~−10連続	
適正入力レベル範囲(dBμ)	45~80 (100)※2	45~80 (100)※2	45~75 (95)※2	
雑音指数 (dB)	7.0以下			最大利得時
入出力インピーダンス(Ω)	75			
VSWR	2.5以下	2.5以下	3.0以下	
使用温度範囲(℃)	−20~+40			
電源電圧	AC100VまたはAC30V			
消費電力	AC100V…9W AC 30V…10.5VA			
寸法,質量	200X170X72mm, 約1.5Kg			

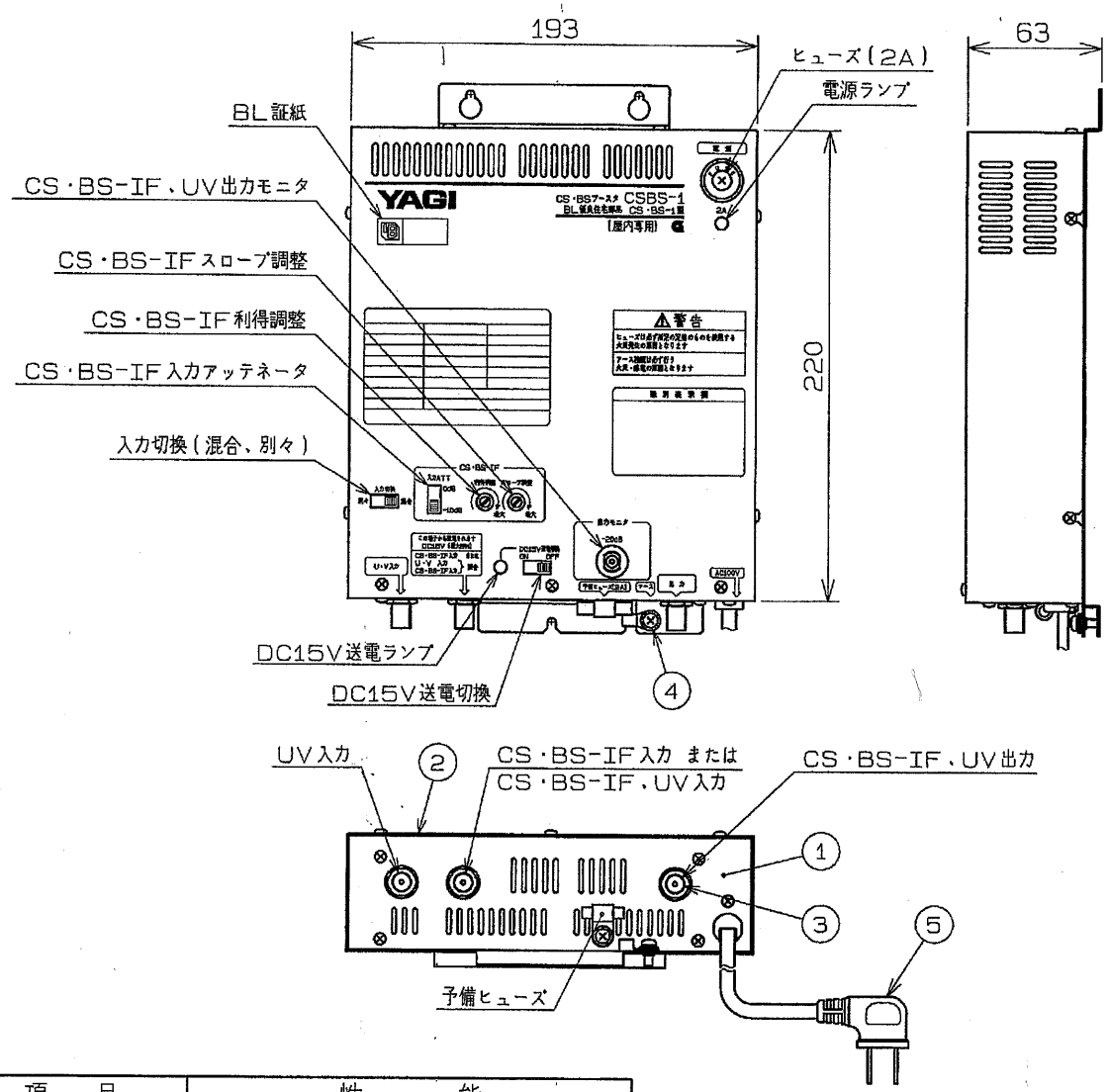
※1. アナログ7波+デジタル9波(デジタル−10dB運用)
※2. ( )内数値は利得調整を最小、ATTを−10dBとした時の値

項番	部品名	数量	材質	処理
8	電源コード	約1.2m		
7	形名銘板	1	合成紙	ラミネート
6	壁面取付ネジ	2	ステンレス	
5	アース端子	1	黄銅	錫メッキ
4	F形接栓座	4	黄銅・他	ニッケルメッキ
3	シャーシ	1	アルミダイカスト	塗装
2	カバー	1	プラスチック	
1	ケース	1	プラスチック	

共同受信用U・V・FMブースタ
WPS38A
外観図および仕様書

承認	審査	作成

八木アンテナ株式会社
7417856



項目	性能	
周波数帯域 (MHz)	FM・VHF・UHF 10~770	CS・BS-IF 1000~2150
最大伝送容量 (dB)	———	TV24
標準入力レベル (dBμ)	———	65
標準利得 (dB)	-4.5(パス)	35/40以上 ※1
定格出力レベル (dBμ)	———	100/105 ※1
入力アッテネータ (dB)	———	0,-10切換
利得調整範囲 (dB)	———	0~-10連続可変
スロープ調整範囲 (dB)	———	-5~-8連続可変 ※2
伝送帯域内周波数特性偏差 (dB)	———	任意の34.5MHz:±1.0以内 全帯域:±2.5以内
雑音指数 (dB)	———	10以下
入出力インピーダンス(Ω)	75	
電圧定在波比	2.5以下	2.5以下
利得安定度 (dB)	———	±3.0以内
相互変調 IM3 (dB)	———	-66以下
ハム変調 (dB)	———	-60以下
出力モニタ (dB)	-20	
耐衝撃波試験	15kV 1.2/50μs	
電源電圧	AC100V±10%(50/60Hz)	
消費電力	8W(DC15V入力送電6W時 15W)	
使用温度範囲 (℃)	-10~+40	
寸法 (mm)	(高さ)220X(幅)193X(奥行)63	
質量 (kg)	約2.0	

※1. 1000/2150MHz

※2. 2150MHzを基準とした1000MHzでの値

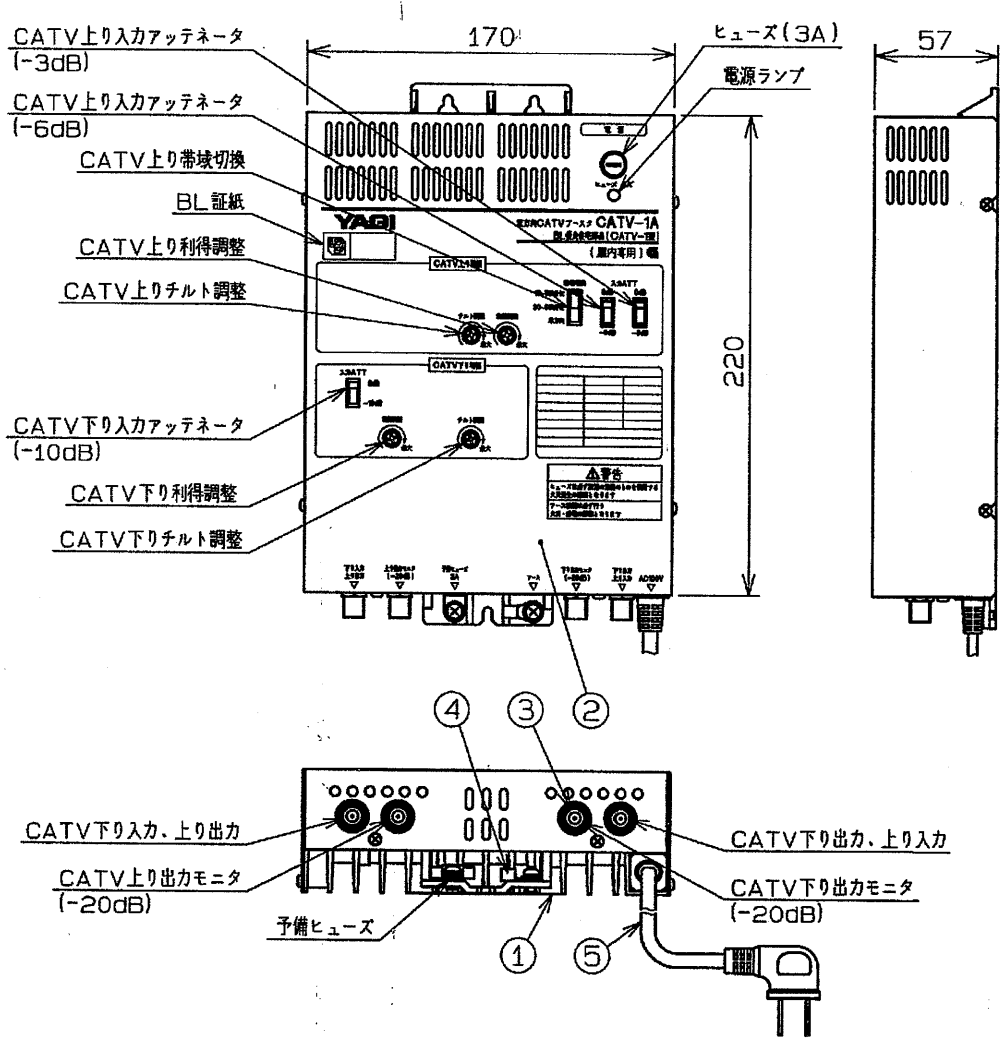
項番	部品名	数量	材質	処理
5	電源コード	約1.2m		
4	圧着端子	1	黄銅	錫メッキ
3	F形接栓座	4	黄銅、他	ニッケルメッキ
2	カバー	1	アルミ板	塗装・シルク印刷
1	本体	1	処理鋼板	

テレビ共同受信機器 CS・BSブースタ
CSBS-1
(BL優良住宅部品 CS・BS-1型)
外観図および仕様書

承認	審査	作成

八木アンテナ株式会社

7417128



項目	性能	
周波数帯域 (MHz)	10~55	70~770
最大伝送容量 (ch)	TV2 DATA	TV74 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ※1
標準入力レベル (dBμ)	75以上	69以上
標準利得 (dB)	30以上	38以上
定格出力レベル (dBμ)	105(2波)	107(74波)
入力アッテネータ (dB)	固定 0,-3,-6,-9	固定 0,-10
利得調整範囲 (dB)	連続可変 0~-10	連続可変 0~-10
チルト特性 (dB)	連続可変 0~-6	連続可変 0~-7
伝送帯域内周波数特性偏差(dB)	全帯域で±1.0以内	全帯域で±2.0以内
雑音指数 (dB)	10以下	
入出力インピーダンス (Ω)	75	
電圧定在波比	2.0以下	
相互変調 IM2 (dB)	-55以下	-63以下
CTB (dB)	-	-60以下 ※2
利得安定度 (dB)	±2.0以内	
ハム変調 (dB)	-60以下	
耐衝撃波試験	15kv 1.2/50μs	
電源電圧	AC100V±10% (50/60Hz)	
消費電力	21W	
使用温度範囲 (℃)	-10~+40	
寸法 (mm)	(高さ)220X(幅)170X(奥行)57	
質量 (kg)	約1.9	

※1. デジタル(550~770MHz)は、-10dB運用

※2. 70~550MHzに適用

項番	部品名	数量	材質	処理
5	電源コード	1		約1.2m
4	アース端子	1	黄銅	錫メッキ
3	F形接栓座	4	黄銅・他	ニッケルメッキ
2	カバー	1	アルミ板	塗装・シルク印刷
1	本体	1	アルミダイカスト	

テレビ共同受信機器 双方向CATVブースタ
CATV-1A
(BL優良住宅部品 CATV-1型)
外観図および仕様書

承認	審査	作成

八木アンテナ株式会社

7416165

12-4-2. TV共聴アンテナ調査報告
取扱い説明書

電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

となります。

◆標準仕様

項目	性能	備考
入力レベル	映像：1Vp-p 75Ω　音声：2.5Vp-p	
出力レベル (dBμ)	85±4	
チャンネル設定	UHF ch13～62のうちの2波	同一、隣接を除く
出力レベル調整 (dB)	0～-15(連続)	
スプリアス (dB)	-60以下	90～770MHzにて
DG(%)／DP (°)	10／10以下	
FV－FA比 (dB)	-15±2	
音声歪み (%)	3以下	1KHz
コネクタ	映像・音声：RCA　・　RF：F-R	
電源電圧 (V)	AC100±10%(50／60Hz)	
消費電力 (W)	6	
使用温度範囲 (℃)	0～40	
寸法 (㎜)	(高さ)40×(幅)210×(奥行)170	
質量 (kg)	約1.3	

● この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

3GBG249C0-05.02

YAGI
保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

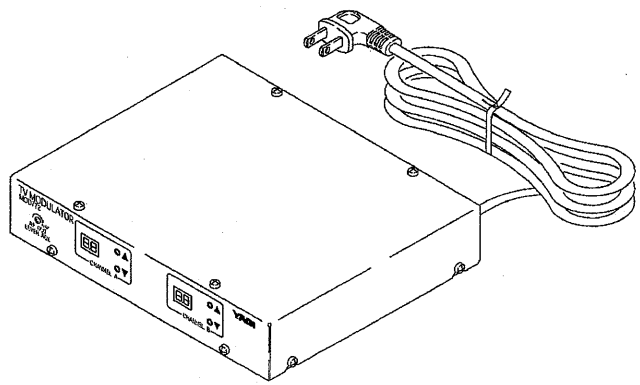
製品名	MOD772	
お客様	ご住所	〒
	お名前	様
	電話	(　　)
お買い上げ年月日		年　月　日
販売店		
住所		印
店名		
	電話	(　　)

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406

テレビ変調器 UHF ch13～62
MOD772（屋内専用）

お買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあと、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」は大切に保存し、必要なときまたお読みください。

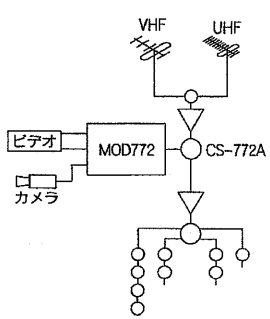
◆外　観



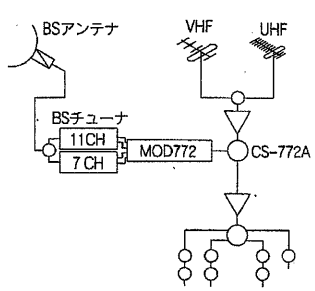
◆特　長

- 館内に簡単に自主放送や衛星放送を送ることができます。
- 出力するチャンネルはUHFのch13～62で、簡単に設定することができます。
- 1台で2チャンネル分の変調器が組込まれたコンパクト設計です。
- 入力信号はビデオ、DVD、ビデオカメラ信号等の入力ができます。

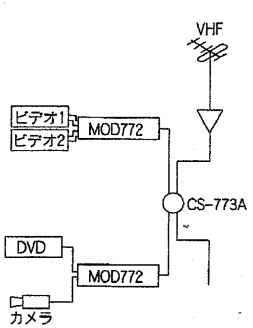
1．マンション、ビル共同受信例
（自主番組、CCTV伝送）



2．マンション、ビル共同受信例
（BS番組伝送）



3．ホテル館内サービス放送例

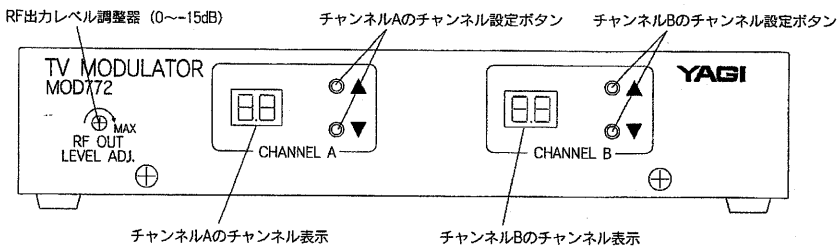


八木アンテナ株式会社

◆使用上のご注意

- 本器のチャンネル設定は既在チャンネルと隣接とならない様にしてください。
- A, Bチャンネルを隣接チャンネルとして設定することはできません。
  例．チャンネルAをch35に設定してあるとき、チャンネルBを操作するとch34とch36をスキップします。
- 映像・音声信号の有無にかかわらずRF信号は出力されます。どちらか片方のチャンネルでご使用の場合、使用しないチャンネルはシステムに障害をあたえないチャンネルに設定してください。
- 変調後の音声出力はモノラルです。ステレオ入力のときは、左右の合成された音声が出力されます。
- 本器は電源プラグをACコンセントに差し込むことにより電源が供給されます。電源の供給を遮断する時は、電源プラグをACコンセントから抜いてください。
- RF出力レベル調整器を無理に回したり、チャンネル設定ボタンを無理に押したりしないでください。機器の破損の原因になります。

◆各部の名称

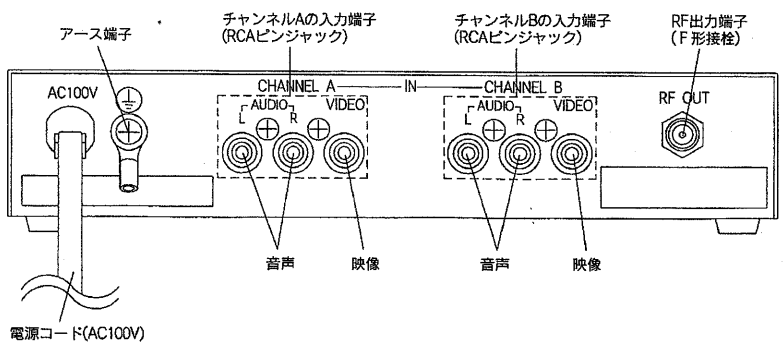


●RF出力レベル調整器の使用方法

出力レベル調整器を回す事によりRF出力レベルを調整できます。
時計方向へ回すと　RF出力レベルが上がります。
反時計方向へ回すと　RF出力レベルが下がります。

●チャンネル設定ボタンの使用方法

“▲”ボタンを押すとチャンネルが上がります。
“▼”ボタンを押すとチャンネルが下がります。
押し続けるとチャンネルが早送りになります。
又、チャンネル設定ch13で“▼”ボタンを押すとch62へ、ch62で“▲”ボタンを押すとch13へスキップします。



⚠警告

- 故障の原因や感電の原因となることがありますのでアース接続は必ず行ってください。

⚠注意

- アース端子の取り付けには、備え付けのネジを必ずご使用ください。備え付けのネジより長いものを使用すると本体内部の部品に接触し、機器の破損の原因になります。

ご注意

- F形接栓は2～3N·m(約20～30kgf·cm)のトルクで締め付けてください。

⚠注意

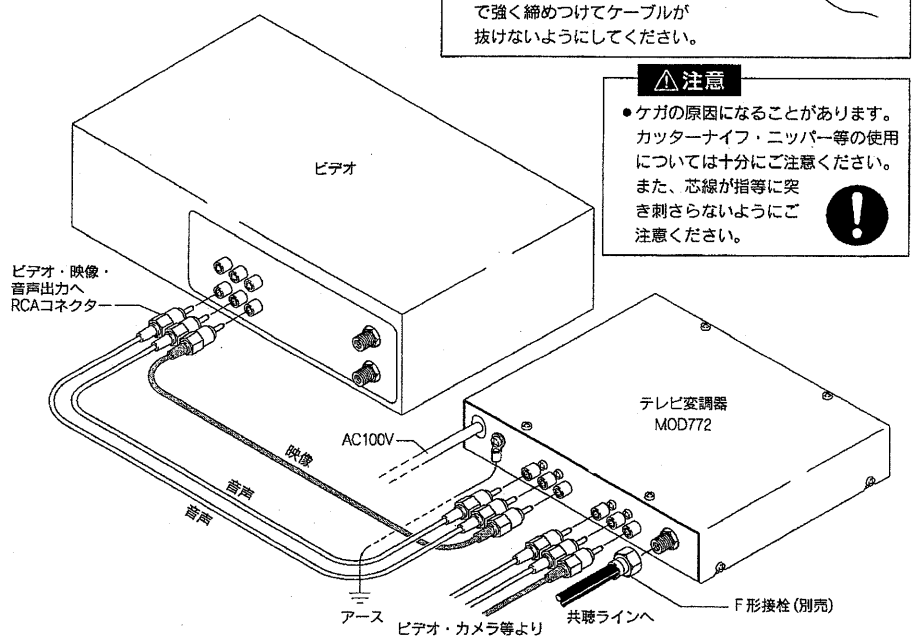
- 電源の供給はすべての配線が終了してから行ってください。火災・感電・機器の破損の原因になります。

◆接続方法

⚠警告

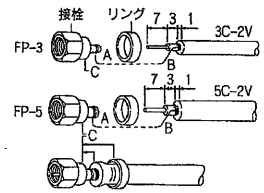
- 本器は次のような場所に設置しないでください。
  火災・感電・ケガの原因になります。
  - ○水・その他の液体がかかりやすい所
  - ○湿気やホコリの多い所
  - ○高温になる所
  - ○直射日光にさらされる所
  - ○落下の恐れのある所
  - ○ぐらついた台の上や傾いた所
  - ○踏み付けたり蹴飛ばしたりする恐れのある所
  - ○ペットなどの小動物が近づく所
  - ○乳幼児の手のとどく所
  - ○押入れや天井裏などの見えない所

- 下図のように映像・音声を接続します。

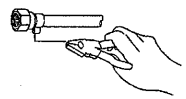


◆F形接栓加工方法(単位：mm)

①ケーブルの種類と接栓の種類を合せてください。
②ケーブルを図のように加工してください。
③リングにケーブルを通してください。



④接栓のA部分をB部分の絶縁物と外被導体の間に回しながらC部分まで押込んでください。



⑤リングと外被を一緒にペンチで強く締めつけてケーブルが抜けないようにしてください。

⚠注意

- ケガの原因になることがあります。カッターナイフ・ニッパー等の使用については十分にご注意ください。また、芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。

＜無料修理規定＞

1．お買い上げの日から1年間、取扱説明書、製品自体に表示した注意書きなどに従った正常な使用状態において、万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2．無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または直接弊社にお申しつけください。
3．ご転居やご贈答品などで、本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、直接弊社にご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料とさせていただきます。
(イ)施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
(ニ)車両および船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
(ホ)本書のご提示がない場合。
(ヘ)本書の、お買い上げ年月日、お客様、販売店の各欄に記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
※ This warranty is valid only in Japan.

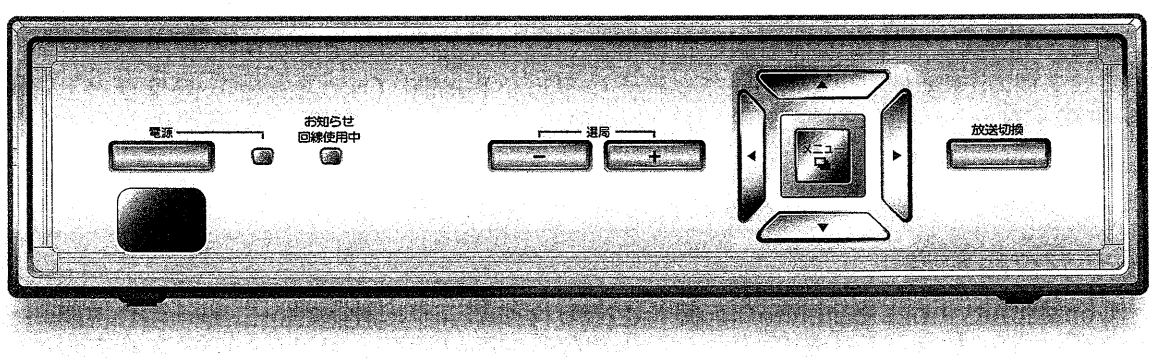
故障内容：機器改良にも役立ちますので必ずご記入ください。

YAGI

取扱説明書

地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョンチューナ

DTC110



HDMI™ HDMI, HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは
HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

お買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。
- ご使用の前に接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

12-4-3. TV共聴アンテナ調査報告
アナログ・デジタル・BS

成績表

地上アナログ受信状況表(事前)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日 2009/7/1	天候	曇り雨	測定会社	東和防水工業株式会社

A . アナログ電波受信状況

アンテナ設置箇所	伊島住宅 1号棟	電波到来方向の確認	岡山局

	TV局		NHK-E	NHK-G	RNC	RSK	衛星第一	衛星第二	TSC	KSB	OHK		備考
	物理チャンネル		3	5	9	11	15	17	23	25	35		
各棟での受信状況	屋上増幅器	端子電圧	96.9	92.0	95.3	93.9	88.1	90.2	97.9	100.0	97.8		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	1号棟増幅器	端子電圧	98.7	109.5	111.1	107.6	101.8	103.9	106.2	108.0	106.1		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	90.4	100.5	105.4	100.0	96.8	98.9	99.4	101.9	98.5		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	89.2	102.8	103.6	99.8	93.8	95.8	98.3	100.5	98.0		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	89.4	99.6	104.2	99.2	95.7	97.5	98.5	100.2	97.4		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅰ-102	端子電圧	68.4	75.9	73.3	70.6	69.6	67.9	67.4	68.5	68.2		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-103	端子電圧	64.2	74.7	71.6	68.4	66.5	65.9	65.1	67.4	64.4		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-106	端子電圧	67.8	78.5	74.7	70.5	71.9	71.1	68.6	71.0	67.6		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-202	端子電圧	64.6	79.5	75.8	71.7	69.6	68.3	66.7	70.0	64.4		
		総合評価	3	3	3+	3+	3-	3-	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3-N3-	G3-N3-	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		

妨害種別 G：ゴースト N：スノーノイズ P：パルスノイズ B：ビート障害 F：フラッター障

特記事項

成績表

地上アナログ受信状況表(事後)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日 2009/8/5	天候	晴れ	測定会社	東和防水工業株式会社

A . アナログ電波受信状況

アンテナ設置箇所	伊島住宅 1号棟	電波到来方向の確認	岡山局

	TV局		NHK-E	NHK-G	RNC	RSK	衛星第一	衛星第二	TSC	KSB	OHK		備考
	物理チャンネル		3	5	9	11	15	17	23	25	35		
各棟での受信状況	屋上増幅器	端子電圧	95.0	97.0	95.7	94.4	96.4	94.9	99.6	100.0	98.1		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	1号棟増幅器	端子電圧	97.2	108.6	108.8	105.0	101.5	103.3	105.4	107.1	105.2		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	89.2	105.2	104.5	100.5	99.6	99.6	102.1	104.9	98.0		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	93.2	103.1	105.2	100.1	96.3	96.5	100.4	99.7	95.9		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	89.7	103.3	101.9	98.1	99.0	98.5	98.5	101.2	95.2		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅰ-102	端子電圧	65.9	78.1	76.6	74.1	66.8	68.7	70.0	71.3	70.1		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-103	端子電圧	64.3	76.0	74.5	72.1	62.6	65.2	65.7	67.3	63.7		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-106	端子電圧	65.4	78.1	76.5	74.4	67.8	69.7	70.7	71.7	67.5		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		
	Ⅱ-202	端子電圧	58.3	74.6	73.4	71.1	68.5	65.2	70.5	67.6	64.6		
		総合評価	3	3	3+	3+	3+	3+	3+	3+	3+		
		妨害別評価	G3N3	G3N3	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+	G3+N3+		

妨害種別	G：ゴースト N：スノーノイズ P：パルスノイズ B：ビート障害 F：フラッター障
特記事項	

成績表

地上デジタル受信状況表(事前)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日 2009/7/1	天候	曇り雨	測定会社	東和防水工業株式会社

A . デジタル電波受信状況(各棟)

アンテナ設置箇所	伊島住宅 1号棟	電波到来方向の確認	岡山局

	TV局		TSC	RNC	RSK	OHK	KSB	NHK-G	NHK-E				備考
	物理チャンネル		18	20	21	27	30	32	45				
	TV局チャンネル		7	4	6	8	5	1	2				
各棟での受信状況	屋上増幅器	端子電圧	84.7	85.0	85.1	83.9	88.7	84.2	87.6				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	1号棟増幅器	端子電圧	92.9	92.0	92.6	93.1	97.6	93.2	93.6				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	87.3	86.2	86.5	89.1	92.1	86.3	83.0				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	84.4	84.0	84.9	86.4	90.8	85.2	83.9				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	83.6	84.5	86.2	84.2	90.7	85.4	84.4				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	I-102	端子電圧	55.0	54.0	54.5	54.0	58.2	53.4	55.7				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-103	端子電圧	51.8	51.5	51.7	53.2	56.9	51.2	51.1				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-106	端子電圧	56.8	55.4	55.7	58.0	60.3	54.3	52.1				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-202	端子電圧	54.5	53.3	53.9	55.1	57.7	51.9	49.9				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											

妨害種別評	G:ゴースト N:スノーノイズ P:パルスノイズ B:ビート障害 F:フラッター障害
特記事項	

成績表

地上デジタル受信状況表(事後)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日 2009/8/5	天候	晴れ	測定会社	東和防水工業株式会社

A . デジタル電波受信状況(各棟)

アンテナ設置箇所	伊島住宅 1号棟	電波到来方向の確認	岡山局

	TV局		TSC	RNC	RSK	OHK	KSB	NHK-G	NHK-E				備考
	物理チャンネル		18	20	21	27	30	32	45				
	TV局チャンネル		7	4	6	8	5	1	2				
各棟での受信状況	屋上増幅器	端子電圧	87.0	86.2	85.9	85.4	89.5	85.6	89.5				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	1号棟増幅器	端子電圧	92.9	92.0	92.7	93.4	98.1	93.5	94.5				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	86.5	86.0	87.2	92.5	96.2	86.1	88.0				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	83.6	84.5	86.2	84.2	91.7	85.4	84.4				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	85.9	83.9	85.4	90.6	91.4	84.5	85.7				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	I-102	端子電圧	57.0	56.3	56.9	56.6	61.1	56.5	56.5				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-103	端子電圧	53.8	52.0	52.6	52.3	56.8	51.2	50.2				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-106	端子電圧	58.0	56.9	57.8	57.3	61.8	55.5	53.1				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
	II-202	端子電圧	57.0	56.8	58.0	58.4	59.3	54.1	53.9				
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0				
		MER	>27	>27	>27	>27	>27	>27	>27				
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
妨害種別評	G:ゴースト N:スノーノイズ P:パルスノイズ B:ビート障害 F:フラッター障害												
特記事項													

成績表

地上デジタル受信状況表(事前)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日　2009/7/1	天候	曇り雨	測定会社	東和防水工業 株式会社

A　.　デジタル電波受信状況(各棟)

アンテナ設置箇所	伊島住宅　1号棟	電波到来方向の確認	衛星放送

	TV局												
	物理チャンネル		BS1	BS3	BS5	BS7	BS9	BS11	BS13	BS15			備考
各棟での受信状況	1号棟増幅器	端子電圧	101.1	102.1	101.6	102.7	99.1	100.6	98.4	97.4			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	98.0	95.9	95.5	93.1	91.8	91.0	89.2	88.6			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	93.6	92.3	90.8	90.2	90.4	93.1	88.8	84.2			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	92.4	91.2	89.9	92.1	90.8	92.1	87.8	83.2			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	I-102	端子電圧	62.8	62.6	62.8	62.2	59.4	58.5	56.1	55.0			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-103	端子電圧	54.2	52.3	54.3	53.0	51.9	46.0	44.0	43.2			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-106	端子電圧	63.5	61.6	62.4	59.4	57.0	53.6	52.1	51.1			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-202	端子電圧	65.3	63.7	64.4	63.1	60.1	56.8	53.1	51.9			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
妨害種別記	G：ゴースト　N：スノーノイズ　P：パルスノイズ　B：ビート障害　F：フラッター障害												
特記事項													

成績表

地上デジタル受信状況表(事後)

施設名	伊島宿舎修繕工事	調査日 2009/8/5	天候	晴れ	測定会社	東和防水工業株式会社

A . デジタル電波受信状況(各棟)

アンテナ設置箇所	伊島住宅 1号棟	電波到来方向の確認	衛星放送

	TV局												
	物理チャンネル		BS1	BS3	BS5	BS7	BS9	BS11	BS13	BS15			備考
各棟での受信状況	1号棟増幅器	端子電圧	104.2	104.2	105.3	104.4	104.0	103.4	103.5	102.6			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(東側)	端子電圧	102.3	101.2	102.9	103.5	101.5	99.3	96.2	92.5			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(中央)	端子電圧	103.3	97.4	100.2	103.0	102.2	100.8	100.0	97.9			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	2号棟増幅器(西側)	端子電圧	101.1	102.3	102.3	101.6	99.9	99.1	96.5	93.2			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	I-102	端子電圧	63.3	63.2	63.0	63.6	61.6	62.2	60.8	60.3			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-103	端子電圧	62.1	60.0	62.1	62.3	60.3	59.9	56.4	55.3			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-106	端子電圧	67.2	67.2	65.5	65.3	64.2	63.6	60.6	57.6			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
	II-202	端子電圧	71.7	71.9	70.9	70.4	68.7	69.6	64.5	63.1			
		BER	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0	0.0E+0			
		MER	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25	>25			
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											
		端子電圧											
		BER											
		MER											

妨害種別記	G:ゴースト N:スノーノイズ P:パルスノイズ B:ビート障害 F:フラッター障害
特記事項	

13. 打合議事録

工事打合簿

工事変更指示書

13-1. 打合議事録

伊島宿舎修繕工事　打合議事録 [redacted]

番号	日　付	件　　名	内　　容	頁
1	5月1日	パラボラアンテナの脱着について	2-304　パラボラアンテナを設置したまま施工してほしい	
2	5月14日	衛生放送の受信不良について	2-304　衛生放送が受診できない件の対応	
3	5月19日	労働安全衛生法施行規則(足場等関係)の資料	左記資料を配付する。施工中の足場について適正に対応すること	
4	5月28日	出窓上の鳥の糞害について	2-306　出窓上の鳩よけ対策について	
5	6月19日	不要荷物について	1-101　不要品の処理をしてほしい	
6	6月20日	入居者所有車への塗料飛散について	2-101、2-201の車への塗料飛散の対応、2-305植木鉢破損の対応	
7	7月6日	エアコン室外機破損について	2-305室外機破損の対応	
8	7月8日	玄関扉・枠塗装工事について	2-201、304玄関の塗装は休日に施工してほしい	
9	7月9日	工程会議の内容について	照明取付面の塗装・撤去品の保管・機能使用について	
10	7月17日	バルコニー物干金物取付工事について	2-303物干金物取付時間の確認	
11	7月31日	工程会議の内容について	水道量水器交換時の検針値管理を行うこと	
12	8月1日	2-306、303の手直しについて	2-306エアコンパイプのパテ、玄関扉、2-303網戸調査手直し	
13	8月5日	2-306エアコン室外機の件	室外機に足跡がついていることへの対応	
14	8月12日	2-305、303の件	2-305エアコンが効かない件、2-303光ケーブル固定の件への対応	
15	8月14日	2-303の件	光ケーブル固定に関する対応	
16	8月17日	2-303の件	光ケーブル固定に関する施工業者との打合せ	
17	8月19日	2-201の件	エアコン送風口からの漏水、テレビが一部映らなくなったことへの対応	
18	8月22日	2-201の件	テレビが一部映らなくなったことへの対応	
19	9月1日	2-203、205、305の件	2-203ベランダ水槽移動・2-205エアコン配管パテ、ドレンホース補修・2-305エアコン配管パテ補修の対応	
20	9月8日	2-205の件	ベランダ掃出しサッシのガタつき、建具気密ゴム、ガラス押えビードに関する対応	

13-2. 工事打合簿

伊島宿舎修繕工事　工事打合簿 [redacted]

番号	日　付	件　　名	内　　容	頁
1	4月7日	工事着手における注意事項及び連絡事項	監督体制・監督強化・入居住民、地元住民との良好な関係・現場事務所等の貸与・仮設足場・提出書類の様式	
2	4月13日	仮設足場施工方法について	転落防止の措置等	
3	4月20日	総合施工計画に関する打合せ	総合施工計画の内容・今後のスケジュール・その他	
4	4月20日	総合施工計画に関する打合せ	仮設足場の位置出し等	
5	4月24日	仮設足場施工位置についての取決め事項	説明会の日程等、代替駐車場について	
6	4月27日	入居者車両の代替駐車場について	駐車場の確保について	
7	4月30日	住民説明会の内容、取決め事項	駐車場、駐輪場、パラボラアンテナ、週間工程等の回覧、問合せ先等の取決め事項	
8	5月8日	仮設計画についての打合せ	仮設計画・施工内容・工程会議について	
9	5月11日	仮設計画についての打合せ	水道量水器事前数量(2-103、104)・自治会費について	
10	5月11日	施工内容についての打合せ	2号棟南側舗装・2号棟東側舗装・カーブミラー設置位置・受水槽のステンレスラッキング・受水槽の電気BOX・高架水槽補修部位・網戸の破れ・外壁のパターン施工・駐車場舗装・インターロッキング補修部位・玄関扉の塗替・ガス警報器について	
11	5月14日	外壁の塗装パターンについての打合せ	外壁の塗装パターンの決定	
12	5月21日	現場安全パトロールの是正及び報告について	指示事項について是正・報告を行うこと	
13	5月22日	高架水槽ラッキング補修部位について	補修方法の決定	
14	5月22日	入居者に対する案内文書送付について	入居者に対する案内文書送付について	
15	5月26日	外壁等の色決めについて	屋上防水・バルコニー床・階段の色決定 外壁・高架水槽は後日決定	
16	5月28日	外壁等の色決めについて	外壁・高架水槽決定・手摺パネル塗装色は後日決定	
17	5月28日	仮設計画について	水道量水器事前数量(1-102)	
18	5月28日	工程会議の内容について	調査報告書・クラック注入の注意書・階段室踊り場床の工法変更・南面の外壁調査・屋上仮置き中の撤去資材・外壁シーリングの照査報告書・安全訓練報告書について	
19	5月29日	階段室躯体浮き部補修工法について	補修工法の変更	
20	6月2日	外壁等の色決めについて	手摺パネル・屋上・パルコニーの色決定	
21	6月4日	工程会議の内容について	高架水槽塗装・階段室シーリング・仮設足場解体・カラーベスト積載、安全訓練・朝礼等の指示事項	
22	6月11日	工程会議の内容について	避難ハッチ取替時・鳩小屋コア抜・勾配屋根の補修・高架水槽清掃業者・浴室改修業者・2号棟西側案内看板・出窓上部のクラック・火災報知器に関する指示事項	
23	6月15日	1号棟屋上補修及び1・2号棟勾配屋根について	1号棟屋上補修、1・2号棟勾配屋根仕様変更	

番号	日 付	件　　名	内　　容	項
24	6月15日	階段巾木・手摺等の塗装について	階段巾木・手摺・自転車置場のモルタル面台の塗装色変更	
25	6月18日	その他の色決定	鉄部塗装色・玄関扉、新聞受塗装・手摺パネル取替についての指示事項	
26	6月18日	工程会議の内容について	アルミサッシ洗浄・南面物干金物・外壁、軒裏塗装・屋上シングル葺きの指示・確認事項	
27	6月19日	避難ハッチ取替に関する事項	避難ハッチと自転車置場干渉の対策・避難ハッチ設置場所のシール貼付についての提案	
28	6月25日	工程会議の内容について	他業者との調整・物干金物の清掃についての指示事項	
29	6月27日	屋上床防水トップコート色について	屋上防水トップコートの色変更	
30	6月29日	消防用設備等設置届出書について	消防設備等設置届出書の手続き指示	
31	7月6日	バルコニードレンキャップについて	ドレンキャップ塗装、防水・2号棟低層棟のE-2照明についての指示事項	
32	7月8日	バルコニー物干金物について	物干金物全数取替え指示	
33	7月9日	2号棟自転車置場内倉庫SDの塗装について	自転車置場内倉庫SDの塗装・北バルコニーガス管塗装・自転車置き場網入りガラス交換指示	
34	7月13日	階段室床シート納まりについて	階段室塩ビシートの納まり確認	
35	7月14日	バルコニー隔板について	隔板枠塗装を美装に変更	
36	7月16日	工程会議の内容について	北面バルコニー物干金物取付指示	
37	7月21日	バルコニー隔板ビート取替について	2号棟北面3階のビートが入らない部分についてシーリングで施工する。	
38	7月23日	工程会議の内容について	2号棟303号室バルコニーの漏水対策・カーブミラーの塗装指示	
39	7月27日	出窓天板・底板塗装について	出窓塗装色の決定	
40	7月31日	1・2号棟機能使用検査	1・2号棟機能使用検査	
41	8月6日	工程会議の内容について	1,2号棟換気口の補修・1号棟換気塔ガラリ下の補修・自転車置場戸当たりゴムの交換について	
42	8月7日	網戸戸車について	網戸戸車全数取替指示、サッシ戸車取替数量等変更指示	
43	8月13日	1・2号棟屋上換気塔の塗装について	換気塔塗装仕様の変更・エアコン室外機穴埋めパテの補修指示	
44	8月17日	2号棟南面外壁補修について	2号棟南面外壁補修・屋根シングル仕舞・外壁化粧目地、水切目地についての指示	
45	8月18日	2号棟南面外壁　露筋部・コールドジョイント部補修工程について	補修仕様・工法の確認	
46	8月26日	受水槽配管の漏水について	漏水箇所の補修指示	
47	8月27日	2号棟自転車置場庇防水及び樋納まり	水切金物変更・樋の放流先等指示	
48	8月28日	追加工事についての打合せ	石垣・植栽・ネットフェンス・車止め等の撤去、アスファルト舗装等の変更指示	

13-3. 工事変更指示書

伊島宿舎修繕工事　工事変更指示書　目次

番号	日　付	件　　名	内　　容	頁
1	4月30日	代替駐車場の追加	5月7日～9月末日まで代替駐車場を確保すること	
2	5月13日	屋外付帯工事の変更	2号棟南側アスファルト舗装の排水勾配確保に伴う変更	
3	5月28日	防水改修工事の変更	庇ウレタン樹脂防水改修について、勾配部をシングル葺きに変更	
4	6月1日	下地処理工事の変更	階段室踊場及び躯体浮き部の工法変更	
5	6月22日	雑改修工事、下地処理工事、電気設備工事等の変更	2号棟西側案内板の撤去、出窓上部のクラック処理工法変更、火災報知器数量等の変更	
6	7月17日	電気設備工事、雑改修工事の変更	2号棟E-2照明の追加、物干金物の新設・移設等の追加、自転車置き場網入りガラス交換等の追加	
7	8月10日	雑改修工事の変更	1,2号棟換気口他成型補修を追加	
8	8月10日	雑改修工事の変更	網戸戸車全数交換を追加、アルミサッシ戸車材料の変更	
9	9月1日	外構工事の変更	植栽撤去・石垣撤去・ネットフェンス撤去・アスファルト舗装変更等の追加	
10	9月4日	外構工事、下地処理工事、駐車場借上げ費の変更	グレーチング設置・駐車場区画線・インターロッキング嵩上げ補修・駐車場借上げ費の変更・追加	

様式-５

工事変更指示書

No. 1

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 4 月 30 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

代替駐車場　の追加
5月7日より、代替駐車場を9台分確保し、入居者駐車場として供与することを追加する。（予定時期5月7日～9月末日）

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
代替駐車場賃貸料	式	1	
(5月7日～9月30日、147日間)			

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

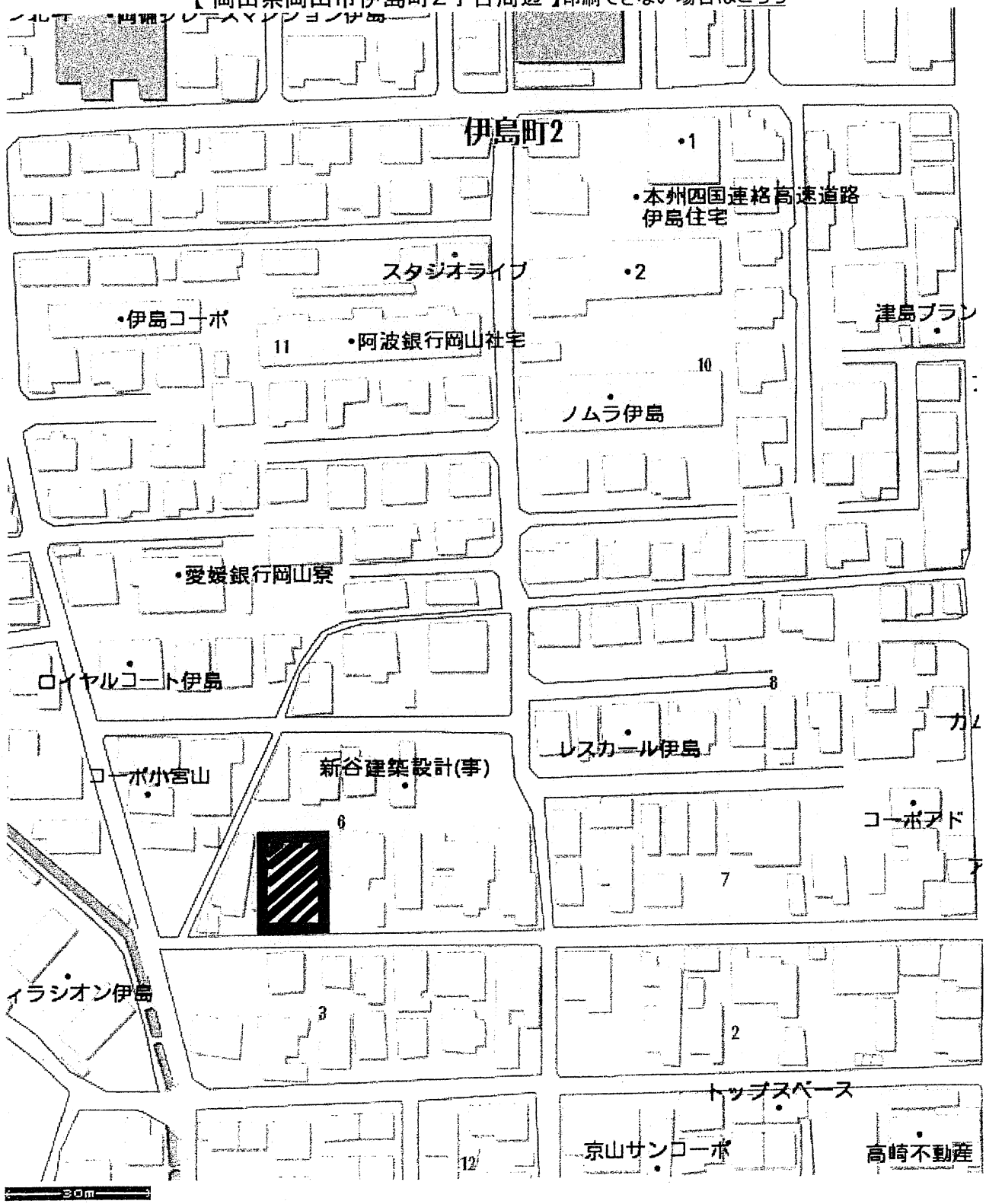
上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成 21 年 4 月 30 日

東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

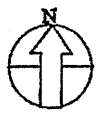
入居者用仮駐車場

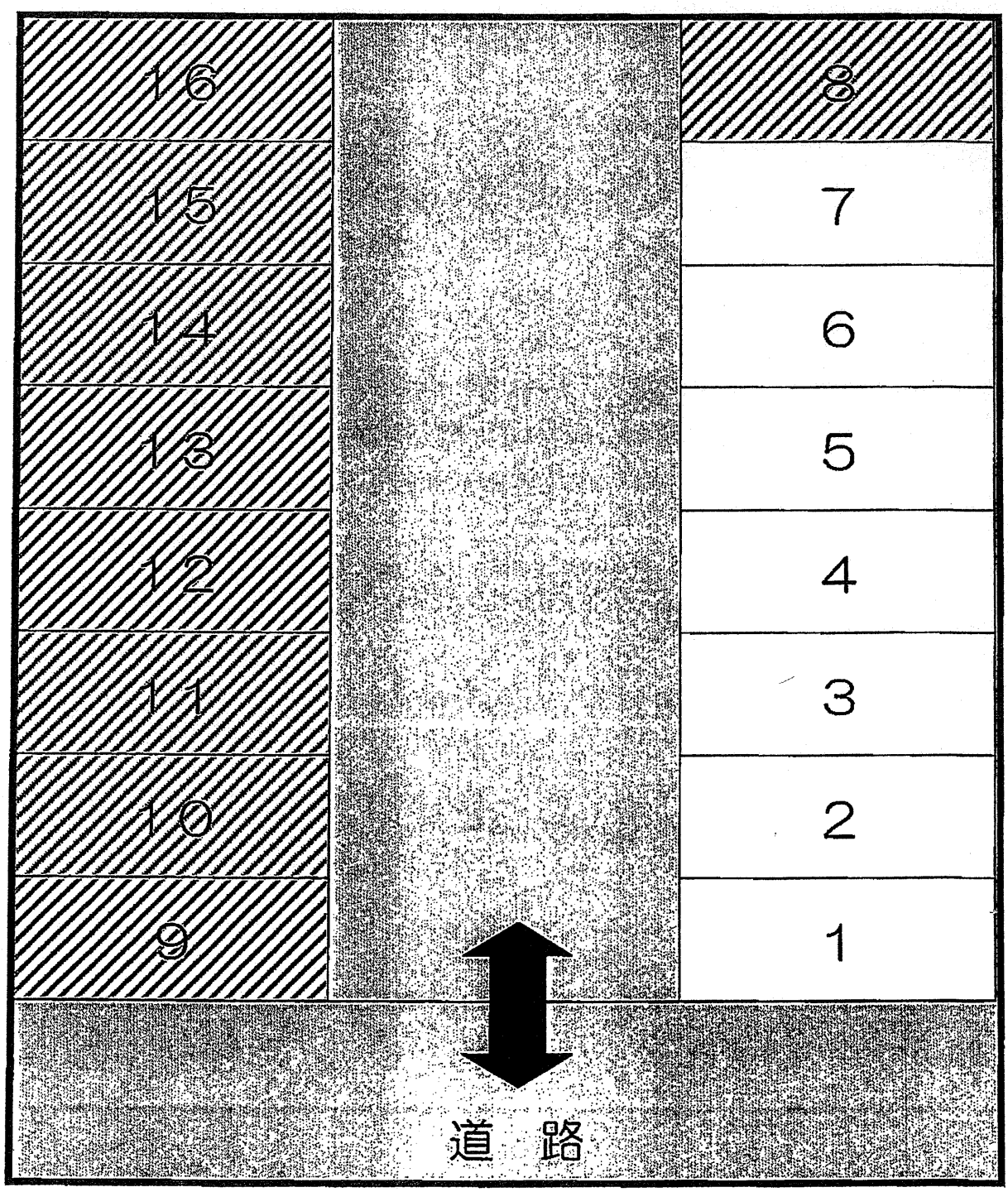
【岡山県岡山市伊島町2丁目周辺】印刷できない場合はこちら



伊島町二丁目パーキング

岡山市北区伊島町二丁目1217番1他





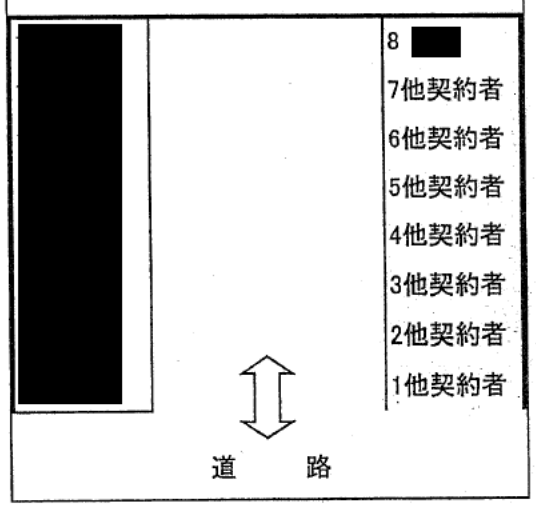
伊島住宅　工事に伴う駐車場配置計画

会長 [redacted]
副会長
会計
監査

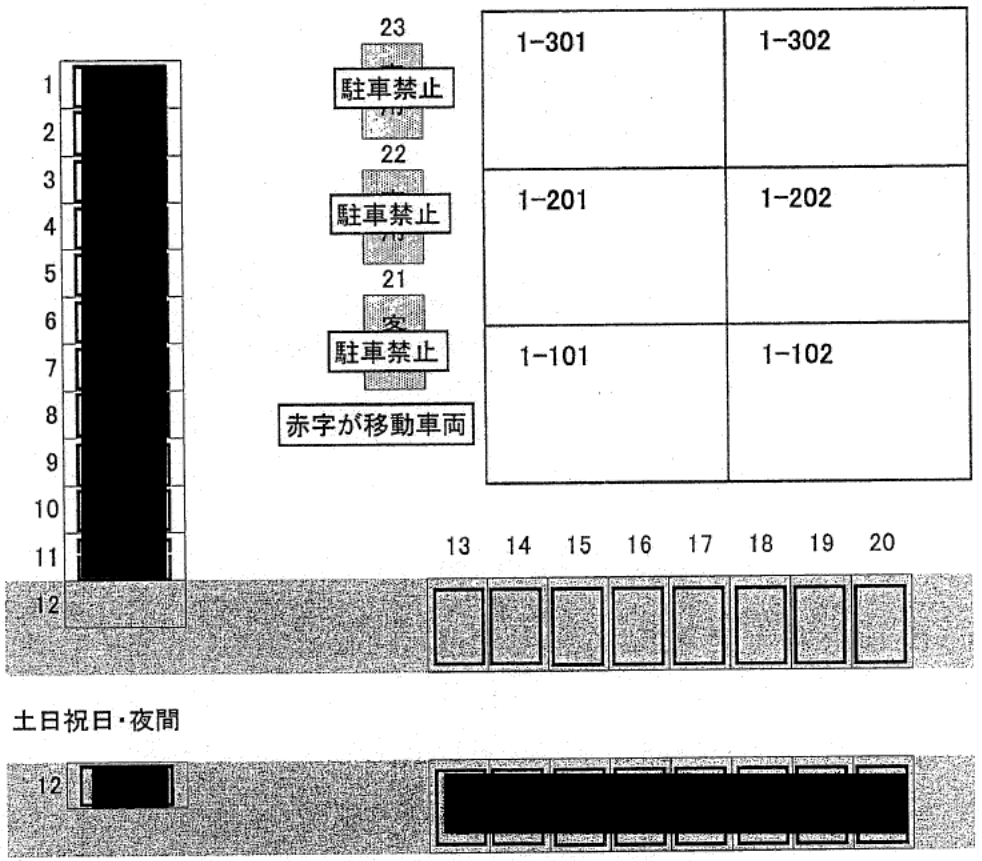
南側
24
25

駐車場移動の基本的考え方
①2台保有者は1台を臨時駐車場に移動
（[redacted]
②時間が少なく皆で一斉に移動する時間がないため
縦駐車場の配列はさわらない。
③土日夜間時は駐車可能。
但し、足場等あるため、狭いと思われます。
その際は、右に表すとおり

伊島二丁目パーキング
※番号は駐車場番号

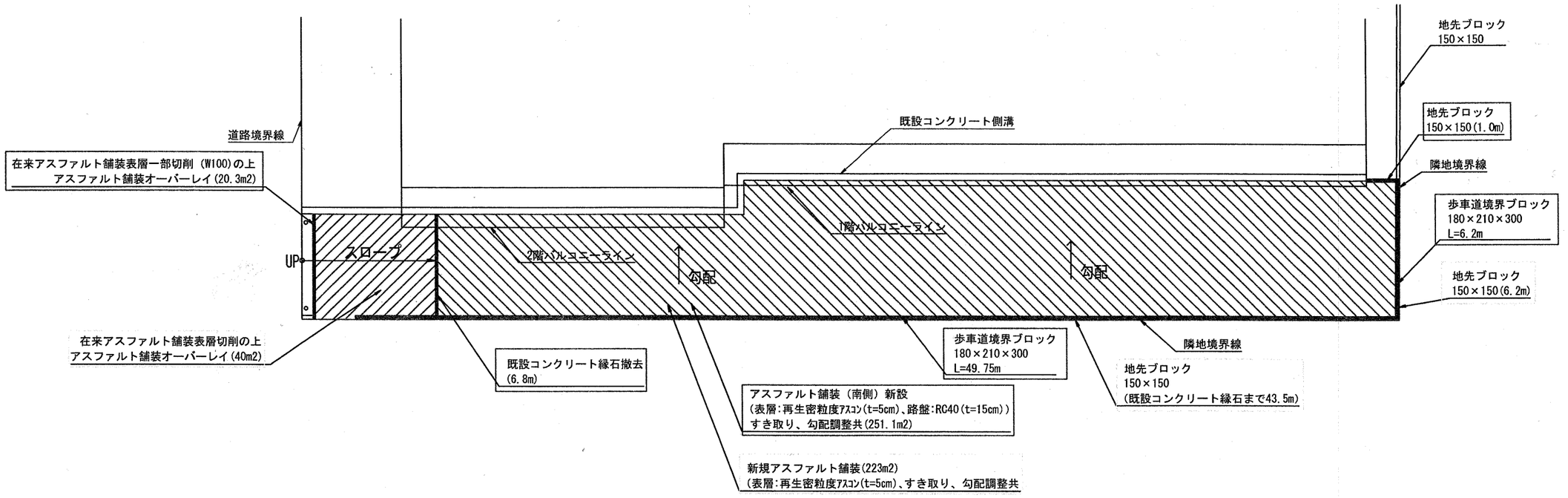


1号棟　H20.4.1

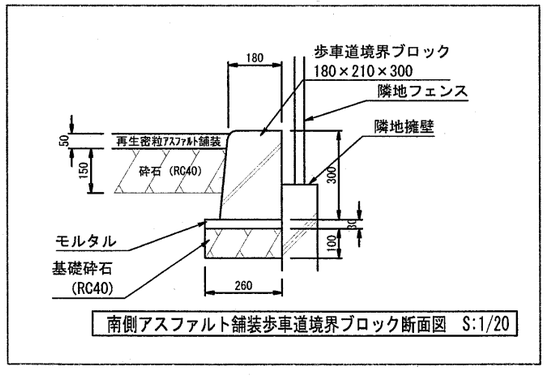


当面の予定期間：　5／11（月）～7月末日予定

GWもあり、差し迫ってのご連絡ですが、車両の移動を10日（日）中に終えてください。



南側アスファルト舗装平面図　S:1/200



南側アスファルト舗装歩車道境界ブロック断面図　S:1/20

様式-５

工事変更指示書

No. 3

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 5 月 28 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

防水改修工事　の変更
　庇ウレタン樹脂防水改修について、勾配部の防水をアスファルトシングル葺きに変更する。

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
庇ウレタン樹脂防水改修			
ウレタン塗膜防水密着工法	式	△ 1	
アスファルトシングル葺き工法	式	1	

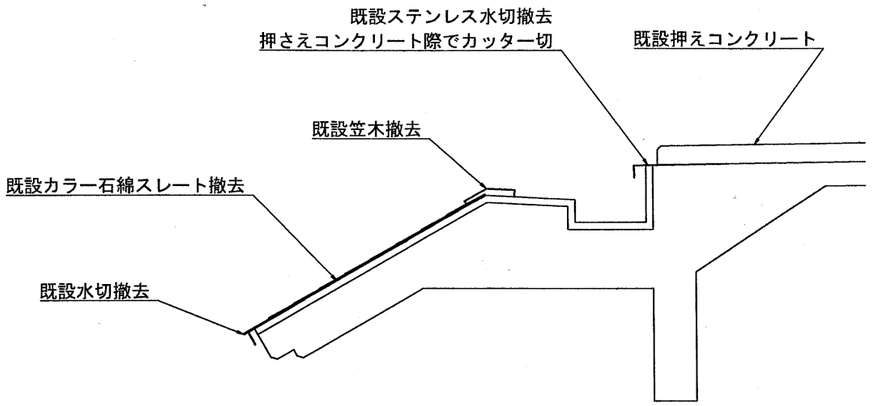
３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

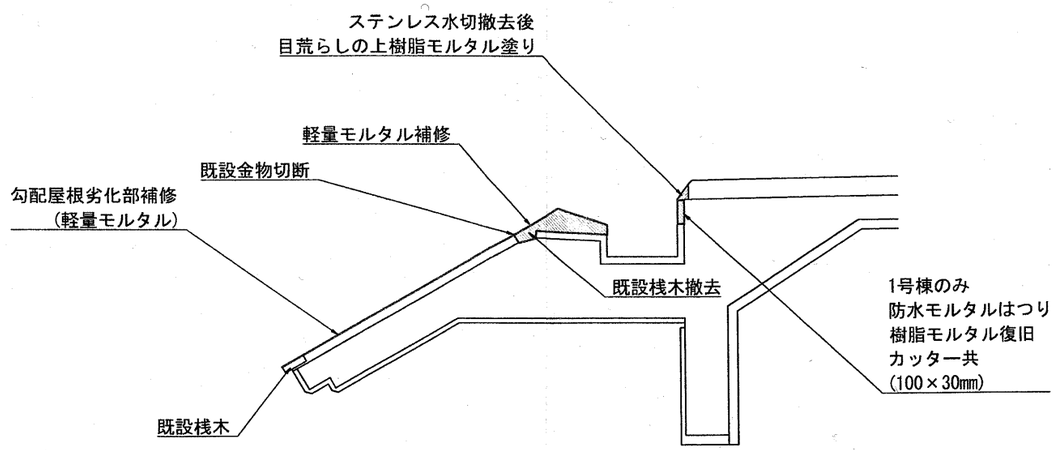
上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成 21 年 5 月 28 日

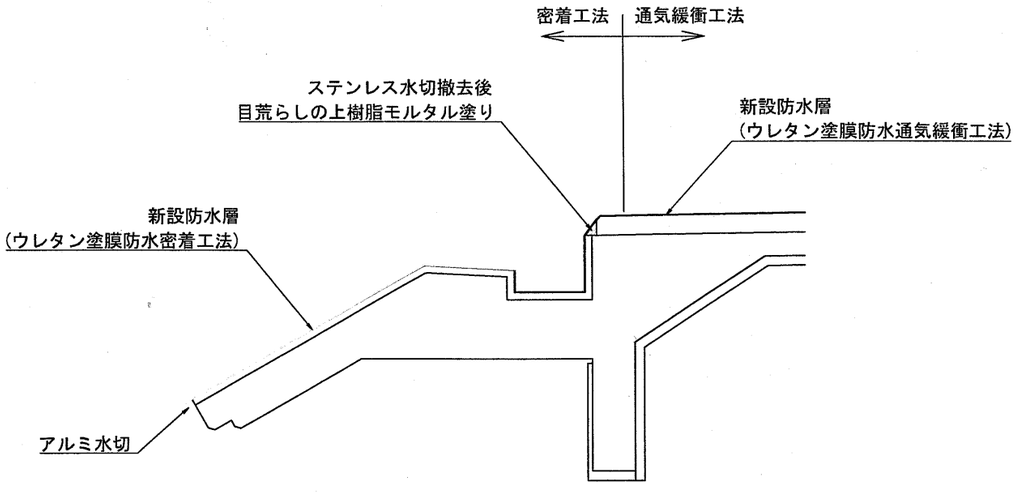
東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]



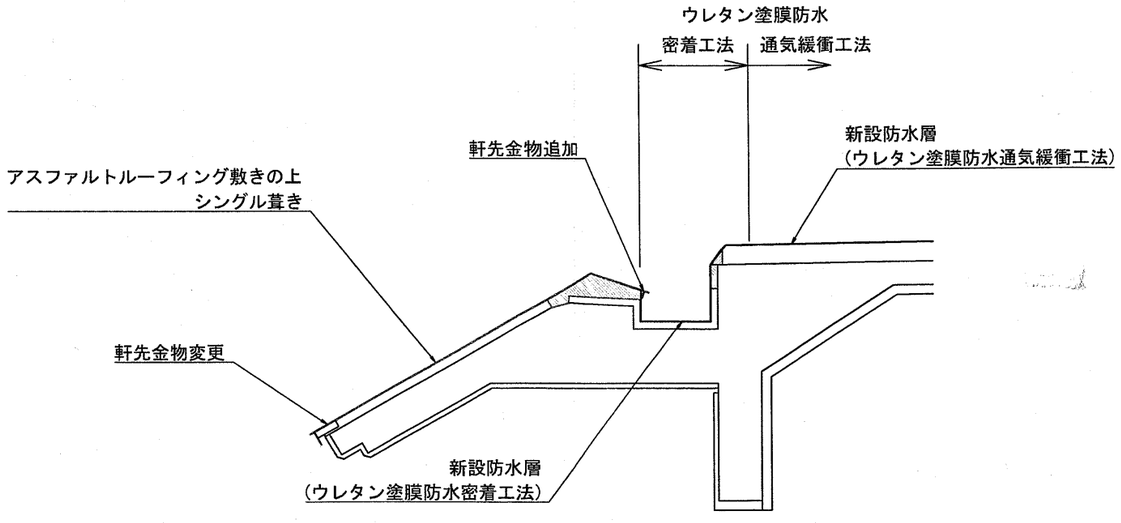
当初庇改修詳細図(既設)



シングル葺き施工時庇下地補修詳細



当初庇改修詳細図(改修後)



シングル葺き施工時庇改修詳細(南側)

様式－５

工事変更指示書

No. 4

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 6 月 1 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

下地処理工事　の変更
　階段室踊り場床の亀裂補修について、エポキシ樹脂注入をＵカットシールに変更する。
　また、階段室躯体浮き部補修に関しては、劣化部撤去復旧からエポキシ樹脂注入ピンニング共に変更する。

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
下地処理工事			
亀裂処理 0.5mm以上1.0mm未満	m	△ 14	
亀裂注入処理 1.0mm以上	m	14	
劣化部撤去復旧	m2	△ 0.6	
エポキシ樹脂注入ピンニング共	m2	0.6	

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

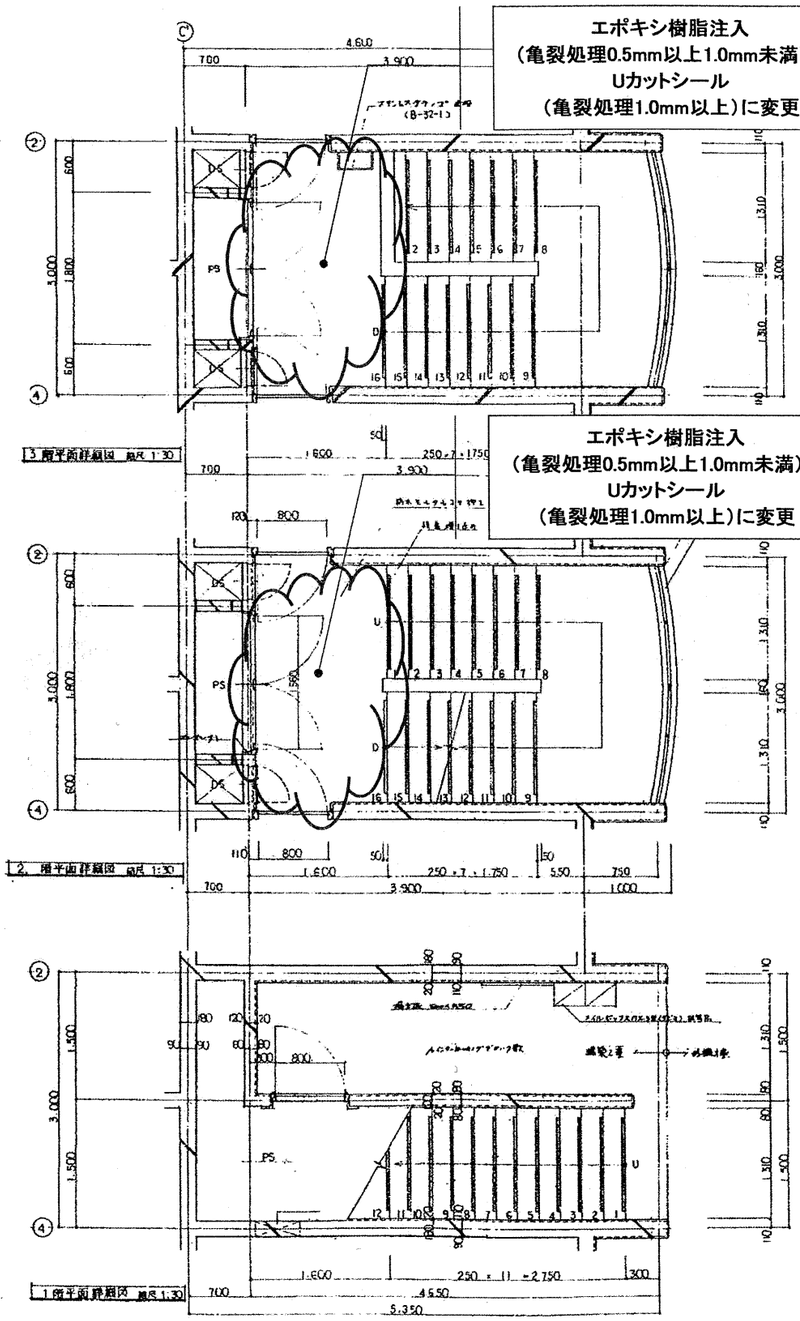
平成 21 年 6 月 1 日

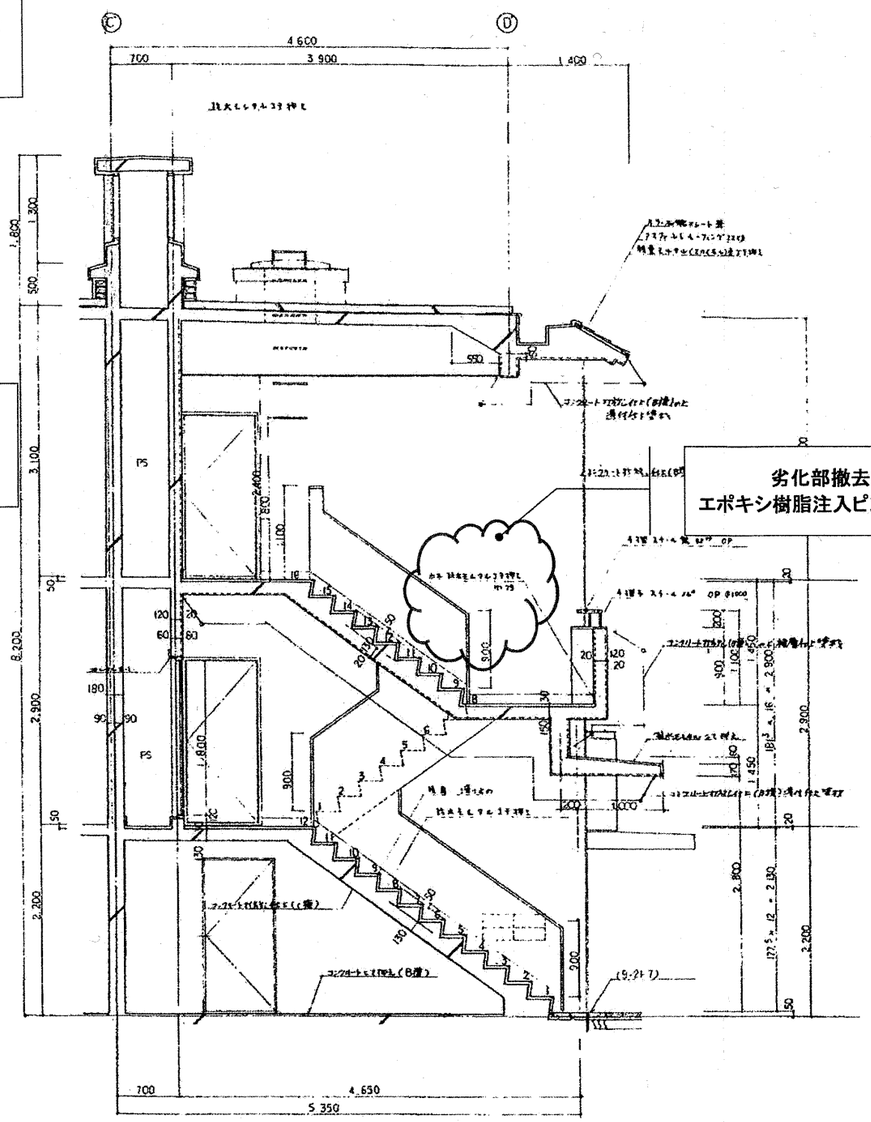
東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

エポキシ樹脂注入
（亀裂処理0.5mm以上1.0mm未満）を
Uカットシール
（亀裂処理1.0mm以上）に変更

エポキシ樹脂注入
（亀裂処理0.5mm以上1.0mm未満）を
Uカットシール
（亀裂処理1.0mm以上）に変更

劣化部撤去復旧から
エポキシ樹脂注入ピンニング共に変更





様式-５

工事変更指示書

No. 5

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 6 月 22 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

雑改修工事／下地処理工事／電気設備工事／鉄部等塗装改修工事　の変更
2号棟西側案内板を撤去する。妻側出窓上部はUｶｯﾄｼｰﾙを行う。火災報知器の数量変更。ｱﾙﾐｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞの取りやめ。玄関扉・新聞受け塗装の追加。手摺パネル全数取替（88枚）に変更。

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
別紙の通り			

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

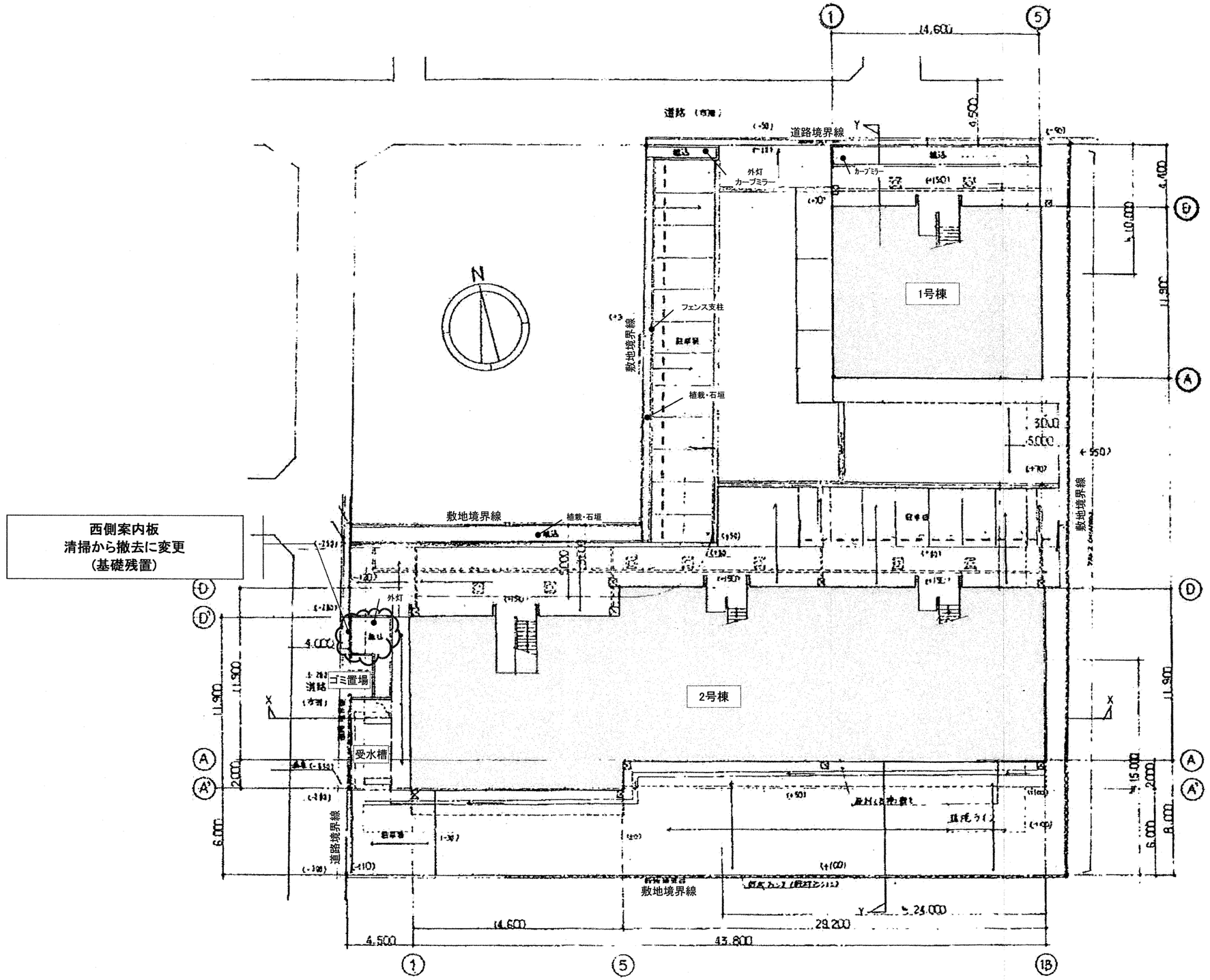
平成 21 年 6 月 22 日

東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　　要
2号棟西側案内板撤去	箇所	1	
2号棟西側案内板清掃	箇所	1	
妻側出窓上部Uカットシール	m	13	
住宅用火災警報器(熱感知型)	個	△ 16	
ガス漏れ警報器	個	22	
アルミサッシクリーナー洗浄	箇所	△ 99	
玄関扉・新聞受け塗装	軒	22	
手摺パネル塗装	m2	△ 230	
手摺パネル新設	枚	72	
消費税及び地方消費税相当額	式	1.00	0
計			0

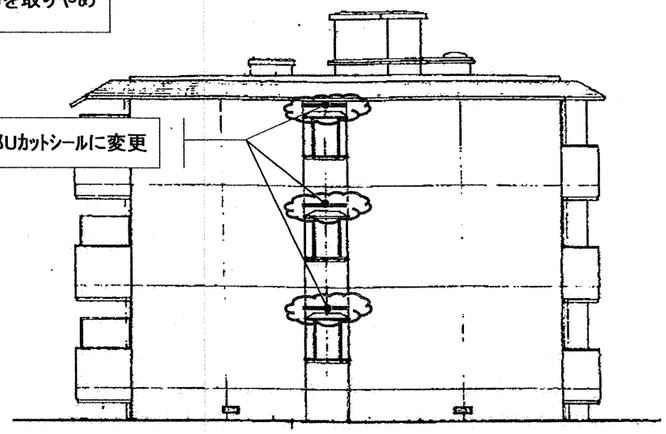
西側案内板
清掃から撤去に変更
（基礎残置）



手摺パネル塗装を
手摺パネル新設

アルミサッシクリーナー洗浄を取りやめ

妻側出窓上部Uカットシールに変更



東面姿図　縮尺 1:100

玄関扉塗装
(塩ビゾルプライマー・
ｾﾗﾐｯｸ変性ﾀｰﾍﾟﾝ可溶ｳﾚﾀﾝ樹脂2回塗り)
新聞受塗装(玄関枠と同仕様)

熱型火災報知器新設を取りやめ
(ガス警報器が熱型兼用)

ガス警報器(熱型兼用)
(台所と同仕様)追加

アルミサッシクリーナー洗浄を取りやめ

手摺パネル塗装を
手摺パネル新設

様式－５

工事変更指示書

No. 6

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 7 月 17 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

電気設備工事／雑改修工事
2号棟E-2照明を1台追加、アルミ製物干金物クリーニングを取りやめ
南側アルミ製物干金物を新設に変更、北側アルミ製物干金物新設を追加
北側アルミ製物干金物移設を追加
バルコニーガス管塗装を追加
自転車置き場網入りガラス交換を追加

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
別紙の通り			

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成 21 年 7 月 17日

東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

数量の増減

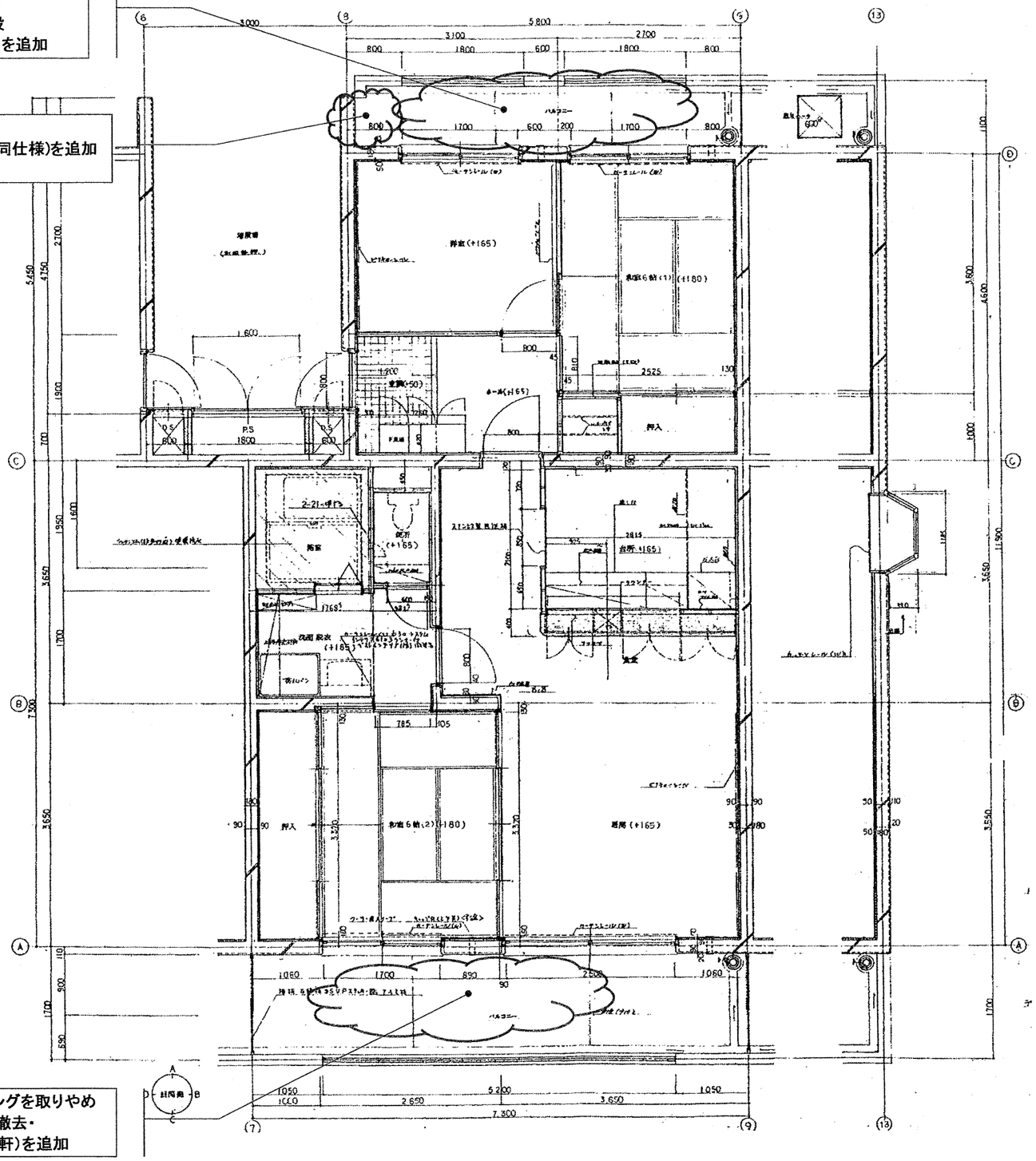
項　　目	単位	増減数量	摘　　要
照明器具(E-2　ＥＦＤ　15W-1)	台	1	
ｱﾙﾐ製物干金物クリーニング	箇所	△ 44	
ｱﾙﾐ製物干金物撤去・設置(新設)	箇所	44	
ｱﾙﾐ製物干金物設置(移設)	箇所	18	
ｱﾙﾐ製物干金物設置(新設)	箇所	26	
バルコニーガス管塗装	箇所	22	
自転車置き場網入りガラス交換	枚	2	
消費税及び地方消費税相当額	式	1.00	0
計			0

照明器具(E-2)を追加

自転車置き場網入りガラス(t=6.8)
交換を追加

アルミ製物干し金物新設
(SK-4178A相当)(13軒)
アルミ製物干し金物移設
(南側バルコニー設置分)(9軒)を追加

バルコニーガス管塗装(竪樋と同仕様)を追加



アルミ製物干し金物クリーニングを取りやめ
アルミ製物干し金物撤去・
新設(SK-4178A相当)(22軒)を追加

様式－５

工事変更指示書

No. 7

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 8 月 10 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

雑改修工事

換気口他成型補修を追加

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
換気口他成型補修	式	1	

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

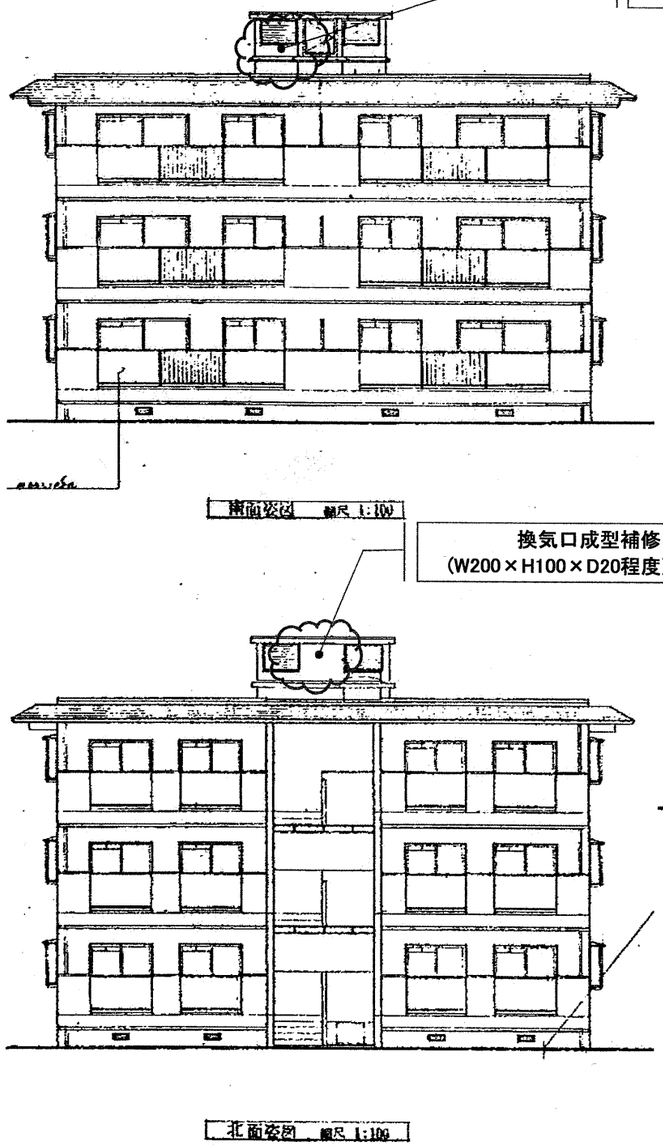
（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成 21 年 8 月 10 日

東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

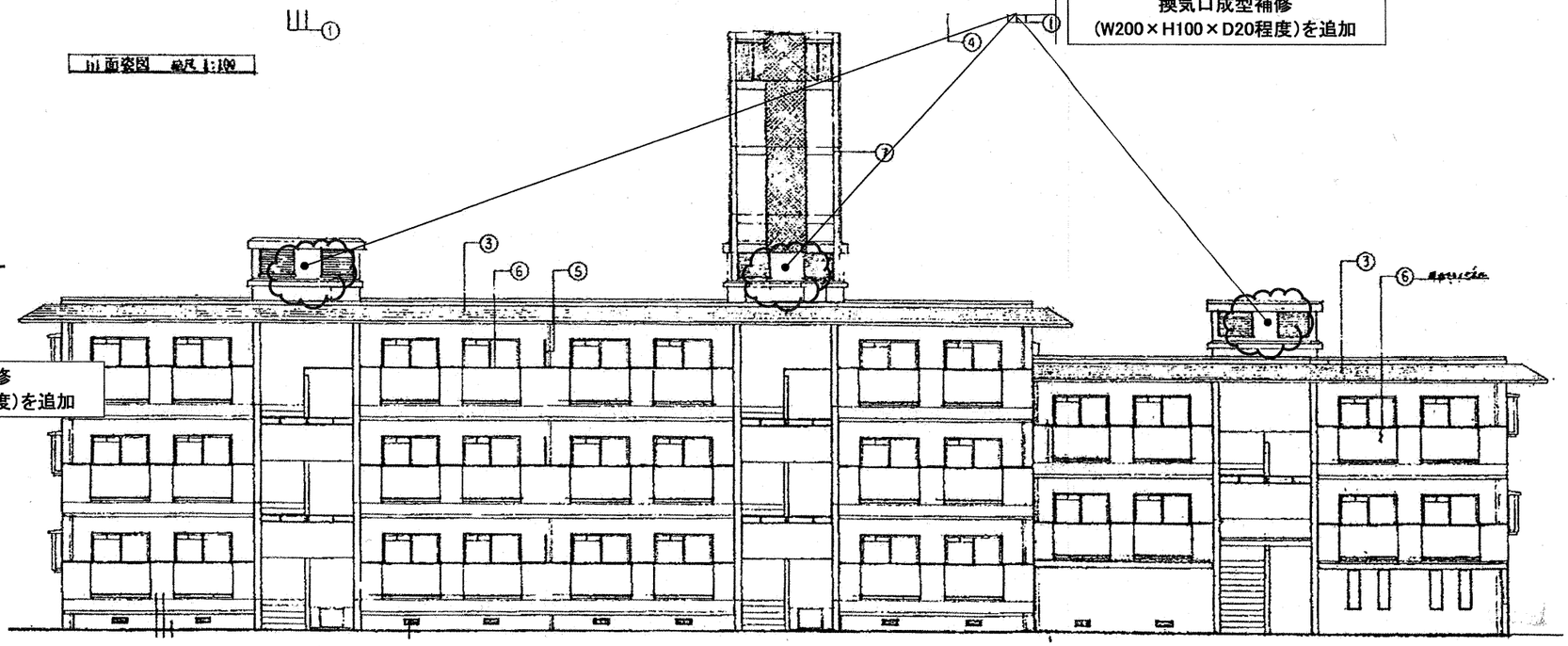
ガラリ下エポキシ注入・樹脂モル補修
(W800×H300程度)を追加



南面姿図　縮尺 1:100

換気口成型補修
(W200×H100×D20程度)を追加

北面姿図　縮尺 1:100



西面姿図　縮尺 1:100

換気口成型補修
(W200×H100×D20程度)を追加

様式－５

工事変更指示書

No. 8

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 8 月 10 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

雑改修工事
1，2号棟各戸の網戸戸車全数交換を追加する。
アルミサッシ戸車は、別途図面に示すものを手配すること。

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
ｱﾙﾐｻｯｼ戸車補修	組	△ 84	
ｱﾙﾐｻｯｼ・網戸戸車交換	戸	22	

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

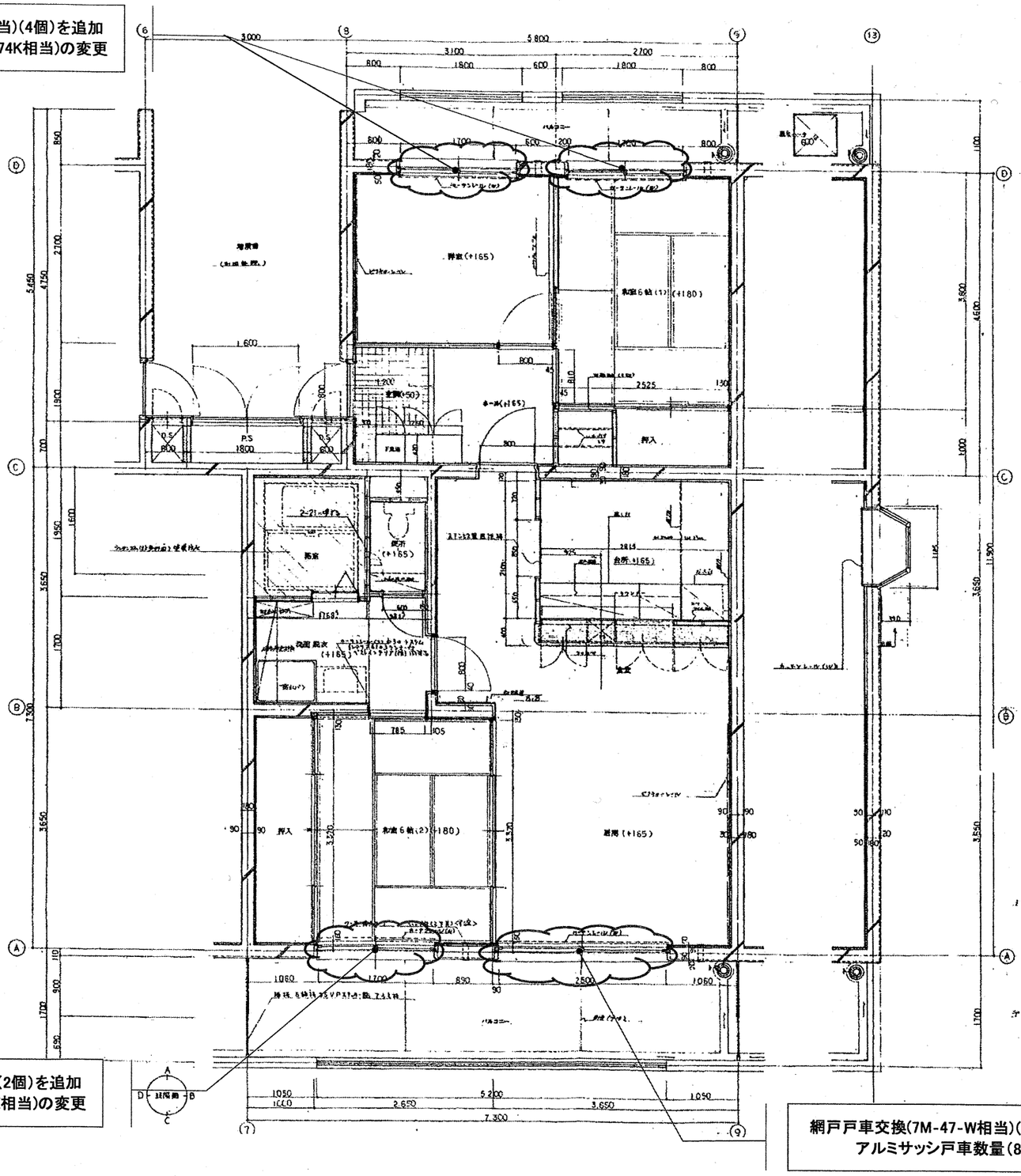
（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成 21 年 8 月 10 日

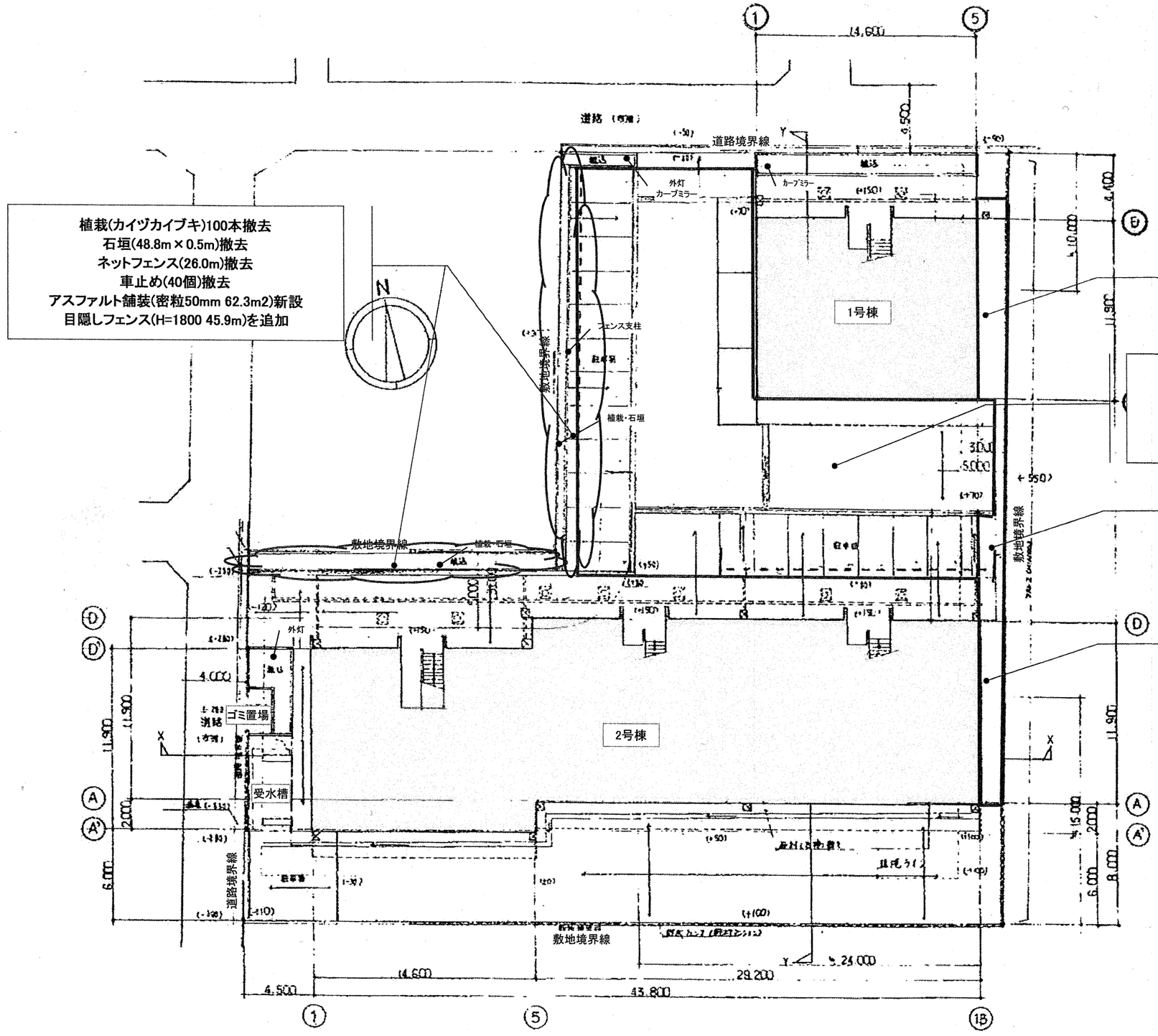
東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

網戸戸車交換(7M-47-W相当)(4個)を追加
アルミサッシ戸車種類(3LK074K相当)の変更



網戸戸車交換(7M-47-W相当)(2個)を追加
アルミサッシ戸車種類(3LK074K相当)の変更

網戸戸車交換(7M-47-W相当)(2個)を追加
アルミサッシ戸車数量(8個)・



植栽(カイヅカイブキ)100本撤去
石垣(48.8m×0.5m)撤去
ネットフェンス(26.0m)撤去
車止め(40個)撤去
アスファルト舗装(密粒50mm 62.3m2)新設
目隠しフェンス(H=1800 45.9m)を追加

犬走りコンクリート撤去を追加
(4. 4m2)

北側排水性アスファルト舗装t=50(449.4m2)
溝部暗渠配水管φ75(248.4m2)
吸出防止マットt=10(41.4m2)
グレーチング(HSB14032相当)(74.0m)
を追加

コンクリート舗装(33.0m2)を
アスファルト舗装密粒t=50(60.7m2)に変更

インターロッキング撤去を追加
(24. 4m2)

様式-５

工事変更指示書

No. 10

工事名　伊島宿舎修繕工事	指示年月日 平成 21 年 9 月 4 日
請負者　東和防水工業株式会社 現場代理人 [redacted]	総括監督員 [redacted]

上記工事について、下記のとおり工事変更を指示する。

〔変更内容〕

１　変更の概要

外構工事・下地処理工事・駐車場借上費の変更
詳細は別紙－１の通り

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　要
別紙－１の通り			

３　以上による工期変更協議の対象有無　　・・無

（変更日数の協議開始日 平成 ＊ 年 ＊ 月 ＊ 日）

上記変更工事の工事変更指示書を、受領しました。

平成　　年　　月　　日

東和防水工業(株)　現場代理人 [redacted]

別紙－１

１　変更の概要

外構工事/下地処理工事/駐車場借上費

1号棟東側U字溝へのｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋設置を追加

受水槽配管錆止め塗装を追加

北側駐車場及び南側駐車場の区画線の変更、車止めの設置を追加

埋設標（散水栓用上水道）の設置を追加

施設案内板の清掃を塗装に変更

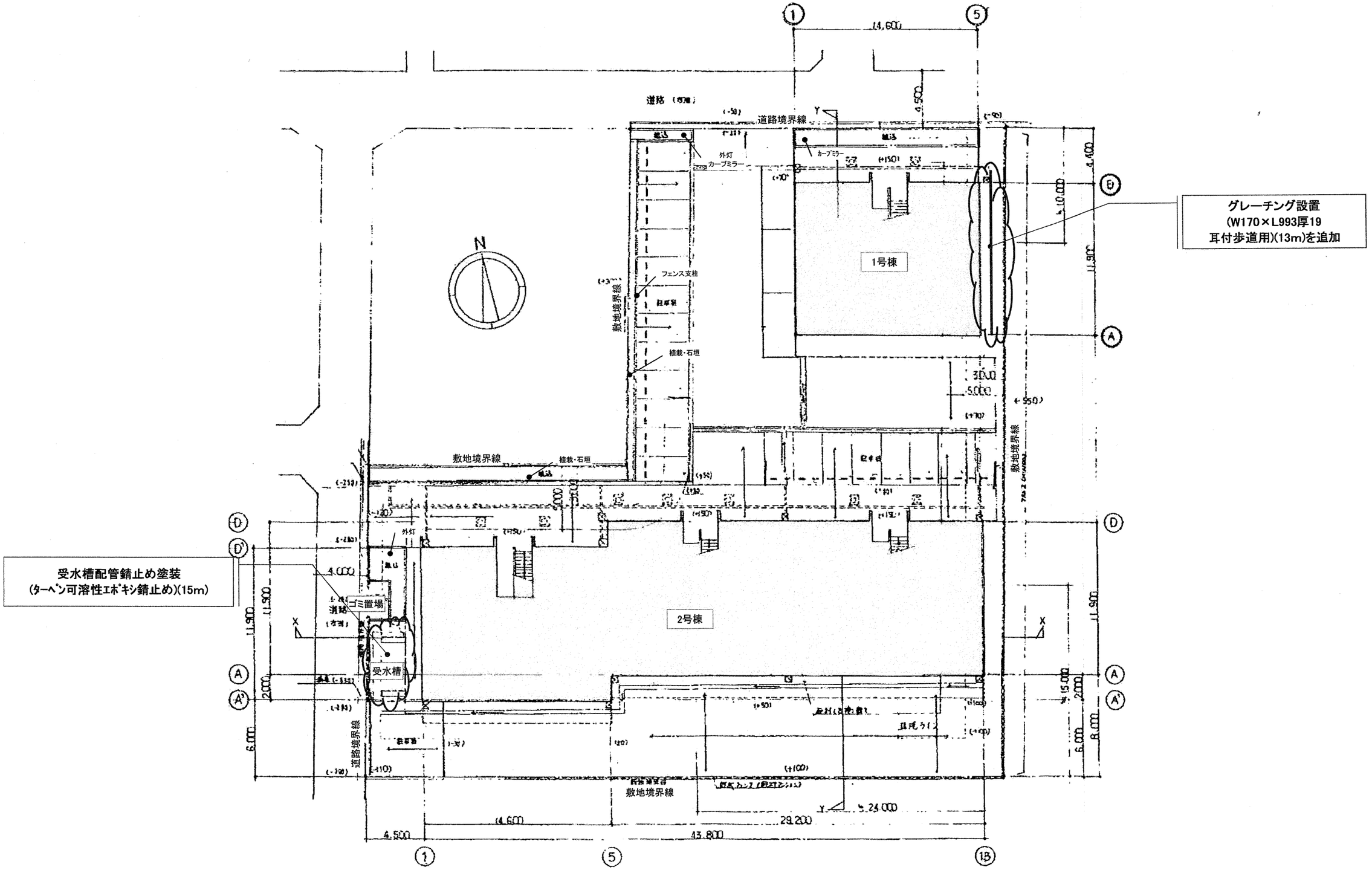
施設案内板足下及び施設名称板足下のシールコンクリートを追加

下地処理工事及びｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装沈下補修の変更

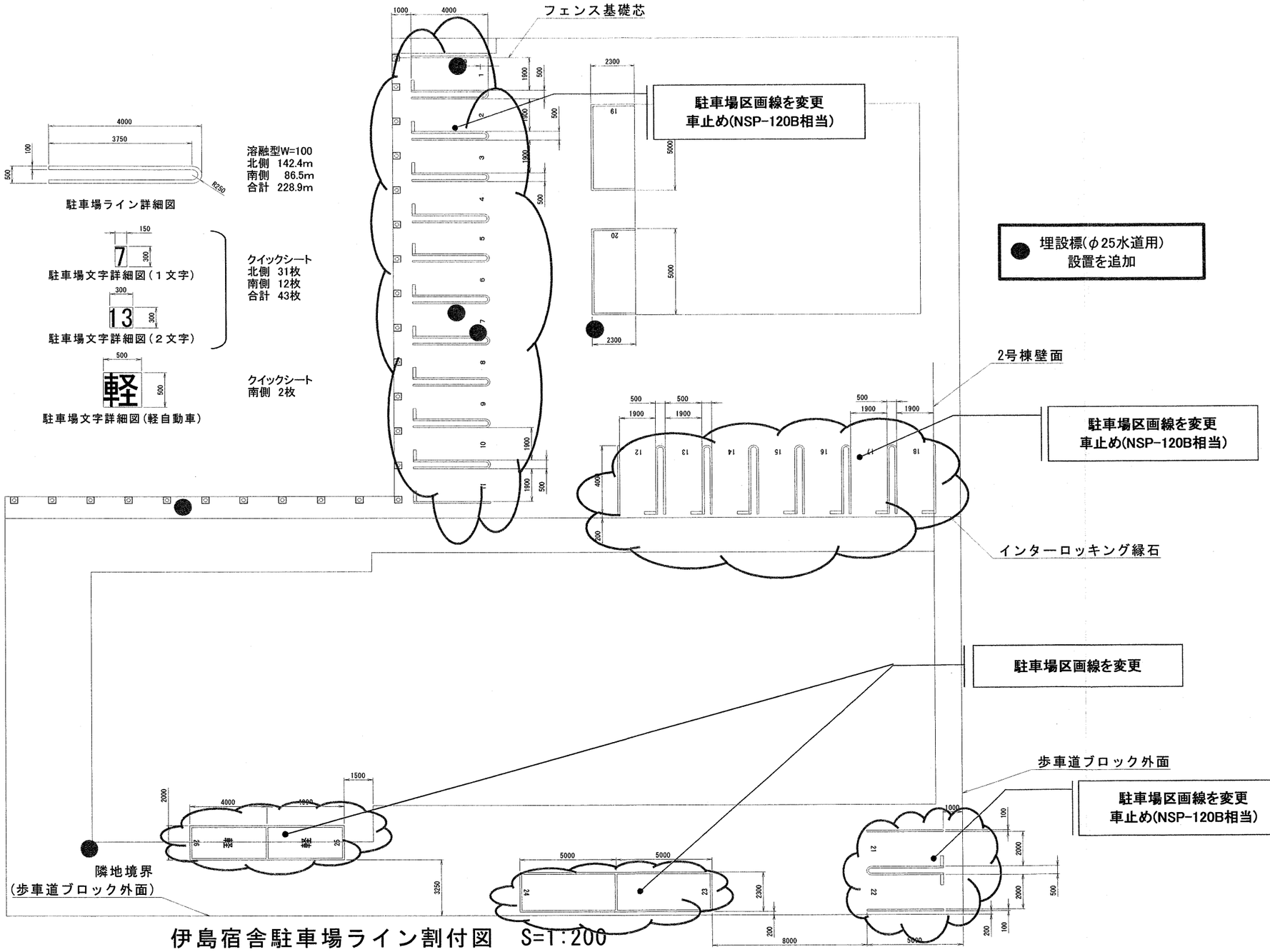
駐車場の追加借り上げ分についての変更

２　数量の増減

項　　目	単位	増減数量	摘　　要
グレーチング設置	m	13	
受水槽配管錆止め塗装	m	15	
駐車場区画線設置	m	△ 1	
路面標示	個	1	
車止め設置	個	20	
埋設標設置	箇所	6	
施設案内板塗替	箇所	1	
施設案内板清掃	箇所	△ 1	
施設名称サイン足下コンクリート打設	箇所	△ 1	
シールコンクリート打設	m2	4.4	
下地処理工事（詳細別紙-2,3参照）	式	1	
インターロッキング舗装沈下補修	m2	△ 17.5	
駐車場賃料（10月１日～４日分）	式	1	



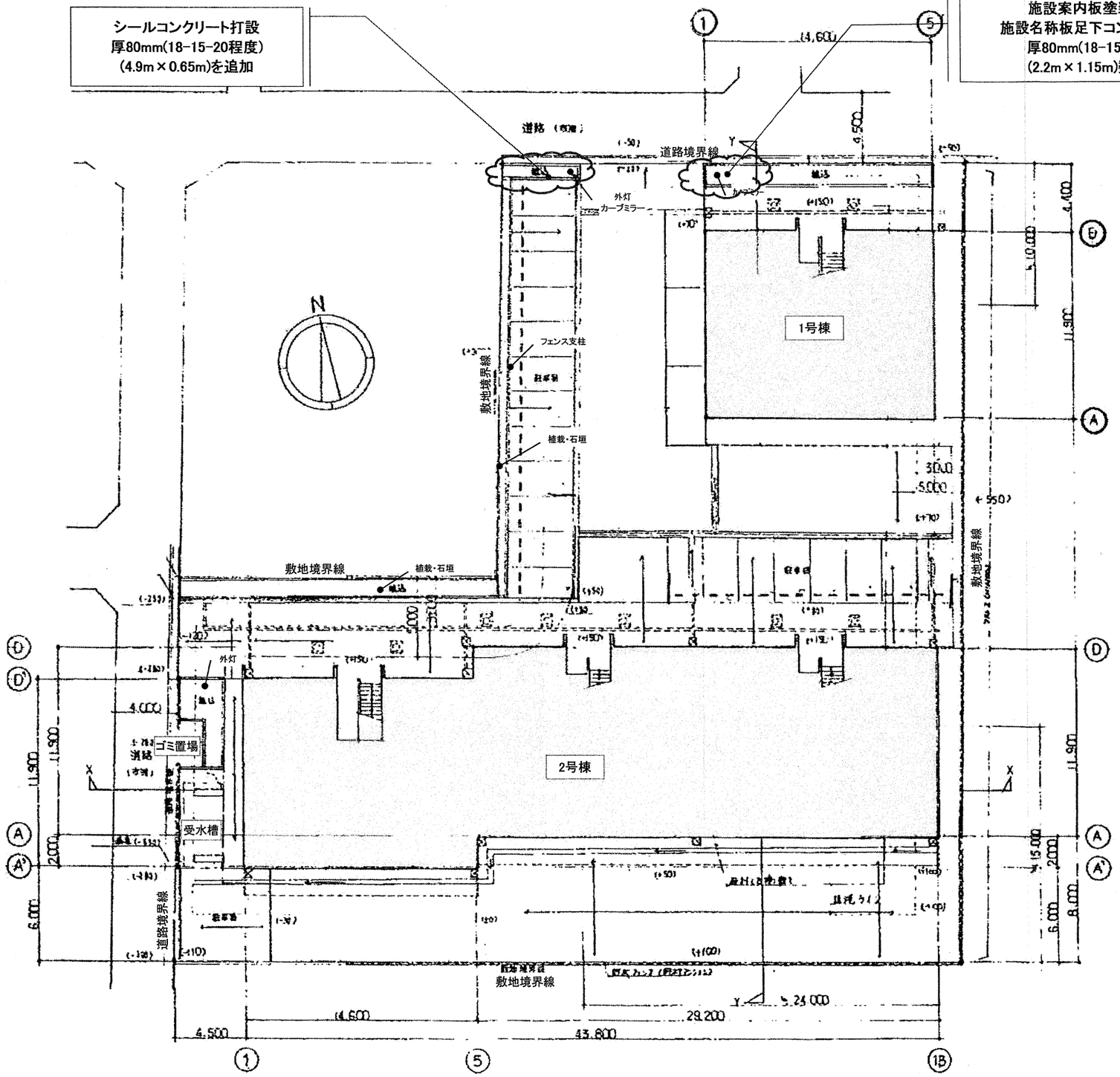
グレーチング設置
(W170×L993厚19
耳付歩道用)(13m)を追加
受水槽配管錆止め塗装
(ターペン可溶性エポキシ錆止め)(15m)
1号棟
2号棟
道路境界線
敷地境界線
外灯
カーブミラー
フェンス支柱
植栽・石垣
ゴミ置場
受水槽
N
14,600
4,500
4,400
11,900
3,000
5,000
4,000
2,000
6,000
8,000
15,000
24,000
29,200
43,800



伊島宿舎駐車場ライン割付図　S=1:200

シールコンクリート打設
厚80mm(18-15-20程度)
(4.9m×0.65m)を追加

施設案内板清掃を
施設案内板塗装に変更
施設名称板足下コンクリート打設
厚80mm(18-15-20程度)
(2.2m×1.15m)数量変更



別紙－2

下地処理工事内訳書
総　括　表

1号棟

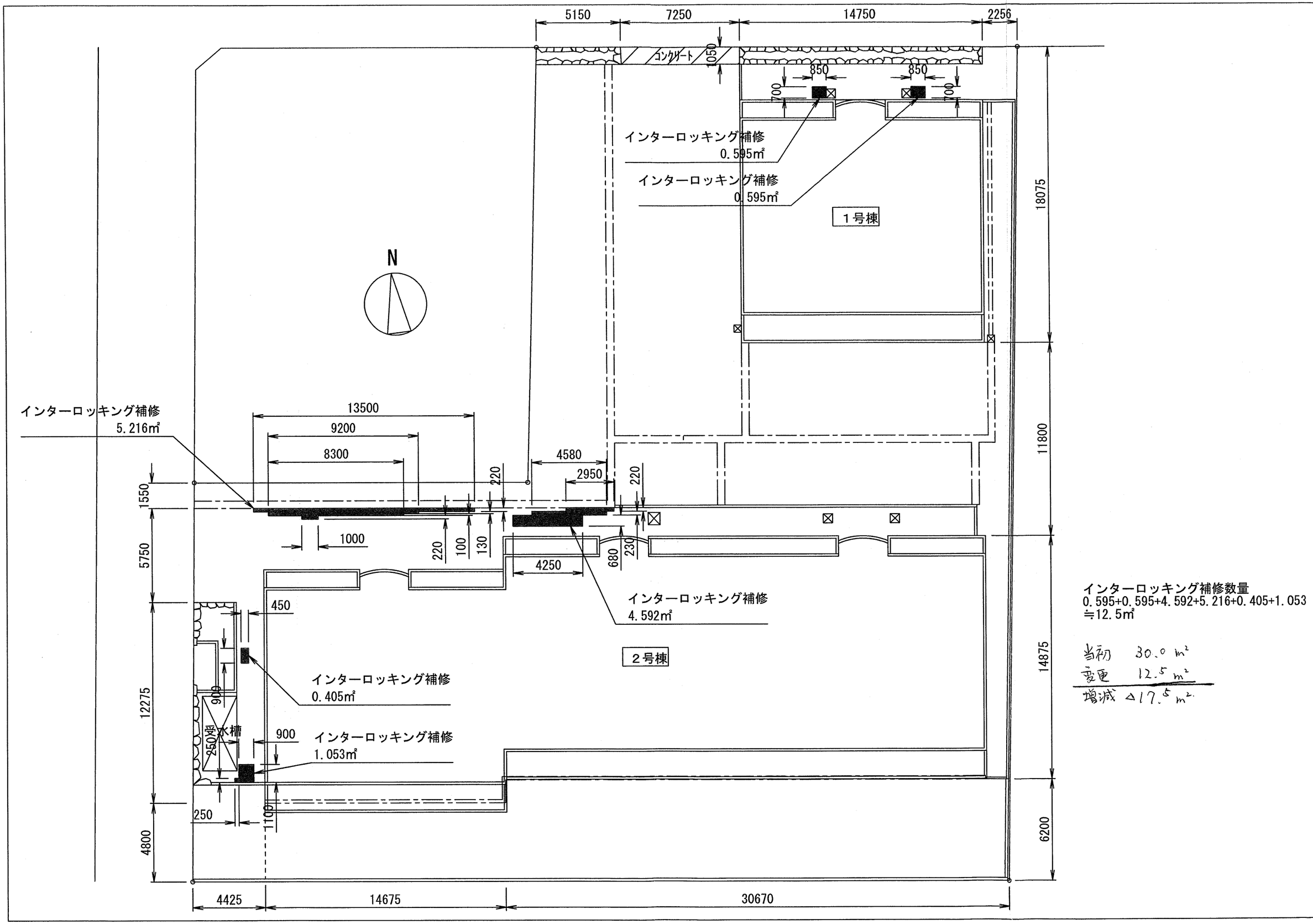
補修の方法	調査数量	実施工数量	備考
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ平滑仕上（m）		6.9	出窓上部　＋6.9
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法（m）	9.95	9.95	
亀裂ﾌｨﾗｰ処理　0.5㎜未満 微弾性ﾌｨﾗｰ擦り込み（m）	158.1	153.9	出窓上部　-4.2
爆裂押出補修(大) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=500～1000　W200程度（ヶ所）			
爆裂押出補修(中) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=150～500　W200程度（ヶ所）	1	1	
爆裂押出補修(小) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 WL=150未満（ヶ所）	3	3	
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 W150程度ﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ共（m）			
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗 W150程度（m）			
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 WL100程度（ヶ所）	123	123	
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 （㎡）	7.295	0.6	シングル部下地補修 -6.695
手摺支持部浮き注入補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（ヶ所）			
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 （ヶ所）			
露筋処理 露筋鉄筋ｹﾚﾝ錆止目の上樹脂 ﾓﾙﾀﾙ塗り（ヶ所）	1	1	
床　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂　注入（㎡）	3.955	3.955	
巾木・溝　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（m）			
既存塗膜浮部剥がし ｹﾚﾝ ﾊﾟﾀｰﾝ処理共しごき 補修の浮も含む（㎡）	0.555	0.555	

別紙－3

下地処理工事内訳書
全　体　総　括　表

2号棟

補修の方法	設計数量	実測数量	備考
亀裂注入処理1.0㎜以上 Uカット、ウレタンシールの上 表面ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ平滑仕上（m）	0.6	20.5	出窓上部　＋5.75 階段室　＋14.1
亀裂注入0.5㎜以上1㎜未満 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法（m）	52.2	38.1	階段室　－14.1
亀裂ﾌｨﾗｰ処理　0.5㎜未満 微弾性ﾌｨﾗｰ擦り込み（m）	410.15	408.3	出窓上部　－1.8
爆裂押出補修(大) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=500～1000　W200程度（ヶ所）	2	5	コールドジョイント部　＋1 暴露部　＋2
爆裂押出補修(中) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 L=150～500　W200程度（ヶ所）	2	5	暴露部　＋3
爆裂押出補修(小) 錆止後ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ成形 WL=150未満（ヶ所）	33	33	
手摺下笠木天端浮き注入補修 浮き部ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 W150程度ﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ共（m）	4.8	4.8	
手摺下笠木天端割れ補修 割れ部撤去樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗 W150程度（m）			
躯体欠損部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 WL100程度（ヶ所）	275	275	
躯体浮き部補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 （㎡）			
手摺支持部浮き注入補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（ヶ所）			
手摺支持部浮き補修 劣化部撤去後樹脂ﾓﾙﾀﾙ整形 （ヶ所）			
露筋処理 露筋鉄筋ｹﾚﾝ錆止目の上樹脂 ﾓﾙﾀﾙ塗り（ヶ所）	6	6	
床　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂　注入（㎡）	9.76	9.76	
巾木・溝　浮き部補修 ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入（m）			
既存塗膜浮部剥がし ｹﾚﾝ ﾊﾟﾀｰﾝ処理共しごき 補修の浮も含む（㎡）	1.255	1.255	



インターロッキング補修数量
0.595+0.595+4.592+5.216+0.405+1.053
≒12.5㎡

当初　30.0 ㎡
変更　12.5 ㎡
増減　△17.5 ㎡